

特11
724

陸軍砲兵少佐石井常造著



戰役餘談

全



緒言

明治三十七年二月勅員令ノ下ルヤ予ハ大學校ヨリ歸隊シ最先出征部隊ニ屬シテ出征スルニ至レリ而シテ私カニ以爲ラク親シテ戰役ニ從事スルモノ、實驗ニ依テ得ル所ノ利益ハ甚タ多カルヘク之ヲ錄シテ以テ他日ノ參考トナシ殊ニ未タ實戰ニ從事セサル青年將校諸子ノ參考トナサハ裨益スル所ノモノ決シテ少シトセサルヘシト是ニ於テ解散歸隊ノ途ニ就クノ日ヨリ公務ノ餘暇ヲ以テ日露戰役記錄ノ記載ニ從事シ終ニ拾餘冊ノ多キニ及ヘリ抑々此ノ如キ考ヲ起シタル所以ノモノハ二十七八年戰役後予ノ士官學校ヨリ歸隊スルヤ實驗ノ頗ル有益ナルモノアルヘキヲ察シ歴戰者ニ就テ得ル所アラシク勞メタルモ支離滅裂甚タ要領ヲ得ルニ苦ミタルヲ以テ苟モ實驗ノ利益ヲ收メント欲セハ確實ナル材料ヲ有スルニアラサレハ能ハサルヲ自覺シ深ク銘心シアリタルニ依ル然ルニ戰後今日ニ至ル迄學業ト公務トノ爲メ未タ筆ヲ執ルノ暇ヲ得ル能ハサリシト雖モ今ヤ漸ク閑ヲ得ルニ至レルヲ以テ該記錄中ヨリ發表シテ可ナルモノ及青年將校諸子ノ參考トナルヘキモノ等ヲ摘録シ名クルニ日露戰役餘談ヲ以テス記述ノ序次素ヨリ勳員以來年月ヲ逐フテ進ムト雖モ眼ニ觸レ事ニ感スルニ隨ヒ記述スルモノナルヲ以テ或ハ狀況ヲ詳述シテ研究ノ材料トナシ若シクハ教育上ノ觀察ヲナスコトアリ或ハ修養ニ關シテ論述スルコトアリ或ハ部隊ノ戰術上ノ可否ニ及フコトアリ

多様一律ナラス而シテ本文ハ首尾一貫セル經過ヲ敘述シ其餘談ノ部ニ於テ補足説話ヲ試ム然レトモ是レ一個ノ實驗談ニシテ文學的趣好ニ投セントスルニアラサルヲ以テ行文ノ如キハ極メテ之ヲ平易ニシ且ツ徒ラニ高尚ヲ求メス予ノ眞ニ感シタルコトヲ有ノ儘ニ記述シ終始初陣者ノ戰役ノ爲メ如何ナル利益ヲ得タルヤ如何ナル事ヲ經驗シタルヤノ觀念ヲ保持シテ實況ヲ寫スコトヲ努ム而シテ本筋ハ動員ニ始マリ奉天會戰後ニ終ル是レ予ハ三十八年六月中旬戰地出發爾後職ヲ澎湖島ニ轉シタルハナリ若シ此書ニシテ青年將校諸子ノ參考トナリ裨益スル所アレハ幸甚

明治四十年十一月

砲兵少佐 石井常造

日露戰役餘談目次

一、動員下令ヨリ動員完結ニ至ル(三十七年二月五日ヨリ同十四日迄).....	一
二、動員完結ヨリ衛戍地出發ニ至ル(同十五日ヨリ三月中旬迄).....	一五
三、鎮南浦ニ上陸シテ京義街道ニ出ツ(三月下旬ヨリ四月上旬ニ至ル).....	二七
四、義州ニ向フ前進(四月下旬ニ至ル).....	五一
五、鴨綠江砲戰前ノ狀況.....	六一
六、鴨綠江ノ砲戰ヨリ安東縣占領ニ至ル(四月三十日ヨリ五月三日迄).....	七八
七、鳳凰城ニ向フ前進(五月上旬).....	九七
八、鳳凰城ノ滯陣(五月中旬ヨリ六月下旬ニ至ル).....	一〇四
九、鳳凰城ヨリ前進シテ摩天嶺ヲ占領ス(六月下旬).....	一二六
十、摩天嶺附近ノ戰鬪(七月上旬ヨリ中旬ニ至ル).....	一三三
十一、様子嶺ノ攻撃(七月三十一日及八月一日).....	一四四
十二、廣溝ノ滯陣(八月一日ヨリ二十四日ニ至ル).....	一八〇

十三、遼陽ノ會戰(八月下旬ヨリ九月七旬ニ至ル).....	一八四
第一期(太子河左岸ノ戰鬪).....	一八四
第二期(太子河ノ渡河及右岸ノ戰鬪).....	二〇一
十四、烟臺炭坑附近ノ滯陣(九月上旬ヨリ十月上旬ニ至ル).....	二四六
十五、沙河ノ會戰(十月九日ヨリ十月下旬ニ至ル).....	二六七
第一期(仁平山占領ニ至ル迄).....	二六七
第二期(追擊前進).....	三〇七
十六、沙河ノ對陣(十月下旬ヨリ二十八年一月下旬ニ至ル).....	三三三
十七、黑溝臺ノ會戰(一月二十五日ヨリ同二十九日ニ至ル).....	三八五
十八、同會戰後ノ滯陣(二月中旬迄).....	四〇五
十九、奉天會戰前ノ準備(二月中旬ヨリ下旬ニ至ル).....	四二〇
二十、奉天會戰(二月下旬ヨリ三月中旬ニ至ル).....	四二六
第一期(三月上旬追擊ニ移ル迄).....	四二六
第二期(追擊シテ鐵嶺ヲ占領ス).....	四六一

二十一、鐵嶺附近ノ滯陣(四月中旬ニ至ル).....	五〇〇
二十二、清河々畔ニ向ヒ前進シテ再ヒ滯陣ス(五月上旬ヨリ六月上旬ニ至ル).....	五二一
二十三、内地歸還及歸還後ノ概況.....	五四六

日露戰役餘談目次終

日露戰役餘談

陸軍砲兵少佐 石井常造

動員下令

一、動員下令ヨリ動員完結ニ至ル (三十七年二月五日ヨリ同十四日マテ)

明治三十七年二月五日ハ日露戰役ニ於テ記憶スヘキ第一ノ日ナリ是レ最先出征團隊ニ動員令下リタル日ナレハナリ又我政府駐露公使ニ訓電シ露ノ外務大臣ニ最後通告ヲナサシメタル日ナレハナリ又我外務大臣ハ露國公使ヲ其官邸ニ招キ帝國政府ハ最早外交的關係ヲ繼續スル能ハス自由行動ヲ執ルノ已ムナキニ至レルヲ告ケタル日ナレハナリ

予ハ第二師團砲兵聯隊ニ籍ヲ有シ當時尙ホ大學校在學中ニシテ此日感冒ノ爲メ發熱休校シ翌六日ニ至リ仙臺發ノ電報ニ依リ五日午後五時三十分動員令下リタルヲ知リ出發準備ヲ整ヒテ命ノ到ルヲ待ツ然レトモ夜ニ入ルモ命ナシ予ノ寒胃ハ急性ニシテ景況頗ル宜シカラス即チ服藥シテ更ニ發汗ヲ催助センカ爲メ靜臥ス午後十一時ニ及ヒ發汗甚ク今ヤ起テ拭擦更衣セントシツ、アルヤ直ニ出校スヘキ命ニ接シ外套ヲ纏フテ出テ急遽寒冷ニ觸レタルヲ以テ頭痛遯シキカ如キヲ覺ヘタ

學校解散

ルモ予ハ此時已ニ自個ノ病痾ヲ忘レタルモノ、如シ而シテ召集セラレタル學生ノ出校スルヤ校長ノ戰役ニ關スル吾人ノ覺悟等ノ訓示アリ且ツ圖書ノ返納等ハ即時完了シテ速ニ歸隊スヘキヲ命ゼラレ返納ノ手續等ヲ終リ歸宅シタルハ曉ニ近シ

六日歩兵四大隊ヨリ成ル臨時派遣隊ハ佐世保ヲ發シ韓國京城ニ向ケ差遣セラレ

予ハ元來二十六年末士官候補生トシテ仙臺ノ砲兵隊ニ入營シ二十七年末ノ勳員ニ遭遇シタルモ聯

隊ノ出征ニ先ツコト少許士官學校ニ派遣セラレ終ニ日清戰役ニ參與スル能ハサリシヲ以テ今回ノ

戰役ハ即チ予ノ初陣ナリトス隨テ日清戰役ニ在リテハ學業ノ爲拘束セラレ徒ニ切齒扼腕シタルモ

今回ハ最先出征部隊ニ加ハルノ榮ヲ得欽喜雀躍手ノ舞ヒ足ノ踏ム所ヲ知ラス六日ハ家族ニ關スル

後事ヲ處理シ所謂夢中ニ經過セリ而シテ家族トシテハ父一人アルノミニシテ他ニ緊要ナク之レヲ

青山ノ現住所ニ殘留セシムルニ決シ事容易ニ定マル又塞留ハ輕減セル如ク感セラレ然レトモ尙ホ

戒心ヲ要スルモノアルヲ以テ強テ躍ル所ノ心情ヲ靜メテ七日夕ニ至ル迄休養シ此間着隊後ノ業務

ニ就キ心私カニ計畫ヲ運ラシタリ是レ予ハ本職ノ中隊長タルニアラスシテ聯隊副官ノ戰時職務ヲ

有シ勳員第三日ヨリ召集人馬ヲ取扱ハサルヘカラサルト平時ノ業務ニ比シ戰時職務ノ極メテ繁忙

ニシテ豫メ計畫スル所ナカルヘカラサルヲ知レハナリ

出發準備

將校ノ出師準備

角田及乃木將軍

茲ニ少シク出師準備ノ事ヲ述ヘシ

我カ國ニ於テ古來武士タルモノハ平時ニ於テ武器ノ完備保存ニ銳意シ弊衣惡食ヲ意トセス居住風雨ヲ凌ク能ハサルヲ願ヒスシテ優秀實用ニ適スルノ武器ヲ整ヒ以テ有事ノ使用ヲ準備ス是ヲ以テ之ニ關スル美談逸話ハ故老之ヲ傳ヘテ常ニ吾人ヲ戒ム是レ即チ吾人ノ今日ニ於ケル出師準備トス敵角田海軍中將ハ同郷ノ人常ニ吾人ヲ戒シムルニ此事ヲ以テシ且ツ其取用行李ヲ開キテ之ヲ示スヲ例トセリ此行行李ハ革製ノ大ナルモノニシテ戰時必要ナルモノハ悉ク之ヲ整備シ毫モ遺脱ナシ故ニ軍服、劍及帶、眼鏡、襪衣、襟、手套、靴下ニ至ル迄皆ナ新品ヲ備ヒ動搖ノ爲破損ノ憂ナキ機收容ノ方法ヲ施シ賜暇旅行中ト雖到ル所ニ之ヲ携フ曰ク電報ニ接セハ直ニ戰時武裝ヲ整ヒテ其任ニ赴カシカ爲常ニ身邊ヲ離シタルコトナシト此ノ如キハ高官ノ人ニ在リテハ誠ニ容易ナルコトナリト雖モ其心掛ノ周到ナル所謂武士的精神ノ吾人ノ模範トナスニ足ルモノ他ニ果シテ幾人カアル角田中將ハ生存中乃木將軍ト意氣相投シ殊ニ親交ナリシヲ見ル蓋シ其精神ニ於テ其行爲ニ於テ極メテ相似タルモノアリシニ依ラン故ニ予ハ深ク兩將軍ヲ慕フ

予ハ元來無頓着ナリ然レトモ出師準備ニ關シテ故老ノ訓戒ヲ守リ稍々周到ナル注意ヲ加ヘ其整備ト保存トヲ計リ今回ノ準備ニ當リテハ平素新陳交換ヲナスコト能ハサル戰時服(今日ハ廢セラレ

戦用品ノ新
陳交換

タリ。新調シタルノミニシテ他ハ悉ク平時ノ準備ニ成ル新品ヲ携行シ得ルニ至レリ然レトモ予ハ敢テ故角田將軍ヲ模擬シテ革製ノ行李ヲ用ヒス新ラシキ軍用行李ヲ準備シ置キタリ完全ニシテ不備ナキハ素ヨリ準備ノ要點ナルモ身分不相應ノ範圍ヲ脱スルハ不可ナリ若シ財力之ヲ許スノ故ヲ以テ善美ヲ盡スカ如キコトアラハ是レ即チ虚飾驕奢ニ流ル、モノニシテ吾人ノ殊ニ戒メサルヘカラサル所ナリトス故ニ予ハ總テ實用主義ニ依レリ而シテ多クハ防寒ノ用意ニ汲カトシ或ハ毛皮ノ類ヲ以テ被服ヲ調製スルモノアリシト雖モ嘗テ防寒具ノ如キハ到ル所ノ地方住民ノ慣用スルモノニアラサレハ効價少ナキヲ聞キ居タルヲ以テ襯衣袴下ヲ「チル」製トナシタルノ外毫モ意ヲ留メサリシ是レ予ノ爲メニハ非常ニ幸福ニシテ且ツ實際ニ適スルヲ得セシメタリ互寒炎暑其所ヲ異ニスルニ從ヒ之カ豫防ノ具備ハル而シテ其最モ實用ニ適スルハ吾人ノ親シク經驗セル所ニシテ今回使用シタル陸軍防寒具ノ如キハ皆之ヲ模倣シタルモノトス故ニ初陣者ハ徒ラニ此等ノ點ニ憂慮スルコトナク定數成規ノモノヲ整フレハ足レリトス

將校ノ責任

シ戦時用ヲ通常服ニ使用シ此際當然支出セサルヘカラサル費用ヲ以テ新調シタルモノニ依リ戦時用ヲ補填シ置クニ過キス若シ夫レ經濟ノ許サ、ル人ハ一時ニ整備セズ逐次調製シテ可ナリ此ノ如ク必要缺クヘカラサル準備ヲ怠リ徒ラニ流行ヲ競ヒ虚飾ヲ争フカ如キハ今日ノ通弊ナルモ其本分ヲ忘レ聖旨ニ反クモノナルヲ以テ克己節制之ヲ改メサルヘカラス

見ヨ近來士卒ニシテ此等將校ニ倣ヒ所謂高襟虚奢ノ風ヲナスモノ頗ル多キヲ是レ抑々何カ故ソ青年將校諸子ハ士官學校ニ於テ服務提要ノ講授ヲ受ケ將校ノ責任ヲ知り就中其一言一行ハ部下ヲシテ仰テ以テ之ニ則ラシムルコト恰モ形景相伴ヒ聲音相應スルカ如シ若夫レ將校ノ品性ニ於テ缺クル所アラハ其影響スル所大ニ寒心スヘキモノアラン豈ニ戒慎セサルヘケンヤトハ今尙ホ明カニ其記憶ニ存スヘシ彼ノ下士卒ノ華美ノ風ニ染ミ驕奢ニ流ル、カ如キハ皆ナ是レ吾人將校ノ影像ナラスンハアラス斯ノ如クナルトヤハ何ヲ以テカ能ク率先躬行シテ自ラ儀表トナリ以テ部下ヲ誘フヲ得ンヤ青年將校タルモノ四周ノ誘惑ヲ排除シ宜シク其學ヒタル所授ケラレタル所ノモノヲ復讀玩味シテ其眞性ニ復スヘシ提要ニ曰ク世道陵夷シテ民俗敦厚ナラス名ヲ逐ヒ道ヲ忘レ利ニ就キ義ヲ捨ツルノ秋ニ方リ毅然トシテ世表ニ卓立シ名利ニ惑ハス榮枯ヲ顧ミス専心光華ヲ擁護シテ帝國臣民ノ神髓タランモノハ軍人ヲ措テ夫レ將タ何クニカ之ヲ求メントスルヤト將校ノ責任ノ重且ツ大

ナル夫レ斯ノ如シ豈ニ思ハサルヘケンヤ

人或ハ金員ヲ準備スルモ可ナルヲ説クモノアラン夫レ或ハ可ナラン然レトモ吾人ハ誘惑ヲ排除シテ之ニ近カサルヲ要ス而シテ金員ハ一ノ誘惑トナルカ故ニ又之レヲ避クルヲ要ス然ラハ即チ四周ノ誘惑ヲ排除スルノ法如何曰ク之ニ近カサルニアリ今一例ヲ舉クレハ左ノ如シ

予ハ任官以來今日ニ至ル迄過半ハ下宿屋若クハ營内ニ生活シテ隊務ニ服シ過半ハ父ノ膝下ニ在リテ學業ニ從事セリ此間一方針ヲ立テ可成絃聲歌舞ニ近カス飲酒美食ニ遠カルノ工夫ヲナセリ吾人青年將校ニ在リテハ或ハ其積積ヲ嗜ラシ勞ヲ慰ムル爲メ時ニ豪飲快談ヲ試ムヘキハ可ナリ然レトモ其度重ナルニ從ヒ親ミ益々深ク酒歌ニ親ムコト深キニ從ヒ愈々其趣味ヲ解スルニ至リ不知不識ノ間誘惑其猛威ヲ逞フシテ終ニ脱出スル能ハサルニ至ルハ疑フヘカラス彼ノ最初強壯健胃ノ藥劑トシテ醫者ノ勸メタル少量攝取ノ酒モ途ニハ害毒其身命ヲ奪フニ至ルカ如キハ實ニ好例ナリトス故ニ予ハ此等一時ノ快樂ニ接スルノ度ヲ減シ之ニ親ムニ至ラザランコトヲ努メタリ即チ此ノ如キ誘惑ノ萌發スルヤ其原因トナリタルハ財囊ヲ提ケテ遠征ヲ試ム此時若シ同志アレハ必ス相携ヒ不幸ニシテ單獨ナルトキハ同僚若クハ中隊長ニ其企圖ヲ告ケ公然之ヲ實行シ囊底ヲ拂フテ豪遊ヲ試ミ幾時ナラスシテ歸ル而シテ予ハ之ヲ以テ常ニ良心ヲ叱咤シ且ツ誘惑ヲ驅逐ス此時起ル所ノ感情

ハ其行動ノ馬鹿氣タルニアリ又其慾心ノ卑シカリシニ對スル耻辱トス是ニ於テカ再ヒ高潔ノ精神復活シテ他ノ誘惑重テ來ルアルモ乘スルノ隙ナキノミナラス惡友又同遊ヲ勸メス依テ以テ專心其勤務ニ從事スルヲ當トセリ此際ニ於テ金錢ノ多少ヲ考ヘ取捨斟酌シテ殘餘ヲ生セシメハ幾何ナラスシテ誘惑再ヒ興來シテ之ヲ防クコトヲ得ス隨テ度重ナリ自然ニ之ニ親ムニ至ラシムルヲ以テ予ハ一時ニ囊底ヲ拂フヲ以テ無上ノ良策トセリ蓋シ予ノ此種ノ快樂ニ趣味ヲ感セスシテ今日ニ至リタル所以ハ恐クハ之カ賜ナルヘク予ハ常ニ之ヲ以テ同僚後進ヲ戒ム然レトモ予ハ妄リニ豪遊ヲ試ムルヲ勸告スルモノニアラス若シ使用ノ豫定ナキ金員ヲ有スル場合偶々誘惑ノ襲來スルコトアラハ斯ノ如クスヘシト謂フニ過キス其ノ果シテ適當ナルヤ否ヤハ讀ム人ノ判斷ニ委ス乞フ誤解スル勿レ

或ハ出征ニ際シ新品ヲ着用携行スル必要ナキニアラスヤトノ疑アランモ予ハ今回ノ實驗ニ依リ其必要ナル以所ヲ知レリ何トナレハ平常使用シタルモノハ其程度ニ從ヒ遲速アリト雖モ破損速カニシテ忽チ追送ヲ要スルニ至レハナリ追送ヲ要スルニ至ルハ尙ホ可ナリトスルモ其追送品ハ容易ニ到着セス其間ニハ途ニ使用ニ堪ヘサルニ至ルコトナキヲ保セサレハナリ

夕ニ及ヒ澁谷停車場ヨリ乗車シ歸隊ノ途ニ上ル赤羽停車場ニ於テ同僚ノ歸還スルモノ二三ニ會シ

相携ヘテ同車ニ集團ス當事者ノ苦心慘憺タルモノアルニ反シ吾人青年將校ノ意氣ハ極メテ強盛ニシテ恰モ既ニ戰場ニ在テ月桂冠ヲ戴キタルカ如キ心持シ終夜談笑盡キス其愉快ハ所謂極度ニ達シ不知不識豪飲シテ夜ヲ徹スルニ至リ八日朝無事仙臺ニ着シ各分レテ其所屬部隊ニ向フ

八日ハ即チ動員第三日ニシテ人馬到着ノ第一日ナリ予ハ先ツ聯隊本部ニ出頭シ聯隊長ニ謁シ着隊ノ報告ヲナス此時予ハ尙外套ヲ纏ヘリ是レ未タ平常ニ復スルニ至ラサレハナリ是ヲ以テ聯隊長ハ静養ヲ加ヘ徐ニ業務ノ引繼ヲ受クヘキヲ諭サル然リ予ノ爲メニハ業務ノ振合ヲ見ルノ必要モアリ又一應ハ動員手簿ノ如キモ閲讀スルノ必要ヲ感シタルヲ以テ懇命ヲ謝シテ退ク然レトモ直接其業務ノ景況ヲ見ルニ及ンテ一刻モ緩ブスルノ不可ナルヲ察シ直ニ業務ヲ執ルノ決心ヲ報告シ現任者ヲシテ其中隊ニ赴カシムルニ至レリ蓋シ予ハ一方ニ於テ中隊長心得トナル中尉ノ爲メ一刻モ早ク其所屬中隊ノ業務ヲ執ラシムルノ必要缺クヘカラサルヲ感シタレハナリ

予ハ直ニ副官ノ椅子ヲ占ム諸學校派遣中ノ將校ニシテ朝來歸隊スルモノ亦頗ル多ク應召員及徵發馬ハ豫期ノ如ク最初ヨリ予ノ處理スル所トナルニ至レリ

予ノ頗ル不便ヲ感シタルハ聯隊動員計畫書ノ改訂トス初メ陸軍動員計畫令ノ出ツルヤ予ハ聯隊副官トシテ親シク聯隊動員計畫書ノ起草編纂ニ參與シタルヲ以テ能ク之ヲ記憶シ如何ナルコトハ何

レノ頁何レノ條ニアルヤヲ知レルモ其後少シク訂正ヲ要スルコトアリ予ノ大學校入學後ニ於テ更ニ印刷ニ附セラレタルヲ以テ條項ニ於テハ瑣少ノ變更ヲ來シタルノミナルモ其體面内容大ニ趣キヲ異ニスルニ至リ何頁ナリト思考スルコトモ全ク異ナル條項ヲ見ルノ有様ナルヲ以テ予ハ全ク前ニ副官タリシ當時ノ研究ト入校後ノ動員ニ關スル研究トニ依頼セサルヘカラサルニ至レリ何トナレハ業務ノ繁忙ハ予ヲシテ書類ノ閲讀ヲ許サ、レハナリ殊ニ煩エ堪ヘサリシハ各中隊各種ノ委員カ其業務ニ關スル質疑指示ヲ乞フモノ机前跡ヲ絶タサルノ一事トス

此事ニ關シテハ嚴ナル規定アリ即チ其業務ニ關スルコトハ平素充分ニ研究シ一點ノ疑ナカラシメ其實施ニ當リテハ質疑ヲナスヲ嚴禁スル是レナリ之ヲ其文句ノ如ク解釋スルトキハ質疑等ニ對シテハ斷然拒絕シテ可ナルカ如クナルモ予ハ寧ロ解釋指導ノ丁寧ハ動員實施ノ進捗ヲ良好ナラシムルニ必要缺クヘカラサルモノニシテ其任ニ當ルハ予ノ職務上ノ義務ナリト信シタリ何トナレハ前記ノ規定ハ平素充分ナル研究ヲナサシメンカ爲メニ設ケラレタルモノニシテ所謂實施ノ準備ニ屬ス故ニ苟モ眞面目ニ其實施ヲナスニ當リテハ一ニ最終ノ圓滿ナル結果ヲ希望スルニアルヲ以テ互ニ相補助シテ以テ結果ヲ收メンコトニ熱中スルハ最モ必要ニシテ缺クヘカラサルコトトス是レ此ノ如クニシテ初メテ協同一致ノ實ニ適合スルモノナレハナリ要務令ニ所謂他ノ補助ニ倚賴セス確

高潔心ト忠實

然自立シテ其任務ヲ全フスヘシ大小ノ機關各々此ノ如クシテ而シテ後全軍ノ協同一致始メテ得テ期スヘキナリトハ乃チ最大ノ要求ニシテ吾人平素ノ修養ニ於テハ素ヨリ此要求ヲ満足セシムルコトニ努力セサルヘカラサルモ完全無缺ハ絶對的ニ之ヲ望ムヘカラサルヲ以テ及ハサルモノハ常ニ其及ハサルヲ以テ憂トナシ餘力アルモノハ他ノ及ハサル所ヲ補ヒ依テ以テ一致協同ノ圓滿ヲ求メサルヘカラス若シ及ハサルモノニシテ其及ハサルヲ掩ヒ若クハ妄リニ獨斷專行ヲ亂用シテ放恣ニ傾クトキハ其害極メテ大ニシテ到ル所ニ蹉跌咀嚼ヲ來シ危險是ヨリ大ナルハナシ故ニ予ハ此際知ラサルヲ知ラストシ疑ヲ疑トシテ毫モ躊躇セサリシ將校ハ軍隊ニ於テ貴重スヘキ高潔ナル精神ヲ有シ其職責ニ忠實ナルモノナルカ故ニ予ノ爲メニハ煩ハ即チ煩ナリト雖モ大ニ其人ヲ尊崇シテ力ノ及フ限り説明指導ノ勞ヲ取リテ倦ムコトナキヲ努メタリ

斯ノ如クシテ聯隊ノ動員實施ハ幸ニ圓滑ニシテ遲滯スルコトナク進歩スルヲ得タリ

十日宣戰ノ詔勅下ル十年前遼東遼陽ノ詔勅ヲ捧讀シテ器泣シタル國民ハ今ヤ此詔勅ヲ賜フ是ニ於テカ久シク鬱積シタル義憤ハ最高潮ニ達シテ方ニ天ヲ衝カントシ舉國死ヲ以テ國難ニ當ランコトヲ誓フ

十三日雪降ル第二軍ノ戰鬪序列ハ此日ヲ以テ令セラレ聯隊ノ動員此日全ク完結ス聯隊ハ人馬ノ訓

宜願

動員完結

動員職務ノ進歩

練ニ全力ヲ傾注シ兵卒ニ至ル迄テ熱心憤勵ス

予ハ動員ニ遭遇スルコト前後二回ニシテ之ヲ二十七年ノ動員ニ比スレハ頗ル改良進歩シタルモノアリ即チ前ノ動員ニアリテハ人馬ノ召集ハ期日ナキヲ以テ應召員ハ第一日ヨリ先キヲ爭フテ雲集シ來リ徵發馬モ急速集合場ニ雜踏シ徒ラニ騷擾混亂ヲ極メタルモ今回ノ動員ニ在リテハ人馬到着ノ期日ヲ定メタルヲ以テ逐次ニ到着シ順序正シク處理シ得ルヲ以テ所謂晝夜兼行ニ急速ヲ望ムカ如キコトナク結局ニ於テ迅速ヲ期シ實施ノ確實ヲ得セシメタリ

應召員ノ狀況

二十七年ノ動員ニ在リテハ應召員ノ歸郷ヲ命セラレタルモノハ舉テ哀願シ從軍センコトヲ熱望シタリ多數ノ人員ナルヲ以テ中ニハ之ヲ僥倖トシ私カニ喜ンテ歸郷シタルモノナキニアラサルヘキモ其數ハ極メテ少ナク遂ニ人ノ注意ヲ促サリシモノナランモ今回ノ動員ニ當リテハ大ニ趣キヲ異ニシ予ヲシテ變遷ノ甚シキニ驚倒セシメタルモノアリ中ニハ不幸歸郷セサルヘカラサルヲ遺憾トシ哀願懇請送巡滯留スルコト數日ニ及ヘルモノナキニアラサリシモ多クハ喜色滿面大手ヲ振リテ營門ヲ出テ甚タシキハ歡聲ヲ發シテ逃走スルヲ見ル而シテ幸ニシテ合格編入ノ者ト雖モ前回ノ動員ニ於ケルカ如ク不合格ノモノニ對シテ得々トシテ誇ルノ色アルモノ少ク反テ其編入ヲ不幸トナシ歸郷スルモノヲ羨ムカ如キ狀亮々トシテ吾人ノ眼ニ影シタリ是ニ於テカ將校第一ノ憂

慮ハ如何ニシテ此ノ如キ士卒ヲ訓導スヘキカニアリテ戰場ノ敵ニ對抗スル以前ニ於テ掃蕩セサルヘカラサル大敵ヲ發見シ視ル所期セスシテ一致シ黙々ノ間之カ爲メ有ユル方法手段ヲ盡スニ至レリ此ノ如キ狀況ハ師團各部隊概シテ同様ニシテ吾人ヲシテ未タ一發ノ銃砲彈ヲ放タサルニ寒心措ク能ハサラシメタリ二十七八年戰勝後僅カ二十年ニシテ既ニ斯ノ如シ若シ一層永ク平和持續シタリトセハ其結果ハ果シテ如何蓋シ平和ノ持續昇平ノ彌久ハ國民ヲシテ安逸驕奢ニ流レ懦弱ニ陥ラシムルヲ以テ元氣ヲ保持スルコト極メテ困難ナルニ基因スルナルヘシ

戰爭ト國民ノ元氣

戰爭ノ性質種々ナリト雖モ若シ國民舉ツテ其資産ト生命トヲ擲チ全力ヲ注テ其國是ト名譽ト開明トヲ保護セントスルノ戰爭タラシメハ其功績偉大ニシテ人心大ニ激昂シ愛國ノ心奮起シ萎靡セル氣力モ醒起シ勇豪剛毅義膽堅忍ハ怯懦怠慢驕奢私慾ニ勝チ團結心及愛國心ハ蘇生シ國民ノ眞實ハ其本ニ復シ欺僞不能虛飾ハ地ヲ拂フニ至ル此ノ如キ戰爭ハ尙ホ激雷ノ如シ夫レ激雷ハ夏日炎熱ニ際シ天外ニ轟發スレハ其破壞力ハ實ニ心膽ヲ奪フト雖トモ天地ヲ一掃シ萬物ヲ發育シ衰力ヲ挽回シテ活氣ヲ生起ス激雷ハ造化ノ妙用ニ於テ缺クヘカラサルノ一ナレトモ尙ホ能ク他ノ緩法ヲ以テ地上萬物ノ發育ヲ謀ルヘシ戰爭ハ國民其元氣ヲ保持スルカ爲メニ往々之ヲ用ヒサルヲ得ス而シテ其功力ハ他法ヲ以テ之ニ代フヘカラス(ブルーム戰略論)

我海軍ノ先

我カ國素ヨリ正義公道ヲ踏ミ信義慈仁ヲ重シシ平和ヲ愛ス故ニ好シテ戰爭ヲ求ムルモノニアラサレトモ露國ノ狂暴終ニ我ヲシテ戰ハサルヲ得サルニ至ラシメ其結果ハ國家百年ノ安寧ニ一大刺激ヲ與ヘタリ故ニ吾人ハ此ノ如キ好機ニ遭遇セルヲ喜フハ勿論翻テ平時ニ於テ如何ナル覺悟ヲ要シ又教育ニ關シ如何ナル點ニ最モ重キヲ置カサルヘカラサルカヲ銘肝セシメタルヲ見ル彼ノ獨逸軍ノ今日其教育ニ苦心經營スル所以亦故アル哉若シ我ニシテ細心留意スル所ナクンハ吾人ハ獨逸軍今日ノ境遇ヲ踏ムノ非運ニ際會スルニ至ラン戒シメサルヘケンヤ殊ニ吾人ハ強露ノ軍ト戰ヒ親シク所謂強露今日ノ軍隊ノ實力ヲ知レリ之ニ依リテ考フルトキハ思ヒ半ハニ過クルモノナラン

二月十一日東郷聯合艦隊司令長官ノ報告アリ其要旨左ノ如シ
聯合艦隊ハ去ル六日佐世保出發豫定ノ如ク行動シ八日正午我カ驅逐隊ハ旅順ニアル敵ヲ攻撃セリ當時敵艦隊ノ大部ハ旅順港外ニアリテ我驅逐隊ノ水雷ニ掛リシモノ少クモ「ボルタワ」形一隻巡洋艦(アスコルド)外二隻アリシモノト認ム我カ艦隊ハ九日午前十時旅順港沖ニ達シ正午ヨリ約四十分間港外ニ殘留セシ敵艦隊ヲ驅逐セリ其結果ハ未タ明瞭ナラサルモ敵ニ少ナカラサル損害ヲ與ヘ大ニ彼レカ士氣ヲ沮喪セシメタルモノト信ス

此報告ニ所謂豫定ノ如ク行動ストハ如何是レ聯合艦隊司令長官ハ第四艦隊ヲシテ仁川ニ向ヒ敵艦

「ワリヤーク」コレーツヲ攻撃セシメ自ラ主力ヲ以テ旅順ニ向ヒタルヲ云フ而シテ第四艦隊ハ七日午後主力ヲ離レテ仁川ニ向ヒ進航シ陸兵ヲ搭載セル三隻ノ運送船ヲ護衛シ港外ニ於テ前遣シアリタル千代田艦ト合シ裕然トシテ港内ニ入り陸兵ノ上陸ヲ終リ九日午前六時運送船ノ港外ニ出ツルヤ司令官ハ書ヲ「ワリヤーク」艦長ニ送り本日正午迄ニ仁川錨地ヲ出テサレハ兵力ヲ用フヘキ旨ヲ告ク而シテ將ニ正午ニ至ラントスルヤ敵艦ハ相前後シテ港外ニ出テ橋頭ニハ戰鬪旗ヲ掲ケ其戰フノ意アルヲ示ス是ニ於テカ仁川沖ノ海戦トナリ露ノ二艦ハ共ニ水底ニ埋メラル、ニ至リ露ノ商船「ズンガリー」亦途ニ免ルヘカラサルヲ知り貨物搭載ノ儘自燼セリ

斯ノ如クシテ旅順仁川兩方面ノ海戦ハ共ニ我カ勝利ニ歸シ敵艦ハ深ク旅順港内ニ潜ミテ亦出テ、戰フノ意ナク迅雷耳ヲ掩フノ暇ナキ間ニ先制ノ利我ニ歸シ帝國軍ハ茲ニ成功ノ第一地步ヲ占メ隨テ我陸軍ハ戰ハスシテ志氣大ニ振ヒ怯懦ヲ掃蕩シタルカ如クナルモ尙ホ陸戰第一ノ成否如何ハ戰爭ノ目的ヲ達スル爲メ至大ノ關係ヲ有シ重大ナル責任ハ我カ第一軍ニ歸スルモノアルヲ視ルニ至レリ

動作迅速活潑ナレハ敵ヲシテ我企謀ヲ察シ之ニ應シテ其處置ヲ爲スニ苦マシメ從テ彼ヲ掩撃スルノ利ヲ得ヘシ是レ先制ヲ占ムル所以ノ方法ニシテ我海軍ハ能ク之ヲ實行セリ而シテ先制ノ利ハ軍

先制ヲ占ムル方法及其利益

ノ志氣ヲ發揚スルニアリ若シ明瞭確實ナル目的ヲ撰ヒ其全力ヲ用ヒテ之ヲ達セントスルトキハ敵ノ企謀措置ヲ俟テ其動作指揮ノ綱領ヲ定ムル者ニ比スレハ其志氣ノ振起スル遙カニ優レリトス之カ爲メニハ攻勢ヲ用フルニアラサレハ不可ナリ

我海軍第一ノ戰勝ハ我作戰ニ至大ノ利便ヲ與ヘ我陸軍ヲシテ韓國北部ニ上陸シ得ルニ至ラシメタリ

十四日師團全部ノ動員完結ス

師團ノ動員完結

一、動員完結ヨリ衛戍地出發ニ至ル (三十七年二月十五日ヨリ三月中旬迄)

徵發馬ノ數

十六日午前十一時練兵場ニ於テ師團長ノ閱兵式アリ終ラ分列式ヲ行フ今日ニ至ル徵發馬ノ狀況未タ持久ノ勞ニ堪ヘスシテ其疲勞スルヤ逡巡遲滞シテ運動ヲ嫌厭シ練兵場ヘ往復ノ際ノ如キハ屢々休止ヲ行ハサルヘカラス殊ニ戰時武裝ノ車輛ヲ輓曳セシメサルヘカラサルヲ以テ此日ノ如キハ頗ル苦難ノ狀ヲ認メタルカ故ニ之ヲ師團長ニ報告シ且ツ到底分列式ヲ行フ能ハサルヲ告ク然レトモ現況ヲ視ルモ亦必要ナリトノ理由ヲ以テ分列式ヲ行フコトニ決シ之ヲ實行ス中隊ニハ平時ノ保管馬ヲ配當スルヲ以テ其段列ニ徵發馬ヲ混スルニ過キサルモ聯隊段列ノ如キニ至テハ全部徵發馬ヲ以テ編制セサルヘカラス隨テ其調教馴致ノ困難ナル名狀スヘカラサルモノアリ是レヲ以テ砲兵ノ

分列式ヲ始ムルヤ中隊ハ其段列ニ若干ノ故障ヲ生シタルノミニシテ稍々可ナリシモ聯隊段列ニ至テハ最初ヨリ車輛各個ノ行進ヲナスト同様ニシテ進ンテハ止マリ止マリテハ進ミ聯隊段列ハ終ニ散亂スルニ至リ半ハニシテ中止ヲ命セラル、ニ至レリ

予ハ見習士官タリシ時射撃演習ニ際シ若干ノ地方馬匹ヲ徵發シテ調教シタルヲ知ル此時ニ當リ徵發馬ハ二週日ニシテ應急ノ調教ヲ施シ得ヘシトノ斷案ナリシヲ記憶ス然ルニ動員第一日ニ入隊シタル徵發馬ト雖モ未タ八日間ヲ經過シタルニ止マリ隨テ應急ノ調教漸ク其半ニ達シタルニ過キヌ故ニ右ノ如キ結果ハ蓋シ至當ノ事ナルヘシ輓駄馬共ニ之ヲ負擔輓曳ニ馴ラスハ容易ナルモ之ヲシテ重量ノ負擔輓曳ニ慣熟セシムルハ容易ニアラス是レ馬匹ノ持久力ハ兵卒ノ行軍力ト同シク度數ヲ重スルニアラサレハ之レヲ發達セシムルコト能ハサルモノナレハナリ

十七、十八日師團ノ一部ハ廣島ニ先發ス騎兵工兵及電信隊是レナリ二十三日聯隊長ハ徵發馬匹調教ノ程度ヲ檢閱スル爲メ聯隊行軍ヲ行ヒ大行李ヲシテ聯隊ノ後尾ニ續行セシメ迂回シテ練兵場ニ到リ戰鬪展開並ニ彈藥補充ノ演習ヲ爲シ夕刻歸營ス而シテ此演習ノ結果ニ依リ成績頗ル良好ナルヲ認メタリ

我第十二師團ハ十七日迄ニ悉皆長崎ヲ發シ此日迄ニ其主力ハ京城ニ集合シ其騎兵及工兵ハ既ニ北

廣島集合

進ノ途ニ就ケリ

三月一日師團ハ廣島ニ向ツテ鐵道輸送ヲ開始スルコトトナリ聯隊ノ先頭部隊ハ三月四日ヨリ逐次宇品ニ下車シテ廣島市ニ到着シ六日ニ到リ聯隊全部ノ集合終ル

消防隊ノ設

廣島市ニハ近衛及第二ノ兩師團集合セルヲ以テ到ル所軍隊ノ宿營セサルナク軍紀風紀ノ維持ニ努カシタルハ勿論ニシテ殊ニ火災豫防ノ爲メ各隊ニ消防隊ヲ設置シ地方警察ト協議シ消防具ハ近傍派出所ノモノヲ使用スルコトヲ規定シ且ツ指揮及應援ノ方法等ヲ定メタリ蓋シ大ナル舍營地ニ在テ最モ緊要ナルハ火災ノ豫防ト消防トニシテ露探徘徊ノ風聞形跡アリシヲ以テ嚴ニ警戒ヲ加ヘタリ

近衛師團ハ我師團ニ先テ廣島ニ集合シ滞在稍々久シキヲ以テ地方人民ノ間ニ於ケル評判頗ル惡シク之カ爲メ我師團ノ到着スルヤ之ヲ訓戒ノ鑑ミトナシ督勵ヲ嚴ニシタルカ爲メ幸ニ嚴肅ヲ維持シ市民ノ信用ヲ得タルノミナラス滞留久シカラスシテ乗船シ依テ以テ聲譽ヲ毀損スルコトナキヲ得タルハ誠ニ幸福ト云フノ外ナシ予ハ部下ノ爲メ又自個ノ爲メ嚴重ナル制裁ヲ加ヘ公用ノ外安リニ他出セス又飲食ノ爲メ他ニ赴キタルコトナシ是レ予ノ一舉手一投足ハ直ニ他ノ模範トナリ訓戒トナルヲ忘レサリシ結果ナリトス率先躬行ハ蓋シ此ノ如キ事ニモ重キヲ置カサルヘカラス

情報ニ依レハ敵ハ奉天ヨリ漸次南下シ又歐露軍隊ハ極東ニ向テ鐵道輸送ヲ始メタリ
蹄鐵工長ハ聯隊ニ三名アルニ過キス隨テ各大隊及聯隊段列ニハ各一名ヲ配屬シ得ルニ止マリ徒ニ
繁忙ヲ感セシメ施療意ノ如クナラス殊ニ迅速ニ處理スルヲ得ヌ又徒歩ノ制ナルヲ以テ行軍中ノ如
キハ應急ノ處置ニ苦ムコトアルヲ察シ其不足ヲ補ハンカ爲メ各中隊及聯隊段列ノ蹄鐵工卒中優秀
ナルモノ各一名ヲ撰拔シ獸醫業務ニ關シテハ獸醫ニ專屬セシムルノ規定ヲ設ケ獸醫極治療器械等
ノ使用法ヲ教育セシメタリ之カ爲メ戰役中多大ノ便ヲ得タルノミナラス馬匹保護ノ點ニ於テ頗ル
成績ノ良好ナリシヲ認ム

二十七八年ノ戰役ニ當リ廣島滯在中腺疫流行シ斃馬續出セルヲ聞知スルヲ以テ到着後假厩舎ノ風
障等ヲ設ケ其保護ニ注意シタルモ再ヒ腺疫ヲ發生シ未タ乗般セサルニ先チ數頭ノ補充ヲ要スルニ
至レリ而シテ近衛師團ハ一層其慘害ヲ蒙リタリ

船舶輸送ニ關シテハ野外要務令ニ示ス處頗ル詳細ナリ然レトモ尙ホ遺脱アルヲ恐レ運輸官衙ノ通
牒等ヲ參照シテ目前ニ迫ル輸送ニ先チ一般ニ教示スル所アリ今研究ノ參考ニ供スル爲メ之レヲ掲
クレハ左ノ如シ

一、乗船前日ニハ悉ク健康診斷ヲ行ヒ下痢患者等甚タシキ疾患アルモノハ一切乗船セシムヘカ

ヲス

二、乗船前ニハ飲食ヲ節シ各自嚴密ニ注意スヘシ

三、乗船當日ノ朝餉大麥若干ハ適宜ニ減少シ乗船後之ヲ與ヘ乗船前ニハ充分ニ水餉ヲナスヘ

シ

四、彈藥ハ勿論「マツチ」油紙ノ如キ總テ發火ノ恐アルモノハ明瞭ナル標記ヲ附シ其包裝若クハ
箱等ハ堅固ナルヲ要ス

五、「マツチ」其他之ニ類スル發火具ハ何人ト雖トモ船内ニ持チ入り又ハ船内ニテ之ヲ攜帶スル
コトヲ嚴禁ス

六、棧橋及船室並ニ船艙ニ將校若クハ準士官一名及所要ノ下士卒ヲ配當スヘシ其將校及準士官
ノ官氏名及下士卒ノ人員ハ乗船前豫メ輸送指揮官ヨリ之レヲ碇泊所司令部ニ通報スヘシ

七、人員搭載ノ際ハ彙キニ船内配當ノ際同行シタル下士卒ヲ舷門其他ノ要所ニ配置シ乗船者ノ
到ルヘキ經路及占ムヘキ位置ヲ指示セシムルヲ良シトス

八、解船ニ乗船セシムルトキハ何レノ場合ト雖モ舷側ニ手ヲ出スヘカラス

九、下士以下乗船後ハ搭載終了スル迄所定ノ位置ヲ離ルヘカラス又出帆前ニハ上甲板ニ出ツル

ヲ禁ス

十、棧橋ニ在リテ乗船ヲ指揮スル將校ハ最後ニ乗船スヘシ

十一、馬匹搭載ニハ馬匹取扱ニ熟練セル兵卒ヲ棧橋一個ニ八乃至十名解舟ヨリ本船ニ搭載スル

ニハ解舟ニ三乃至四名艙内ニ五乃至六名甲板上ニ二乃至三名ヲ配當スヘシ馬駱ハ一船ニ三個

トス

十二、馬駱ノ緒銀ハ必ス双方之ヲ交叉シテ起重機ノ釣銀ニ箱入スヘシ

十三、同艙内ノ第二第三層ニ馬匹ヲ搭載スルトキハ先ツ第二層ヨリ搭載スヘシ揚陸ノ時ハ之ニ

反ス

十四、搭載ヲ指揮スル幹部ノ外乗船地殊ニ棧橋ノ周圍ニ立寄ルヲ禁ス

十五、配當セラレタル解舟ノ他ハ一切之ヲ使用スヘカラス

十六、日用品ハ各自ニ之ヲ背負袋ニ入レ鞍囊及背囊ヲ別所ニ積込ムモ差支ナキ様ナシ置クヘシ

十七、夜間單獨ニテ上甲板上ヲ運動スヘカラス

十八、沖賣船ノ飲食物ハ有害ナルモノ多キヲ以テ購求スヘカラス

十九、船室ニ揭示シ有ル船内禁令諸規定及衛生上ノ注意ハ特ニ之ヲ嚴守スヘシ

二十、喫烟ハ所定ノ喫烟所外ニ於テ之ヲナスヲ禁ス

二十一、揚陸後ハ棧橋附近ヲ離レ集合整頓スヘシ又如何ナル場合ト雖モ道路ハ必ス之ヲ開放シ

置クコトニ注意スヘシ

二十二、乗船後定時食品ノ外ハ飲食スヘカラス

二十三、定時食品ト雖モ飽食過飲ヲ慎ムヘシ

二十四、驚鼠ヲ發見シタルトキハ直ニ醫官ニ届出ツヘシ

二十五、船員ニ對シテハ定食外ニ飲食物ヲ請求スルコトヲ許サズ

二十六、航海中馬匹ノ水飼ハ一日三回(朝晝夕)馬糧ハ二回ニ之ヲ與ヘ大麥ニハ拇指食指中指ノ

三本ヨリ成ル一握ノ食鹽ヲ混シ之ヲ與フヘシ之カ爲メ一頭ニ付一合宛準備携行スヘシ

二十七、水飼ノ事ハ監督將校若クハ船長ニ協議シ其時刻ヲ定ムヘシ

二十八、乗船及上陸ノ際ハ必ス煮沸水ヲ水筒ニ填寫セシムヘシ

二十九、乗船附軍醫ヨリ部隊健康診斷書ヲ請求スヘキヲ以テ輸送指揮官ハ隊附軍醫ヨリ該證書

ヲ受領シテ乗船スヘシ

此他乗込軍醫ノ業務規定アレトモ必要ナラサルヲ以テ之ヲ略ス而シテ船舶輸送ノ爲メ進備配當シタルモノ左ノ如シ

一、各船ニ蒸漏二個「バケツ」二個馬匹五十頭ニ對シ石炭酸若クハ「クレソリン」「ボンド」(以上馬匹傳染病毒豫防用)

二、乗船上陸ノ際甲板ノ滑走及馬房内ニ於ケル滑走ヲ豫防スル爲メ馬一頭ニ對シ藁五百目

三、鞍及轆具結束ノ爲メ馬匹一頭ニ對シ約二丈ノ割合ヲ以テ荷造繩ヲ支給ス

是レ單ニ毛布ニテ包ミタルノミニテハ結束堅固ナル能ハサルヲ以テ解脱散亂ノ恐アレハナリ

四、乗船上陸ニ際シ輸送掛タル將校以下ヲシテ黄色布ニ人若クハ馬ト墨書シタル標章ヲ左腕ニ附着セシム而シテ人ハ人員掛馬ハ馬匹掛ヲ示スモノトス

此間ニ於テ我海軍ハ旅順港ノ閉塞ヲ企テ勇烈壯快ノ戰鬪ヲ試ミツ、アリ是ヲ以テ吾人ハ尙ホ廣島ニ在リト雖モ心ハ既ニ北韓ニ上陸シテ逸早ク鴨綠江畔ニ彷徨ス乗船ハ一日ト迫ル眞ニ千秋ノ歎ナキ能ハス

寒國ノ閉塞

予ハ予ノ寒冒ノ其後如何ニ經過シタルヤヲ記スルヲ遺忘セリ然リ實際ニ於テモ惡性ノ寒冒ハ繁忙

聯隊長ノ訓示

ニ逐ハレテ何時トナク逃避シ去レリ動員完結ノ比予ノ健康ハ既ニ平常ニ復シタリ若隊ノ後ハ所謂剛情我慢再ヒ藥ヲ口ニセサリシト雖モ幸ニ事ナク軍務ニ從事セリ是レ予ノ爲メニハ大ナル幸福ト謂ハサルヲ得ス

三月十七日聯隊長ハ左ノ訓示ヲ部下聯隊ニ與ヘタリ即チ乗船ノ二日前トス

我聯隊ハ帝國軍ノ中ヨリ擢ンテ第一ニ動員ヲ令セラル是レ聯隊ノ最モ名譽トスル所ナリ當市ニ集中シテ以來今ヤ二週日ヲ經過シ戰地ニ向フノ期已ニ既ニ迫ル其敵地ニ長驅シテ一大快戰ヲ試ムルノ日モ亦遠キニアラサルヘシ豈ニ軍人ノ最大快事ナラヌヤ

願フニ精銳ノ火炮ニ加フルニ平素鍛練セシ技能ト其涵養セシ忠憤敵愾ノ心ト勇猛果敢ノ氣トヲ以テシ能ク國家干城ノ任ヲ全フスルハ本職ノ信シテ疑ハサル所ナリ然レトモ今回ノ事タル我帝國空前ノ戰役ニシテ國家興廢存亡ノ懸ル所ナルヤ言フ俟タズ茲ヲ以テ上下一致同心協力シテ勇戰奮闘シ敵ヲ粉碎スルヲ職トシ難ヲ排シ艱ニ勝チ專念餘意ナク以テ我聯隊ノ聲譽ヲ揚ケ功績ヲ輝シテ以テ本職ノ希望ニ背カサランコトヲ切望ス部下一同夫レ之ヲ努ムヨ

三月十九日ハ來レリ聯隊ハ此日ヨリ乗船發航スル豫定ニシテ聯隊本部ハ第二中隊ト共ニ阿波丸ニ搭乘スル爲メ午前六時半廣島市ヲ出發シテ宇品ニ到ル而シテ步兵第二十九聯隊ノ主力同時ニ乗船

宇品乗船

シ砲兵聯隊長之ヲ輸送指揮官タリ

昨夜來雨降り後晴レタルモ之カ爲メ乗船準備約一時間遅延シテ午前九時搭載ヲ始メ午後五時全部ノ搭載ヲ終ハリ即時出帆ス腺疫ノ爲メ生シタル缺損馬匹ハ前ニ記シタル如ク之ヲ補充シタルモ人員ハ聯隊ノ定員五名ヲ缺クニ至リ此等ノ患者ヲ廣島豫備病院ニ殘シテ外征ノ途ニ上レリ然レトモ其缺損極メテ少ナカリシハ誠ニ聯隊ノ幸福ト謂ハサルヲ得ス而シテ人馬ハ未タ戰ハサルニ先チ斯ノ如ク逐次ニ缺損ヲ生シ戰鬪力ヲ減殺ス依テ以テ疾病ノ軍隊ノ大敵タルヲ推知シ得ヘシト信ス

馬關ヲ通過ス

二十日午前七時頃馬關ヲ過ク門司港ニハ先着セル運送船ノ停留スルモノ多ク中ニハ中途ヨリ引キ返シ來レルモノアリシト云フ是レ昨夜來天候惡シク進航困難ナリシニ依ルモノニシテ今ヤ數多ノ船舶ハ靜穩ニ復スルヲ待チツ、アルナリ然レトモ阿波丸ハ裕々トシテ進航シ玄界灘ニ入ル勵搖稍々激シキモ苦痛ヲ感スルニ至ラス

玄界灘ノ船

將校ノ多クハ未タ航海ノ經驗ナシ予モ亦然リ然レトモ玄界灘ノ難所タルハ早クモ吾人ノ間ニ傳ハリ私ニ危ム所アリタルヲ以テ朝食ニ當リ人皆ナ以爲ラク未タ玄界ニ入ラサルノ間ニ於テ充分食事シ置クヲ得策トスト是レ船暈ニ罹ルニ至レハ遂ニ攝食シ得サルヲ恐ルレハナリ故ニ默約ノ間平素ノ如ク充分ニ食事ヲナセリ食後幾何ナラスシテ玄界ニ入り勵搖稍々激シキヲ感スルモ無經驗ノ

船ノ預防

結果多少異常ヲ感シツ、強テ平氣ヲ裝ヒ甲板上ニ在リテ逍遙談笑セリ曰ク船暈我ニ於テ何カアラント然ルニ少許ニシテ苦痛ニ堪ヘサルモノ續出シ一人去リ二人消ヘ幾何ナラスシテ甲板上雙影ナキニ至レルヲ以テ予ハ下士卒ノ船室ヲ巡視ス嘔吐苦痛頗ル甚タシキノ狀ヲ見ル予ハ奉天會戰後臺灣ノ間ヲ往復シ殊ニ船員ノ難所ト稱スル臺灣澎湖島間ヲ往來シ數度暴風及其餘波ニ遭遇シタルモ苦痛ヲ感シタルコト少ナシ某船員予ノ船ニ強キヲ賞讃シ且ツ語ル所ニ依レハ此船員ハ山形ノ人ニシテ船業ニ従事セル初メヨリ苦痛ヲ感シタルコトナシト云フ故ニ天性ニ依リ強弱ヲ異ニシ普通ノ人ニ在リテハ經驗慣熟ノ後ニアラサレハ船暈ヲ患ヘサルニ至ラサルヲ知ル海上生活ヲ常トスル船員スラ上陸久シキニ亘ルノ後乗船スルトキハ又多少ノ不快ヲ感スルヲ免レスト云フ

予ノ經驗ニ依レハ豪飲暴食若シクハ爾他ノ原因ノ爲メ胃ノ健全ナラサルトキハ不快ヲ感ス故ニ乗船ニ先ツ數日間ハ飲食ヲ節シテ胃ヲ強壯ナラシメ船ニ弱キ人ハ乗船後ト雖モ減食シテ之カ豫防ヲ怠ラサルヲ必要トス而シテ不快ヲ感スルニ至レハ靜臥睡眠スルヲ良シトス又渴ヲ覺ユルコト甚タシキ時ハ適當ニ清水ヲ飲用スルヲ可トス好酒家ハ豫防トシテ火酒ノ如キ強キモノ少量宛ヲ飲用スルヲ可トス是レ神經ヲ興奮セシムルニ依ルモノナルヘシ然レトモ麥酒ノ如キハ却テ不快ヲ感スルノ基トナリ宜シカラス而シテ其原因ヲ詳カニセス單ニ實驗ノ結果ナリト云フ

朝鮮西南岸及西岸ニ沿フ進航ハ頗ル平穩ニシテ多クハ元氣ヲ回復セリ

二十一日ニ至リ航速ヲ減シテ徐行ス是レ明二十二日午前八時指定ノ地ヲ通過スルヲ要スルカ爲メナリ此日通信船日東丸ニ遭フ其信號ニ依レハ我軍艦ハ所々ニ游弋シテ警戒スト

我陸軍連送船ノ軍艦要所ノ警戒ニ倚頼シ單獨ニ航行シテ豫定ノ上陸地ニ向フテ得ルハ一ニ海軍先制ノ恩惠ニ頼ル之カ爲メ獨リ作戰路ヲ短縮シ得タルノミナラス實ニ我カ第一軍ノ上陸集中ヲ迅速ナラシメタル海軍ノ功大ナル哉

韓語ノ研究

祝宴

吾人ハ何事ヲモ考フルノ暇ナク韓語會話ナル小冊子ヲ手ニシテ熱心ニ研究セリ上陸後土人ト對話シ得タル素養ハ船中研究ノ賜ナリトス

上陸地ニ近ツキタルヲ以テ夕將校一同會宴談笑先ツ我前途ヲ祝ス而シテ先輩ノ談日清戰役ニ移リ吾人ノ利益ハ少ナカラサルヲ覺ヘタリ此夜臥床後故國ヲ夢ミルニアラスシテ韓國ニ於ケル架空ノ戰鬪ヲ夢ミテ微笑ヲ洩サ、リシモノナカルヘシ殊ニ吾人初陣者ハ無經驗ノ戰ニ對シテハ恰モ神經家ノ如ク妄想至ラサルナシ而シテ斯ノ如キ愉快ハ未タ嘗テ感セサリシ所ナルヲ自白セサルヲ得ス

此日晴後少雪

三、鎮南浦ニ上陸シテ京義街道ニ出ツ (三月下旬ヨリ四月上旬ニ至ル)

二十二日午後一時鎮南浦ニ到着投錨ス先キニ到着セル近衛師團ノ輜重ハ尙ホ揚陸中ナルヲ以テ別命アル迄船中ニ止マルコト、ナル此夜氣温零下一度ニ下リ寒威烈シ

二十三日近衛師團ノ輜重ノ揚陸ハ潮流激シキ爲メ稍々困難ナルヲ認ム陸上ノ小丘ニハ松樹繁茂シ其景况我國ニ同シ唯タ魁偉白衣ノ土民ハ吾人ニ奇異ノ感ヲ抱カセシメタルヨリハ寧ロ哀憐ノ情ヲ起サシメタリ

午後四時輸送指揮官ハ常陸丸師團司令部ニ召集セラレ命令及諸注意ヲ受ク此時ニ於ケル敵狀概テ左ノ如シ

義州及嘉山間ニハ約二千ノ敵ノ騎兵アリ其斥候ハ大寧江ノ右岸ニ出沒ス

午後六時碇泊場司令部ニ於テハ船長會議ニ於テ明二十四日阿波丸ノ揚陸ヲ實施スルニ決ス

二十四日朝甲板ニ出ツ昨夜來降雨雪ヲ混シ爲メニ遠近ノ丘阜ノ白衣ヲ纏フヲ見ル午後十時ニ至リ融解跡ヲ止メヌ又揚陸ノ豫定ハ變更セリ是レ近衛師團輜重ノ揚陸依然連續シ解舟ヲ使用スル能ハサルニ基ク而シテ師團司令部及歩兵第四聯隊ハ先ツ揚陸ヲ實施ス

午後一時工兵一小隊ヲ行進間砲兵ニ分屬スルノ通報アリ

鎮南浦附近ノ景況

此日予ハ親シク四邊ノ景況ヲ觀察スルノ時ヲ得タルヲ以テ少シク其狀況ヲ述ヘシ

河岸ノ丘阜ハ松樹鬱蒼トシテ風景ノ喜フヘキモノアリ大同江ハ水濁リ恰モ大雨後ノ我邦ノ河流ノ如クナルモ河幅ノ廣大ナルハ我邦ノ如キ脊稜山脈ヨリ東西ニ分水シ直ニ海ニ朝スルカ如キモノハ比ニアラス土ヲ以テ造レル家屋ハ恰モ我カ國ニ於ケル小屋ノ類ニシテ軀幹魁偉ノ土人ニ相應セス四顧天然ノ風趣見ルヘキモノ多キモ土人ノ白衣ハ恰モ亡國ノ民タルヲ表章スルカ如キ感ヲ起サシメ何トナク哀情ヲ催シ風趣ヲ沒却スルヲ覺ユ然レトモ土人ハ丘阜上ニ集團シ長大ノ烟管ヲ口ニシテ我上陸ヲ見物シ其吞氣ハ一見之ヲ諒知シ得ヘク遠來ノ珍客ヲシテ啊然タラサルヲ得サラシム

揚陸

方法ノ可否

廿五日碇泊場司令部ノ通報ニ依リ午前七時ヨリ準備ヲ整ヒ解舟ノ到ルヲ待ツモ遂ニ來ラス爲メニ午前八時漸ク揚陸ヲ開始スルニ至レリ然ルニ此日砲兵材料揚陸ノ爲メ使用シ得ル門橋ハ僅カニ六艘ニシテ之ヲ以テ四中隊ノ揚陸ヲ爲サ、ルヘカラサルカ爲メ著シク不足ヲ感スルソミナラス順次一方ヨリ實施シ一運送船ノ終ハリタル後更ニ他ノ使用ニ供セサルヘカラス是ヲ以テ第一第三中隊ヲ先キトシ第二第六中隊ヲ次トセリ隨テ阿波丸ノ揚陸ヲ終ハリタルハ午後五時トス又一方ニ於テハ天候ノ妨害ヲ受ケタリ即チ午前ハ潮流ノ關係上揚陸動作容易ナリト雖トモ午前八時半頃ヨリ濃霧四周ヲ鎮シ頗ル危険トナレルヲ以テ一時小蒸氣ノ曳船ヲ中止シ午前十時漸ク快復スルニ至ル迄

韓語ト日本語トノ通用

空シク時間ヲ費シ又小蒸氣ノ數少ナキニ係ラス全然曳船ニ依リ揚陸セシメントシタルヲ以テ豊富ナラサル解舟ハ或ハ一時全ク陸岸ニ群集スルカ如キコトアリテ其間動作ヲ中止シテ其船側ニ歸來スルヲ待タサルヘカラサルノ不利ヲ招キタリ潮流ノ激シキ時ニ在テハ曳船ヲ利トスルモ此日午前ノ如キハ潮流緩ナリシト投錨點埠頭ニ接近シアリタルヲ以テ寧ロ一部ハ水夫ノ腕力ニ依頼シテ間斷ナカラシメハ反テ迅速ナリシナルヘシ故ニ揚陸ノ方法ノ如キハ一定ノ方法ヲ墨守セス狀況ニ應ジテ宜シキヲ得セシメサレハ不可ナリ

此日聯隊本部及第一大隊ハ柳川里倉山間ニ第六中隊ハ鎮南浦ニ宿營ス而シテ師團司令部ハ鎮南浦ニ在リ

上陸後韓語通譯四名ヲ配屬セラル皆職人ノ類ニシテ學力ナク中ニ豫備看護手一人アリ菓子商ヲ營メルモノニシテ此等ハ附近ニ於テ募集セラレタルモノトス而シテ韓國進軍間之ヲ使用シタルモ特ニ便ヲ得タルコトナク僅カニ用辯ノ補助タルニ過キス予ハ先發設營等ニ際シテハ主トシテ船内練習ノ韓語ヲ應用シ又多ク村長ヲ召喚シテ筆談ヲ試ミ大ナル不自由ヲ感セス殊ニ語學ニ特長ヲ有スル韓人ハ一般ニ日本語ヲ覺ユルコト迅速ニシテ前進部隊通過ノ後ハ單簡ナル日本語ヲ以テ漸次意ヲ通シ得ルニ至リ至大ノ便ヲ得タルモノアリ

兵卒ノ對話

士人ヲ同化
セシメント
ス

鎮南浦ノ市
街

兵卒ノ對話ハ最モ滑稽ナリ彼等ハ二三ノ單語ハ之ヲ覺ユルモ夫レ以上ニハ進歩セズ常ニ此ノ二三
 語ヲ以テ土人トノ對話ヲ試ム而シテ自然ニ手肢身體ヲ動かシテ形容ヲ添フ故ニ土人ハ單簡ノ意味
 ヲ解ス是ニ於テカ兵卒ハ得々トシテ談話ヲ試ム其云フ所ハ半時ニモ亘ル長キ談話ト雖トモ二三ノ
 韓語ヲ反復スルノミニシテ一ニ形容ヲ以テ意思ヲ通セントシ不知不識斷續セル日本語ハ不絶其唇
 頭ヨリ發シ傍ラニ在リテ之ヲ聞ケハ不完全ナル日本語ノ會話ニ過キス然レトモ兵卒ハ揚々トシテ
 喜フ予ハ恰モ日本語カ我兵卒ニ依リテ熱心土人ニ教授セラル、ノ感ヲ抱キ心私カニ歡喜ノ情ニ堪
 ヘサリシモ目前ニ其狀況ヲ見ルトキハ不覺抱腹絶倒スルコト屢々ニシテ此ノ如キ狀態ハ清國ニ入
 リテモ依然トシテ連續シ我軍隊ハ其軍務ニ從事シツ、到ル所滿韓ノ土民ヲ同化セントニ力ヲ注
 キタルモノト云フヘク其効果決シテ少シトセサルモノアリト信ス
 予ハ上陸後命令受領ト旅行券請求トノ爲メ先行シテ鎮南浦ノ市街ニ到ル市外ニハ我兵站部用ノ諸
 材料及軍需品山ヲナシ其準備ノ速カナルニ驚ケリ市街ノ主ナル部分ハ皆日本人ノ商店ニシテ其北
 部ノ低キ所及附近ノ丘阜ニ在ルモノヲ土人ノ家屋ナリトス故ニ鎮南浦ハ全然日本町ニシテ河岸
 ニ向ヒ擴張シツ、アルノ狀ヲ認ム土人ノ部落ハ非常ニ不潔ニシテ到底足ヲ入ル、能ハス予ハ奇好
 心ニ驅ラレ一小店ニ入ル恰モ我寒村僻地ニ於ケル三文見世ト同様ニシテ摺附木葉烟草南京豆ノ少

韓國ノ部落

量ヲ塵埃ノ間ニ羅列ス不潔ノ點ニ於テ本邦尙ホ斯ノ如キモノアルヲ知ルモ其惡臭ニ至リテハ予ノ
 未タ經驗セサル所ニシテ之ニ堪フルヲ得ス倉皇此所ヲ出ツ
 予ハ師團司令部ニ於テ命令ヲ受領シタル後設營ノ爲メ出發ス以爲ラク柳川里及胥山間ニ宿營セル
 カ爲メニハ道路ニ沿フ部落ノミヲ使用スレハ足ル故ニ斯ノ如ク配當セハ可ナラント予ハ設營者ヲ
 隨ヘ速駛ニテ前進ス又以爲ラク道路ニ沿フ第一ノ部落ハ即チ我宿營地ノ入口ナリト而シテ二軒ノ
 孤立家屋ヲ道路ノ右側ニ見タルモ平然トシテ過キ行ク稍々欠フシテ又一小部落ニ會ス土人ニ問
 ヘハ是ソ即チ工兵小隊ノ宿營地ニシテ予ハ已ニ宿營區域ノ前方ニ出テタルナリ是ニ於テカ窮セザ
 ルヲ得ス是レ宿舍ニ充ツヘキモノハ遠ク道路ヲ離レテ點々之レヲ求メサルヘカラサレハナリ然レ
 トモ遅ク到着スヘキ部隊ノ爲メニハ此ノ如キ迂遠ノ宿營ヲ強フルハ不可ナルヲ以テ遂ニ意ヲ決シ
 テ歸來シ途中第一第三中隊ニ左方約千米突ノ丘阜ノ間ニ在ル一小部隊ヲ配當シ先キノ二軒家ニ到
 リ聯隊本部及第二中隊ヲ此ニ宿營セシムルニ決ス蓋シ今日ニ於ケル動作ハ全ク予ノ失錯ナリトス
 何トナレハ韓内地ノ住民ノ少ナキ部落ノ小ナルハ予ノ既ニ知悉スル所ナルモ地圖ヲ一見シテ忽チ
 我國ノ部落ヲ聯想シ學習上ノ記憶ヲ喚起スルヲ得ス爲メニ斯ノ如キ可笑ノ動作ヲナスニ至リタル
 モノナレハナリ京義街道上ノ進軍ニ於テスラ二十七八年戰役ニ當リ我カ軍ノ宿營ニ困難シタルハ

戰史明カニ之ヲ記ス况ンヤ平壤ニ至ル道路ニ於テヤ戰史ヲ研究スルモノハ宜シク此等ノ點ニモ注意シテ彼我内地ノ狀況ノ著シク差異アルコトヲ明カニスルヲ要ス

第一軍ノ進

韓國ニ於ケル進軍ノ狀況ヲ述フルニ先チ第一軍前進ノ概況ヲ記シテ狀況ヲ明カニセン
第十二師團ハ京城ヨリ北進ノ途ニ就キ獨立シテ軍ノ前方ニ在リ而シテ次ニ上陸セル近衛及第二師團ハ各四梯隊トナリテ前後ニ重疊シ近衛師團ノ前方ニ行進スルモノハ獨立騎兵團及道路及改修支隊トス

師團ハ戰鬪部隊ヲ二梯團ニ區分シ砲兵聯隊本部及第一大隊ハ其第一梯團ニ殘餘ハ第二梯團ニ屬ス師團ノ輜重ハ又之ヲ二梯團ニ分チ第三第四梯團トナシ第三梯團ニアル旅團内ノ歩兵一聯隊ヲ屬セリ
情報ニ依レハ二十三日我騎兵及歩兵ノ一部ハ嘉山ヲ占領セリ

韓國鐵路ノ第一日

二十六日砲兵ハ前進ニ就ケリ此日ハ實ニ韓國ノ難路ヲ行進セシ第一日ニシテ然モ宿營地ヨリ其困難ヲ排除セサル可ラス工兵小隊ノ如キハ其宿舍ヨリ器具ヲ手ニシ出テ、修理ニ從事セリ而シテ行進ニ當リテハ工兵小隊ノ半部ヲ前方ニ進メ其後方即チ大隊ノ先頭ニハ臨時編成セル作業隊アリ工兵ノ他ノ半部ハ砲軍隊ト同行スルノ部署ヲ取り修理ヲナシツ、行進セシム又馬匹ハ上陸直後ナル

ヲ以テ平素ノ如ク強健ナラス隨テ行進頗ル遅々タリ此日ノ豫定宿營ハ龍岡ニ近キ冷井ト稱スル部落ナリシモ坨塢ニハ尙ホ近衛師團ノ輜重遲滯シ居ルノミナラス其前方ノ道路ハ非常ニ難惡ニシテ先ツ之ヲ修理セサルヘカラス之カ爲メ宿營地ヲ坨塢ニ變更セリ而シテ此所ニ至ル距離約十吉米突ニ過キス然ルニ先頭ノ第三中隊ハ夕漸ク到着シ第一中隊ハ夜半辛フシテ到着シタルモ後尾タリシ第二中隊ハ宿營地ニ到ル能ハスシテ途ニ露營セリ又近衛師團一部ノ輜重ハ悉ク發進スルヲ得スシテ依然坨塢ノ一部ニ宿營シアリ

輜重ト混同

二十七日先ツ道路ノ修理ニ着手ス宿營地前方ノ道路ハ水田中ヲ通シ之ヲ横過スル小流ハ路盤破壞ノ爲メ漲溢シ然ラサル部分モ路盤ハ根底ニ至ル迄破壞セラレ約千米突ノ間ハ全ク水田ト異ナルナシ殊ニ近衛輜重ノ殘部ハ遂巡シテ尙ホ發進スルニ至ラス其前進ニ就キタルモノハ忽チ苦心修理セル部分ヲ破壞シ道路ハ埋没セル車輛ヲ以テ填塞シ混雜甚タシ是ヲ以テ砲兵ハ自個ノ重大ナル車輛ヲ通過セシムルニ先チ此等ノ車輛ヲ援助スルヲ必要トスルノミナラス其發進終ルヲ待ツトキハ本日前進ニ就ク能ハサルノ恐アルヲ以テ斷然前進ニ決シ遂ニ輜重ト混同スルニ至レリ

午前九時第二中隊漸ク坨塢ニ到着ス即チ休憩ヲ命シ午前十時先頭ヲ以テ前進ニ就ク若シ其狀況ヲ想見セント欲セハ我國ノ深田ヲ跋涉スルモノト想像セハ當ラスト雖トモ遠カラス抑々此ノ如クニ

至リタル所以ノモノハ時正ニ融解期トナリタルハナリ故ニ道路改修支隊ノ前進スルニ當リテハ尙ホ凍結シアリタルヲ以テ改修モ亦頗ル容易ニシテ近衛師團主力ノ如キハ輕易ニ前進シ得タルヘキモ今ヤ泥濘馬脚ヲ没シテ全ク行進ニ適セサル惡路ニ變シ單騎尙ホ危險ヲ免ル、能ハス況ンヤ車輛ヲヤ重大ナル砲兵材料ヲヤ

夜ヲ徹スルノ行進儀カニ三千米

此日ノ行程豫定宿營地タル江西ニ至ル迄約四里トス然ルニ午後衛生隊全部ノ援助ヲ以テシタルニ係ラス午後七時尙ホ宿營地ヲ隔ツル二里餘ノ地ニ彷徨ス即チ衛生隊ヲシテ宿營地ニ前進セシムルト同時ニ大行李ヲ江西ニ先遣シ炊爨後送ヲ命ス而シテ今ヤ僅カニ行進第二日ニ至レルニ過キス若シ此ノ如キ狀況ヲ以テ進ムトキハ遂ニ戰鬪ノ期ヲ逸スル恐アルヲ憂ヒ聯隊長ハ終夜ノ行軍ヲ命ス其意蓋シ部下ヲ激勵スルニアリタルモノ、如シ獨リ工兵小隊ハ爾後ノ勞働ヲ願慮シ江西ニ到リ宿營シ該小隊長ヲシテ狀況ヲ師團長ニ報告セシム

各中隊長ハ少時休止ノ後更ニ行進ヲ始メ中隊長以下工具ヲ手ニシテ作業ニ從事シ一意前進ニ努力ス故ニ各中隊ノ前方ニハ中隊ノ作業隊アリ各車輛ノ前方ニハ其車輛ノ作業手アリ道路トナク畑トナク高地斜面トナク惡路ヲ避ケテ新ニ行進路ヲ設ケ一步一步ニ移轉ス然リ行進スルニアラスシテ恰モ材料ヲ移轉スルノ狀アリ爲メニ時ハ次第ニ進ムモ行進ハ容易ニ抄ラス翌朝ニ至ル迄行進シタル距離ハ僅カニ三吉羅米突ニ過キス嗚呼困難ノ狀モ亦甚シヒ哉

樹木少シ

二十八日午前九時先頭ヲ以テ德鳳里北方鞍部ヲ越ヘ江西平地ニ降ル江西ハ之ヨリ尙ホ一里前方ニ在ルナリ而シテ是ヨリ約二千米突ノ間ハ辛フノ行進ヲ繼續シ得タルモ其前方ハ一步モ進ムト能ハス前日當初ノ惡路ニ比スレハ尙ホ一層甚シキヲ見ル恰モ此時昨夜及今早曉ノ報告ニ依リ援助ノ爲メ派遣セラレタル歩兵一大隊及衛生隊ハ輕裝シテ到着セルヲ以テ彈匣藥筒匣ハ悉ク之ヲ出シテ搬送セシメ車輛ニハ數條ノ綱ヲ結着シテ一車二十人多キハ五十八人ヲ曳カシメ午後三時漸クニ先頭ノ若干車輛江西ニ入り夕ニ及ヒ宿營ニ就クコトヲ得タリ即チ約二千米突通過ノ爲メ約二千八ト四百頭ノ馬匹等ヲ以テシテ途ニ一日ヲ費シタリ道路ノ困難モ此ニ至リテ極度ニ達スト謂フテ可ナラン江西ハ平壤ニ至ル通路ト飯山ヲ經テ永柔ニ至ル道路トノ岐分點ニシテ近衛師團ハ平壤ニ出テ京義街道ニ移レルヲ以テ砲兵ト混同シタル近衛一部ノ輜重ハ此惡路ヲ通過シタル後東方ニ分進セリ若シ我援助ヲ得ル能ハサル時ハ終ニ所屬師團ニ續行スル能ハサリシヤ必セリ道路ヲ修理スル爲メニハ附近ノ樹木ハ勿論其如何ナルモノニテモ有ラン限リテ盡シテ埋填シ此日ノ如キハ遠近ノ樹木ハ殆ント其跡ヲ絶ツニ至レリ是レニハ道路破壊ノ甚タシキニモ基クト雖トモ亦此附近樹木少ナキニ依ル故ニ鴨綠江畔ニ近クニアラサレハ大ナル樹木ヲ見ル能ハス古來韓國

其貧アルヤ
故アル哉

ニテハ建築材料ニ適スル樹木有スルモノアレハ其所有主ニ命シテ公衙官殿用トシテ献納セシメ
所有主ハ大金ヲ擲テ之ヲ指定ノ地ニ運搬セサルヘカラサルニ至ル是ヲ以テ爾來培養保護ヲ爲サス
是レ樹木ヲ乏シキ所以アリト稱スルモ地味ノ不良モ亦一大原因ナルヘシト信ス
公衙ハ其破損ニ委テアリト雖トモ土人ノ家屋ニ相應セス頗ル宏壯ヲ極ム是レ皆人民ノ膏血ヲ絞リ
タル表章ナルカ如シ而シテ土人ノ家屋ハ貧富ニ依リ大差ナク殆ント一樣ナル所以ノモノハ若シ餘
財ノ裕カナルヲ發見セラル、時ハ種々ノ口實ヲ以テ徵集セラレ獨リ官ノ濫費ヲ利スルニ過キサル
ノミナラス官吏ハ腹ヲ肥スノ惡策ヲ運ラシ之カ爲メ不測ノ禍ヲ招クヲ以テ勉メテ食ヲ裝ヒ民俗自
然ニ今日ノ如クナルニ至レリト云フ斯ノ如クナルヲ以テ官ニ威信ナク民ニ元氣ナク終ニ今日ノ衰
退ヲ見ルニ至レルハ蓋シ怪ムニ足ラサルナリ
情報ニ依レハ淺田少將ノ率フル支隊ハ二十八日(本日)嘉山ニアリ二十七日之ヨリ一部隊ヲ前進セ
シメタルニ敵ハ定州ヲ捨テ、退却シ我支隊ハ一部ヲ以テ定州ヲ占領セリト云フ
二十九日進軍ノ狀況前述ノ如クナルヲ以テ梯團區分變更セラレ砲兵聯隊ハ全部第二梯團ニ入り聯
隊長ハ歩兵二大隊半及工兵一中隊(一小隊缺)ヲ指揮スルコト、ナル依テ各大隊ニ歩兵一六隊及工
兵一小隊ヲ聯隊段列ニ歩兵二中隊ヲ附シ三梯隊トナリ前進セシムルニ決ス而シテ此日砲兵ハ江西

衛生經理機
關ノ分屬

水浴

ニ滞在シテ後續部隊ノ爲メ道路ノ修理ニ全力ヲ注ケリ
砲兵聯隊ノ軍醫及經理機關ハ聯隊本部ニ屬ス故ニ行軍等ニ當リテハ所要ニ從ヒ之ヲ各大隊ニ配
屬スルニ過キサルモ今ヤ各梯隊ハ聯隊長ノ指揮下ニ在リト雖トモ各獨立ノ姿ヲ以テ行進スルコト
トナルヲ以テ業務ノ關係之レヲ聯隊本部ニ置クハ不可ナリ依テ軍醫醫看護長蹄鐵工長計手ヲ各
大隊ニ分屬シテ大隊長ノ指揮下ニ入ラシメタリ而シテ韓國進軍間之ヲ經驗シ其結果頗ル良好ナリ
シヲ以テ戰役中途ニ之ヲ改メス(聯隊段列ハ獨立シ得ル如ク編成シアリ)
此日晴朗頗ル溫暖ヲ覺ユ午後水浴ヲ行フ此附近ノ小流水清キヲ以テ下士卒モ亦水浴洗濯ヲナセリ
是レ乗船後初メノ水浴ニシテ爾後清國ノ領土ニ入ル迄時トシテ温湯ヲ用ヒタルコトアルモ此等ハ
極メテ稀レニシテ多クハ此水浴ヲ用ヘタリ下士卒ノ如キハ非常ノ勞働後宿營ニ就ク場合ト雖トモ
其業務ヲ終レハ直ニ水邊ニ走ルヲ一ノ樂トナス是レ日本人潔癖ノ然ラシムル所ニシテ敢テ衛生ヲ
重ンスルノ觀念然ラシムルニアラサルモ此潔癖ハ自然ニ軍隊衛生ニ影響ヲ及ホシ爲メニ多大ノ利
益ヲ與ヘタルモノアリト信ス
二十日ハ第二大隊及聯隊段列ノ江西ニ到着スル豫定日ナルヲ以テ第一大隊ヲ前進セシム然レトモ
其行程ヲ著シク減少セリ爾後聯隊ノ行進ハ概テ一日十里若シクハ二里ニ過キス

第二大隊及聯隊段列ノ江西南方ノ難路ニ到着スルキ前日修理ヲ加ヘタルモ大ナル効ナク其困難ノ
 狀ハ第一大隊ト同様ニシテ歩兵一大隊半ト工兵一小隊ノ援助ヲ以テ尙ホ一日ヲ費ヤシ夕刻豫定宿
 營地タル江西ノ前部落ニ入りタルハ先頭ノ第六中隊ノミニシテ第四中隊ハ午後十時ニ至ル間逐
 次ニ到着シ第五中隊ハ辛クシテ江西ニ入り聯隊段列ハ終ニ現位置ニ露營シ聯隊本部ハ依然江西ニ
 アリ江西ニハ兵站支部アリ此日朝雨降リ土人ノ勞役ニ應スルモノナキ爲メ其業務ニ支障ヲ來シ大
 ニ窮シタルヲ見ル元來土人ハ雨具ヲ有セス乃チ雨具トシテハ△ノ如キ油紙ニテ張リタル小ナル頭
 蓋アルノミ故ニ降雨ニ際シテハ閉居睡眠ニ耽リ飢餓モ之ヲ意トセサルカ如キ風習アリ是レ因襲ノ
 久シキ途ニ民俗トナリタルモノニシテ其原因ハ勞苦殖財ヲ勵ムモ或ハ官ノ沒收スル所トナリ或ハ
 公吏ノ好餌トナルニ過キササルヲ以テ自暴自棄ノ結果貧ニ甘シ勞働ヲ厭ヒ遊怠ヲ喜ヒ之ヲ以テ無
 上ノ快樂トナスニ至リタルモノトス

土人懶怠ノ
原因

三十一日聯隊本部ハ聯隊段列ノ爲メ周到ナル處置ヲ施シタル後第二大隊ヲ率テ前進ス此日先頭タ
 ル第一大隊ハ錢山附近ニ聯隊本部ハ文洞店ニ第二大隊ハ陽地里附近ニ聯隊段列ハ文洞店南方約一
 里ノ三浦附近ニ宿營シ聯隊ハ三里半ノ間ニ散在スルニ至レリ
 情報ニ依レハ近衛騎兵及歩兵ノ一部ハ定州附近ニアリシ敵ヲ攻撃シ之ヲ擊退シテ同地ヲ占領セリ

四月一日聯隊ノ行進ハ前日ト異ナルナシ

情報ニ依レハ敵ハ宣川ニ退却シ今村支隊(第十二師團ノ)ハ博川附近(安州ノ西北約三里)ニ位置シ
 雲山嶺城方向ヲ警戒シ淺田支隊ハ本日ヨリ車盤館(宣川ヨリ約五里前方)ニ向ヒ前進スル豫定ナ
 リ

二日滞在人馬ヲ休養シ連絡ノ爲メ將校斥候ヲ師團集合地タル立石場ニ派遣ス

韓國多ク野菜ヲ培養セサルヲ以テ隨テ其給與ヲ望ムコトヲ得ス故ニ兵卒偶々路傍ニ野蔬ヲ認ムル
 トキハ之ヲ採集シテ怠ラス然カモ其集ムル所ノ一握ニ上ラス其爲ス所ヲ見レハ宿營ニ就クノ後之
 ヲ以テ汁ヲ作り珍味佳肴トシテ之ヲ賞用ス然リ吾人モ亦野菜ヲ渴望シ馬卒ニ命シテ採集セシメ鍋
 ヲ共ニシテ其珍味ヲ賞シタルコトナキニアラス

砲兵ノ分進
道路偵察

三日聯隊ハ第二梯團ヲ離レ永柔ニ向フ永柔ヲ經ル道路ハ肅川ノ南方ニ於テ京義街道ニ出ツ而シテ
 此日ヨリ砲兵ハ全ク師團ト分離シ爾後京義街道ヲ前進スル豫定ニシテ師團ハ海岸ニ沿フ別路ヲ取
 リ立石場(安州ノ西南約五里)ニ集合スル筈ナリ
 四日永柔ニ入り其附近ニ宿營シ工兵一小隊ヲ殘シ他ハ明朝出發所屬隊ニ復歸ヲ命ス而シテ此日午
 後ヨリ聯隊ハ遞騎哨ニ依テ師團司令部ト連絡シ又一將校斥候ヲ派遣シ肅川安州ヲ經テ定州附近ニ

至ル間ノ道路ヲ偵察シ且近衛師團前進ノ狀況ヲ觀察セシム而シテ當分現在地ニ滞在スル豫定ナリ
五日前方道路ノ修理ニ從事シ藝キニ立石塙師團司令部ニ派遣シタル將校斥候歸還ス其齎ス所ノ情
報ノ要旨左ノ如シ

義州及諸方面ノ敵騎ハ漸次鴨綠江ニ向ヒ退キツ、アリ淺田支隊ハ鐵山半島揚陸掩護ノ目的ヲ以
テ四月三日車營館ニ到着ノ豫定

三月二十八日定州ノ戰鬪ニ關シ黑鳩公ハ左ノ報告ヲナシタリト云フ

二十八日ノ戰鬪ニ於テ將校五ハ重傷ヲ負ヒ哥薩克騎兵三ハ戰死シ十二ハ負傷セリ「ミシチエン
コ」少將モ此戰ニ臨メリ

即チ知ル「ミシチエンコ」ノ挺進騎兵ハ一輕戰ニ敗レ得ル所ナク退却ニ就ケルヲ哥薩克騎兵ノ無能
ナル依テ以テ之ヲ推知スルニ足ラン

通報ニ依レハ平壤及肅川ニハ赤痢患者アリ又肅川ニハ麻疹アリ嘉山ノ補助輸卒隊現ニ赤痢患者七
名アルヲ知リ殊ニ戒メテ衛生ニ注意セシム

六日命アリ今日ニ至ル間生シタル馬匹ノ缺損ハ各隊ニ於テ適宜牛馬ヲ購買シ之ヲ補充スヘシト韓
牛ハ骨格殊ニ逞シク駄獸トシテ最モ適當ナルモ之ヲ使用スルニハ大ニ注意ヲ要ス何トナレハ若シ

韓ノ牛馬

其未タ馴レタルニ當リ之ヲ牽引スルカ如キコトアラハ激怒人命ヲ奪フノ恐レアレハナリ故ニ之ヲ
購買使用セントセハ先ツ之ヲ使用スルノ韓人ヲ備ヒ徐ニ兵卒ニ馴レシメ然ル後之ヲ兵卒ニ委テサ
ルヘカラス韓人ハ主トシテ之ヲ用ヒ大ナル車輛ヲ輓カシメ又北韓ヨリ食牛トシテ浦潮港ニ輸出ス
ルノ數ハ一年萬ヲ算スト云フ又馬ニハ二種アリ純粹ノ韓馬及驢馬是ナリ韓馬ハ肢軀短少ナレトモ
其骨格ハ強固ニシテ韓人之ヲ騎乘ニ用ヒ又驢馬ト共ニ農作ノ補助ニ供ス驢馬ハ滿洲ノモノト同シ
ク驢馬ハ殆ント之ヲ見ス

鴨綠江右
岸ニ退ク

情報ニ依レハ三日夜我將校斥候ハ義州ニ進入シ鴨綠江左岸ニハ最早敵兵ナキカ如シ又間諜ハ安東
縣ニ騎兵三千大砲二十門アルヲ報ス淺田支隊ハ昨五日車營館ニ到着ス我第一軍ハ定州ノ輕戰ヲ以
テ容易ニ敵ヲ鴨綠江右岸ニ驅逐セリ故ニ定州ノ戰鬪ハ小ナルモ其効果ハ頗ル大ナリト謂ハサルヲ
得ス

哥薩克騎兵
ノ位置

露國騎兵ノ徒步戰ハ露土戰役以來盛ニ獎勵セラレ哥薩克騎兵ノ如キハ好シテ之ヲ行フモ彼ノ露土
戰役ニ在テハ露ノ騎兵ハ極メテ多キニ係ラス地形大集團ヲ使用シテ活動ヲ試ムルニ適セサルヲ以
テ止ムヲ得ス徒步戰鬪ヲ行ヒ之ヲシテ歩兵ノ代用タラシメタルニ過キス然ルニ今日ニ至リテハ主
客其所ヲ異ニシ騎兵ハ恰モ不完全ナル歩兵タランコトニ汲々タルヲ以テ騎兵ノ精神ハ次第ニ萎靡

シ憚悍勇猛ノ哥薩克モ又其長所ヲ没却スルニ至レリ彼ノ定州ノ戰闘ヲ見ヨ非常ニ懸隔セル兵力ノ優勢ヲ有セルニ關ヒス機動以テ騎兵ノ騎兵タル所以ヲ發揚スル能ハス我レ徒歩戰ヲ以テ之ニ當レハ彼モ亦徒歩戰ヲ以テ攻撃シ突進ヲ試ムルコト數回遂ニ功ヲ奏セサルノミナラス其戰闘極メテ拙劣ナルヲ以テ徒ニ損害ヲ招キ遂巡スル間ニ我ハ歩兵ノ應援ヲ得戰勢頓ニ變シ風ヲ望ンテ北方ニ敗走スルニ至レリ而シテ其攻撃前進ヲナスヤ敵ノ將校ハ散兵線前ニ出テ以テ散兵ノ前進ヲ誘導ス此好目標我兵何ソ之ヲ逸セシヤ是ヲ以テ將校忽チ斃ル敵ノ散兵ハ從テ舊位置ニ退ク第二ノ前進ハ又同様ニ實行セラル斯ノ如ク反復スルトキハ敵ハ終ニ我銃口前ニ全滅スルニ至ルハ必然ニシテ突ン能ク成效ヲ求ムルヲ得ンヤ然カモ尙我ヲ輕侮ス是レ己レヲ知ラス又敵ヲ知ラサルモノ其敗ル、ヤ故アル哉

古ノ哥薩克

胡薩克ハ素ト憚悍ノ民ナリ露國ノ西北利亞ヲ侵略スルヤ之ヲ邊境ニ移殖シ以テ國防ニ備ヒ且ツ之ヲ利用シテ侵略ノ用ニ供ス騎馬ヲ好ムヲ以テ最モ騎兵ニ適シ彼ノ奈翁ノ露國ニ侵入シタル際ノ如キハ能ク其能力ヲ發揚シ退軍ニ當リ佛軍ハ之カ爲メ猛烈ナル追撃ヲ受ケ實ニ其驍名ニ背カサルノ働キヲ爲シタリ然レトモ大平ノ久シキ漸次衰退ニ陥リ「ドラゴミロフ」將軍ノ如キアリテ其實戰的訓練ニ意ヲ注クト雖トモ遂ニ如何トモスル能ハス今ヤ戰場ニアリテハ亦恐ルヘキノ敵ニアラス而

前進命令

シテ獨リ其掠奪ノ熱心巧妙ナルニ至リテハ依然古來ノ得色ヲ存スルヲ見ル
七日午前一時昨夜十一時發ノ電報ヲ受領ス曰ク明七日三里附近ニ轉宿スヘシ前進命令ハ後ヨリ送ルト是レ豫定ノ變更シテ前進スルニ至レルモノニシテ一ニ敵狀ノ我ニ有利ナルニ至リシ結果ナルヘシ即チ轉宿ニ關スル命令ヲ出シ正午三里ニ到着ス此地ハ即チ義州街道トノ交叉點ナリ此日肅川及其以南ニアル近衛砲兵及輜重ノ一部ハ北方ニ向テ前進セリ
午前九時師團命令ヲ受領ス其要旨ニ依レハ義州方面ノ敵ハ四月二日以來鴨綠江ノ右岸ニ退却シ軍ハ義州ニ向ヒ前進ス而シテ師團ハ二梯隊トナリ十日前進ニ就キ聯隊ハ明日ヨリ運動ヲ起シ十日安州ニ宿營シ爾後第一梯隊ニ入ルヲ要ス而シテ軍一般ノ計畫ハ概テ左ノ如クナリトス
淺田支隊ハ義州ニ前進シテ鴨綠江左岸ヲ警戒シ軍ノ運動ヲ掩護シ他ノ一支隊ハ昌城ニ向テ前進シ軍ノ右側ヲ警戒シ且ツ遠ク寬甸縣碧流楚山方向ヲ搜索ス而シテ第十二及近衛師團ハ各二梯隊トナリ義州ニ向テ前進シ第二師團之ニ續行ス

衛生委員ナ
取ク

第二師團ノ梯隊ハ第一梯隊ニ戰闘部隊ノ主力ヲ置キ輜重ハ二分シテ之ニ分屬セリ赤痢病日ヲ逐フテ其數ヲ増シ腸窒扶斯各地方ノ民間ニ散在スルヲ以テ傳染病豫防法ノ規定ヲ設ケラレ砲兵ハ各大隊ト聯隊段列ニ衛生委員ヲ設ク疾病ハ戰時ニ於ケル軍隊ノ大敵ナリ之ヲ防遏スルニアラサルハ戰

團力ヲ維持シテ戰ニ從事シ其能力ヲ發揚セシムルヲ得ス從テ古來ノ戰史其恐ルヘキコト戰團ニ依テ生スル損害ノ比ニアラサルヲ證明スルヲ見ル

今ヤ聯隊ハ京義街道ニ進マントス故ニ此段落ヲ利用シテ若干餘談ヲ掲ケン

餘談

穴居ノ變化

白衣ハ實用ニ適セス

一、韓民ノ家屋ニ就テハ屢々之ヲ述ヘタル如ク一見穴居ヨリ變化シタルニアラサルヤノ感ヲ生ス其構造ハ最モ單簡ニシテ土ヲ以テ固メ之ニ入口ヲ附ス此入口ハ之ヲ形容セハ低ク設ケラレタル小窓ニ過キス故ニ出入身ヲ屈メサルヘカラス床下ニ火焰ヲ通シテ暖ヲ採ルノ方法ハ清國ト同シ此方法ハ韓國ノ如キ燃料ニ乏シキ(求メ得ラレサルニアラサルモ高價)所ニ在リテハ最モ必要ニシテ炊爨ニ當リ併セテ採暖スルコトヲ得ルヲ以テ頗ル便ナルモ季節ニ依テ加減スルノ方法ヲ設クルニアラサレハ吾人ハ之ニ堪フル能ハス然レトモ夏季ト雖トモ時々之ヲ温ムルハ衛生上最モ必要ナリ若シ之ヲ怠ルトキハ周圍土製ナルヲ以テ濕潤ノ爲メ疾病ヲ發生スルニ至レハナリ即チ其乾燥ハ缺クヘカラサルコト、ス滿洲ニ入り初メ之ヲ知ラスシテ痲瘋知斯等ニ罹レルモノ少シトセス注意セサルヘカラス

二、白衣ハ若シ清潔ヲ保ツ爲メナレハ最モ適當ナルモ韓人ハ支那人ト同シク不潔ヲ知ラス從テ

清潔ヲ知ラス故ニ洗濯シタル初メハ頗ル清潔ナルモ長ク之ヲ着用スルヲ以テ反テ不潔ヲ明亮ナラシム故ニ韓人ニハ黒色ヲ最モ適當トスヘシ彼ノ支那人ノ黒色若クハ藍色ヲ用ユルハ大ニ實用ニ適スト云フヘシ而シテ洗濯ハ婦人ノ業ニシテ曹達ヲ用フ從テ純白トナル

三、官衙ノ建築ハ支那風ナリ是レ民家ノ矮少ナルニ反シ不相應ニ宏大ナル所以ナルヘシ

四、韓人ノ體格ハ多クハ魁偉ニシテ一般ニ日本人ニ比シ優ルモノアルヲ見ル又支那人ニ比スレハ風采アリ

優長ト奇策

五、韓人ノ帽ハ裝飾ヲ主トシ實用ニ適セス寧ロ支那人ノ慣用スルモノハ實用ニ近シトス

六、韓人ハ長大ナル煙管ヲ携ヘ不絶之ヲ口ニス而シテ其優長ナルハ予ノ嘗テ經驗セサル所ニシテ設營ノ際ノ如キハ要領ヲ得ルコト能ハスシテ徒ラニ時間ヲ費サ、ルヲ得ス予一策ヲ案シ宿營地ニ到レハ先ツ壯年ノモノヲ撰ヒ第一ニ銀貨ヲ示シ且ツ問フ村長何所ニアリヤ我カ爲メ速カニ呼ヒ來レ聞ク韓人ハ走ルコト巧ミナリト予モ之ヲ信ス予ハ之ヲ以テ其勞ニ酬ント彼狂奔シテ走り忽チ村長ヲ伴ヒ來ル是ニ於テ予ハ我兵多シ可成多クノ家屋ヲ供セヨ婦女子若シ各家ニアルトキハ却テ災ノ基トナル論シテ之ヲ一家ニ集メ村長ノ權威ヲ以テ自由ニ宿泊セシムルコトヲ得セシムヘシ若シ勞ヲ辭スルコトナクンハ予ハ之ヲ將軍ニ告ケテ後日ノ爲メニスル所

土質

アランド村長唯々トシテ大ニ其權威ヲ振り回ハシ事忽チ成ル

七、韓國ニ於テハ畑地ハ砲車ヲ通スルニ適ス滿洲又然リ故ニ道路ノ惡シキ部分ハ之ヲ避ケ工事ヲ爲サ、ルモ行進シ得ルコト少カラス而シテ土質多ク粘土ニ細砂ヲ混スルヲ以テ一タヒ部隊之レヲ通過セハ可ナリノ良道トナル

美術品ナシ

八、韓國美術品ニ乏シ例令神社佛閣ノ如キ其建築ハ支那風ヲ模倣シアルモ其裝飾物ハ殆ント彫刻ノ類ヲ見ス多クハ拙劣ナル畫ヲ以テ之ニ代ヒ家屋ノ彫刻ヲナスヘキ部分モ亦拙劣スルノミ九、韓ニ白ナシ路傍若シクハ溝ニ横ヘアル石ヲ代用ス故ニ食物ヲ調フルトキハ之ヲ洗フモ平常ハ往來之ヲ踏ンテ意トセス是レ不潔ヲ知ラサル結果ナリ彼ノ店頭ニアル粟餅朝鮮餠ノ如キハ皆ナ此石ヲ用ヒテ作ルモノトス

白ノ代用品
ハ踏石

十、官人ノ頌德碑ハ本邦ノ小ナル墓碑ニ類シ之ニ蓋ヲ附ス頗ル鄭重ナリ而シテ此等ノ碑ハ到ル所ニ之ヲ見ル果シテ其實アリヤ否ヤハ之ヲ詳ニセス

十一、路標ハ木ヲ削リ之ヲ立テ其頭部ニ兒戲ニ類スル形ヲ刻ム頗ル奇ナリ乃チ下ノ如シ



人ノ顔

十二、三尺屏風アリ之ニ畫ク所ノモノハ畫ノ骸骨ノ如キモノニシテ以テ其風趣ヲ賞スト云フニ至リテハ驚クノ外ナシ

有數ノ畫家

十三、予ノ舍主畫ヲ能クスト稱スルモノアリ連リニ其長ヲ語ル予試ミニ揮毫ヲ乞フ舍主喜ンテ應シ奇筆珍墨ヲ陳列シ花押ノ類ヲ出ス予以爲ラク嘗テ畫ヲ學ヒタルモノナラント何ソ計ランヤ其筆ヲ動カスニ至リテハ我カ小學童兒ノ畫ニ及ハサルコト數等ナラントハ

官威カ暴威カ

十四、玉石混同其等差ヲ知ルハ困難ナルモ寒村ノ土人ニシテ時計洋鏡ヲ備フルモノヲ見タリ又兄弟三人一家ニ住シ各其懷中ニ日本ノ二十錢銀貨數百金ヲ帶フルヲ見タリ而シテ其居住一見赤貧ノ如シ聯隊長郡司ヲ訪フテ到ル恐惶遁レテ出テス其官ヲ尊フニ因ルカ將タ又其暴威ニ恐ル、カハ予之ヲ詳カニスルヲ得サリシ

十五、予京義街道ヲ出テ親シク其狀況ヲ視察スルニ韓國唯一ノ國道ハ荒廢甚タシキヲ認ム偶々近衛師團ノ將校ニ遭フテ砲兵前進ノ景況ヲ聞ク即チ該砲兵ハ平壤ヨリ肅川ニ至ル間ニ於テ非常ノ困難ヲ極メタルモノ、如ク殊ニ肅川南方ハ歩兵一聯隊工兵一中隊ノ援助ヲ得全力ヲ擧ケテ改修ニ從事シタリト云フ思フニ平壤肅川間ニ於テハ恰モ我聯隊ノ永柔附近ニ至レルト同様非常ノ困難ニ遭遇シタルモノ、如ク京義街道ト雖モ目下ノ如キ融解期ニ在テハ下層軟弱トナ

リ水ヲ湛ルニ至ルヲ以テ獨乘馬ニテ之ヲ試ミレハ恰モ布團ヲ踏ムカ如キ感アリ故ニ車輛ノ通過ニ際シテハ忽チ破壊シ泥濘馬體ヲ沒スルニ至ルコト少シトセス隨テ之ヲ修理スルニハ尋常ノ方法ニ依ル能ハス有ユル物料ヲ投シテ之ヲ埋立テサルヘカラス前途尙ホ遠シ今後ノ前進果シテ如何

人馬ノ缺損及其勞働

十六、行進ノ景况ハ既ニ記述セル所ナルモ尙ホ之ヲ詳述シテ困難ナル所以ノモノヲ明カニセサルヘカラス即チ人員ハ既ニ乘船ノ際若干ノ缺損ヲ來シ鎮南浦ニ上陸スルヤ再ヒ入院セシメサルヘカラス患者ヲ生シタリ馬匹ハ幸ニ之ヲ補充シタルモ尙ホ輕患馬ノアルアリテ上陸後勞動ノ關係ハ之レヲシテ益々重症ニ陥ラシムルノミナラス健康ノ馬匹ニシテ傷疾ニ罹ルモノ少ナカラサルヲ以テ豫備馬ノ如キハ悉ク之ヲ使用スルニ至リ交換休業セシムル能ハス依然其勞務ニ服セサルヘカラスアルヲ以テ人馬共ニ行進ヲ續クルニ從ヒ勞働漸次倍加シ其悲惨ノ狀況名狀スヘカラスアルモノアルニ至レリ此ノ如キ狀況ナルヲ以テ給養ノ如キハ從テ良好ナルヲ得ヌ時ニ窮シテ砂礫ニ等シキ朝鮮玄米ヲ與ヘタルコトアリ
奈翁曰ク兵士第一ノ資格ハ勞働及缺乏ヲ耐忍スルモノ即チ是ナリ若シ夫レ武勇ノ如キハ第二ニ屬ス故ニ艱苦缺乏ハ良兵トナルノ實地學問ナリト

實地學問

自信勇進

野外要務令ノ綱領ニ曰ク艱苦缺乏ニ耐ヘ克ツハ軍人必須ノ性質ナリ宜シク演習ノ日ニ於テ之ヲ教誨養成スヘシ一タヒ經驗ニ上ルノ後ハ大ニ自信心ヲ強クシ又進取力ヲ増スモノナリト然リ行軍ノ至難ハ第一着ニ良兵トナルノ實地學問ヲナサシメ其結果若シ熱心憤勵一意遂行ニ努ムルトキハ人力ヲ以テ爲シ得サルコトナキヲ確信セシムルニ至リ我軍隊ハ不知不識ノ間ニ強固動カスヘカラスアルノ自信力ヲ得タリ是ニ於テ土地ノ嶮惡狀況ノ困難ニ遭遇スルモ毫モ意トセス之ヲ壓排シテ進ムハ其職任ヲ全フスル所以ナリト固信スルニ至リ其結果ハ若々爾後ノ行動ニ現ハルルヲ見ル

大行李ノ激務

十七、大行李ハ如何ナル狀況ニ於テ其任務ニ服シタルヤハ特ニ注意ヲ要ス是レ世人ノ等閑ニ附スルモノナレハナリ
行進間ニ於ケル糧秣ハ兵站部ヨリ受領スヘク其設備ハ前以テ之ヲ爲シアリシト雖モ行進意ノ如クナラス爲メニ兵站倉庫附近ニ宿營スルカ如キ好便ハ全然望ムヘカラスアルニ至レリ故ニ大行李ハ宿營地ニ到着スルヤ其糧秣ヲ卸下シテ炊爨ニ從事シ一部ハ更ニ附近ノ兵站部ニ赴カサルヘカラス其距離近キハ一里遠キハ三里ニ及ヒ然カモ其往復ヲ廢スルヲ得ヌ又大行李ヲ宿營地ニ先發セシメタル際ノ如キハ炊爨終ルヤ所屬隊ヲ求メテ之ヲ後送セサルヘカラス彼ノ第一

大行李ニ寧日ナシ

大隊ノ江西平地ニ入ル前夜ノ如キハ其距離約三里ナリシヲ以テ其往復既ニ一日行程ニ上ルモ此レ僅カニ夜間一部ノ仕事ニ過キス此ノ如ク大行李ノ勞働激甚ナルニ係ラス各隊ハ夜半ヲ過クルモ食物ヲ得ル能ハスシテ勞働ヲ連續シ拂曉ニ及ヒタルコトアリ

大行李ニ寧日ナシトハ予ノ輸卒ヲ訓戒シタル一語ナリ然リ滞在日ノ來ルヤ一般手入等ニ從事シ假令其勞働ヲ休止スル能ハサルモ尙ホ一地ニ止マルノ恩惠ニ浴ス然レトモ給養ニ休日ナキヲ以テ大行李糧秣受領ノ爲メ其運動ヲ休止スル能ハス而シテ此業務ニ服スルモノハ教育不完全ノ輸卒ナリ優秀ノ幹部ハ撰拔ニ撰拔ヲ加ヘテ配屬セラル、ヲ以テ(少クモ予ハ之カ爲多大ノ注意ヲ加ヘタリ)其率先躬行能ク之ヲ指揮スルモノアルニアラスンハアラサルモ亦實地ノ學問ハ教育ノ不完全ヲ補ヒ良化スルニ基カスンハアラス

十八、衛戍地出發ノ際規定ニ依リ酒保ヲ伴ヒ廣島ニ於テ飲食品若干ヲ調ヒ之レヲ大八車一輛ニ積ミ乗船ス然ルニ道路ノ景況車輛ノ行進ヲ許サ、ルヲ以テ之ヲ負ヒ運搬スルノ外ナク重量ノ飲食品ハ之ヲ放棄セサルヘカラサルニ至レリ是レ即チ第一大隊終夜行軍ノ際ニシテ予ハ之ヲ僥倖トシ「パン」火酒ノ類ヲ分配セシム素ヨリ僅少ニ過キタルモ不時ノ好物衆皆蘇生ノ思ヲナス

酒保ノ好物

四、義州ニ向フ前進(四月下旬ニ至ル)

四月八日聯隊ハ雨ヲ冒シテ前進ニ就ク午後暴風雨ニ變ス九日近衛輜重ノ後尾ヲ認ムルニ至ル補助輸卒隊ノ移轉等ニ會シ途上混雜ス大軍一道ニ進ムモノナルヲ以テ止ムコトヲ得ス行進モ亦道路惡シキ爲メ稍々困難ナリ

安州到着

十日午前先頭ヲ以テ安州平安門外ニ達ス安州ハ此日聯隊ノ豫定宿營地ナリシモ清川江ノ軍橋ハ増水ノ爲水面下ニ没シ大寧江ノ軍橋亦破損シ近衛師團ノ發進豫定ノ如クナル能ハス其ノ步兵及諸縱列ハ尙ホ安州城内ニ在リ故ニ先ツ南門外ニ開進セシメ軍參謀長ニ協議シタル結果砲廠ヲ現位置ニ設ケ人馬ハ昨夜ノ宿營地ニ歸還セシム是レ其距離僅カニ二里ニ過キサレハナリ而シテ聯隊本部ハ平安門東南部落ノ一家ニ入ル此ノ日步兵一大隊及工兵一中隊(一小隊缺)ヲ屬セラル是レ爾後ノ前進再ヒ困難ナルモノアレハナリ

清川江第一軍橋ノ兩端ハ尙水面下ニ在リ其深サ馬腹ニ及フ故ニ明朝ニ至ラサレハ減水ノ景況ヲ詳カニスルヲ得ス支流ノ第二軍橋モ通過困難ナリ隨テ師團ノ發進ハ一ニ今後減水ノ狀況ニ依テ決定セサルヘカラサルニ至レリ

淺田支隊ハ義州弘北洞ニ到着シ昨夜半ニ發シタル報告ニ依レハ八日ノ夜我カ騎兵ノ將校斥候ハ本

鴨綠江右岸ノ敵狀

道附近ニ於テ鴨綠江左岸ノ支流ヲ渡リ踏定島ニ入り中江邊附近ヨリ蘭子島ニ至ル間ヲ搜索中支流
渡河點ニ小舟ヲ監視セシメアリタル上等兵以下七名ハ六十名以上ノ敵ニ襲ハレ支流ニ飛入り一名
歸還シタルノミニシテ他ハ生死不明トナリ斥候長及之ニ屬セル兵卒ハ何事モナク同所ヨリ歸還セ
リ又敵ハ水口鎮附近ニ至ル間ニ監視兵ヲ配置シ九連城ノ山地ニ頻リニ工事ヲナシツ、アリ

十一日ニ至ルモ軍橋ハ午後ニ至ラサレハ砲兵ノ通過ヲ許スヤ否ヤヲ知ル能ハサルノミナラス尙ホ
渡過部隊ハ軍橋附近ニ雲集シ其一部ハ遂ニ延期スルニ至リタルヲ以テ前進ハ中止トナリ正午ヨリ
安州城内ニ轉宿シ砲廠ヲ玄武(北)門外ニ移シタリ

砲兵ノ砲兵斥候

鴨綠江ノ渡

十二日聯隊ヨリ一將校ヲ出シテ軍ノ砲兵斥候トシテ義州ニ向テ派遣セリ此斥候ハ軍司令部ノ精良
ナル展望鏡ヲ携行セリ
午前十時聯隊ハ先頭旅團ニ續テ渡過ヲ始ム先頭中隊ノ三砲車通過スルヤ冠材折斷スルニ至リタル
ヲ以テ一時中止シ其修理終ルヤ脱窺シ臂力ヲ以テ曳カシム午後一時定式ノ架柱折レ再ヒ中止シ午
後三時ニ至リ漸ク聯隊ノ通過終ル即チ一軍橋渡過ノ爲メ實ニ五時間ヲ要シタルナリ
此夜聯隊ハ大寧江左岸ノ舊津ニ宿營ス然レトモ不時ノ増水ヲ顧慮シ砲廠及馬繫場ハ軍橋ヲ渡リ右
岸ニ設置セシメタリ而シテ此日ノ行程僅カニ十吉羅米突ニ過キス

十三日雨後晴レタルモ道路ハ砲廠前ヨリ泥濘ニシテ先ツ之ヲ修理シ漸クニシテ出發セリ蓋シ此日
ハ京義街道行進間ニ於ケル紀念スヘキ日ナリ是レ再ヒ行進ノ苦難ニ際會シタレハナリ
聯隊ハ約二里行進ノ後午前十時五十分先頭ヲ以テ漸ク嘉山南方ノ小流ニ達シタルモ後方續カス聯
隊段列ノ如キハ午後五時辛フシテ此ニ達スルヲ得タリ今ヤ聯隊ハ前方ニ有名ナル嘉山ノ險坂ヲ控
ヒ豫定宿營地タル納清亭ヲ隔ツル尙ホ約三里ノ地ニ彷徨ス是ニ於テ暫時休止シ氣息ヲ回復セシメ
午前十一時十五分其通過ヲ始メ大行李ハ舊道ヲ取りテ前進セシム坂路ハ嘉山ノ西南ニ在リ登路ノ
長サ約千五百米突ニシテ傾斜急峻屈曲甚タシキヲ以テ之ヲ通過スルハ容易ナラス即チ歩兵及砲手
ヲ部署シテ坂路ヲ數區ニ分チ其擔當區ヲ定メ一區ヨリ他區ニ轉送スルノ方法ヲ採リタルモ砲手及
馬匹ハ既ニ已ニ體力ヲ盡シテ行進シ來ルヲ以テ疲勞甚タシク一ニ歩兵ノ援助ニ倚ラサルヲ得ス然
カモ能ク堪フヘカラサル勞働ヲ忍ビ率先シテ歩兵ヲ指導シ其模範トナレルヲ以テ半ハ不平ノ歩兵
ハ之レニ勵マサレテ憤勵能ク援助ノ任ヲ盡セリ從テ午後五時到着セル聯隊段列ノ如キモ午後七時
過キニハ其後尾頂點ヲ越ヘタリ然レトモ先頭部隊ハ午後三時納清亭ノ東方ニ接スル元山里ニ達シ
タルモ此後方十吉羅米突ノ坂路下ニハ尙ホ二中隊ト聯隊段列ノアルアリ此時ニ於ケル心痛苦慮ハ
之ヲ名狀スルコト難シ

降坂ハ頗ル長キモ幸ニシテ傾斜登坂ノ如ク急ナラサルト降下ハ登行ニ比スレハ容易ナルトニ依リ其困難ハ大ニ輕減シ聯隊本部ハ車輛ノ頂點ヲ通過シタル後宿營地ニ向テ發進ス時既ニ夜ニ入り暗黒ニ加フルニ各所ノ水流ハ午前ノ雨ノ爲メ漲溢シ果シテ道路ヲ行進シアルヤ小流ヲ渡リツツアルヤヲ判知スルヲ得ス單ニ道路ナラント推定シテ西ニ向フノミ午後十一時納清亭ニ到着ス然レトモ東端ノ橋梁破損ノ爲メ砲車ヲ移ス能ハサルヲ以テ砲廠ハ全部元山里ニ設ケタリ

聞ク所ニ依レハ近衛砲兵ハ脱駕シ全ク人力ニ依リテ此坂路ヲ引上ケタリト云フ隨テ其狀況ハ我ニ比シ一層困難ナリシヲ想見シ得ヘシ

十四日橋ヲ修理シ一砲車ヲ渡ス無事ニ通過セリ然ルニ第二砲車ニ至リ橋梁破損シ危險ナルヲ以テ水量ヲ檢ス幸ニ水深減少シテ車沙ヲ許スヲ以テ大部ハ徒涉セシム

良策館附近ノ道路ヲ偵察セシムル爲メ一將校斥候ヲ派遣ス

此日定州ニ向テ前進シ其東方ニ於テ稍々困難シタルモ無事ニ通過ス依テ砲廠ハ定州ヲ越ヘテ前方ニ設ケシメ爾後ノ前進ニ便シ定州城内ニ宿營ス

十五日宣川東南部落ニ達シ宿營シ十六日滞在休養セリ定州附近ヨリ西進スルニ從ヒ人口益々稀薄トナリ又不潔一層甚タシキヲ感ス宣川ニハ露ノ騎兵約三箇月間駐留セリト云フ

定州

宣川

情報ニ依レハ敵ハ安東縣九連城虎山ノ線ヲ占領シ其前哨ハ於赤島中江臺上瀾洞ニ亘ル線ニ在リ安東縣東北元寶山及九連城ノ高地ニハ敵ノ砲兵陣地アルモノ、如シ水口鎮ノ對岸安穉河附近ニハ約二中隊ノ敵ノ騎兵アリ

十七日宣川ヲ過ク其西北側ノ松姿佳ナル枝上鶴群ヲ認メ上陸以來ノ風光ニ眼ヲ慰メタリ眞ニ之レ一幅ノ畫ニシテ予ハ初メテ其實況ヲ知ルニ至レリ此附近ヨリ北スルニ從ヒ蜿蜒タル長塞ノ多キヲ認ム是レ古韓國ノ蒙古滿人ノ侵入ニ備ヘタル要塞ナリトス

此夜聯隊ハ車營館東北方ノ小部落小石谷ニ宿營ス

十八日聯隊ハ良策館ヨリ西方ニ道ヲ轉シテ龍川ニ通スル道路ヲ前進シ龍川北方約一里半ノ部落東西面ニ宿營ス道幅狹ク爲メニ修理ヲ要シタルモ大ナル困難ニ遭遇セス十九日都峯洞ニ轉宿セリ之ヨリ北方ニ直通スル道路ハ白馬山城ヲ經テ義州ニ到ルモノトス

情報ニ依レハ我師團ノ騎兵ハ三橋里(三橋河口ニ近シ)ニ在リテ正洲洞ヨリ龍岩浦ニ至ル間ヲ警戒シ其右翼ニハ近衛師團ノ一部アリテ鴨綠江左岸ノ警戒ニ任ス

二十日師團ハ兩旅團ヲシテ警戒ヲ擔任セシムルニ至リ近衛師團ノ一部ト交代シテ該師團ヲ左翼ニ迎リ一中隊ヲ龍岩浦ニ派遣セリ而シテ聯隊ハ別命アル迄現在地ニ停止スルコト、ナル

地形偵察ノ爲メ大隊長ヲ派遣シタルモ我前哨後退シアル爲メ目的ヲ果サスシテ歸ル而シテ聯隊ハ義州街道ニ出ツル道路ヲ偵察シ二條ヲ準備スル爲メ開設ト修理ニ餘念ナシ即チ一ハ東方ニ直進シテ批峴面場裡ニ出テ京義街道ニ合シ一ハ東北進シテ其北方ニ出ツルモノトス前進ニ際シ利用シタルモノハ即チ後者トス

大行李ハ本日ヨリ野戰倉庫ノ糧秣ヲ三橋河右岸ニ移轉ス

二十二日聯隊ハ展望哨ヲ龍門洞東方高地ニ出シ敵情ヲ監視セシム

二十三日師團ハ全力ヲ擧ケテ架橋材料ノ蒐集ト運搬トニ從事ス

我展望哨ハ活目シテ敵ノ動作ヲ監視シ此時以後其報告ニ依リ逐次圖上ニ敵ノ配備及防禦工事ヲ記入シ以テ戰團ノ用ニ供ス從テ敵ノ狀況及陣地ノ設備ハ日一日ト明亮トナリ細大漏ス所ナシ今其一例ヲ掲クルニ止メ逐次其報告ヲ詳記スルノ煩ヲ避ケントス故ニ此展望哨ノ効驗ノ大ナルコトヲ忘ル、コト勿レ

此日砲兵展望報告ノ概要左ノ如シ

九連城北方高地ニ敵ノ砲五門明瞭ニ存在スルヲ認ム向テ左ノ砲車ハ唯砲口ヲシキ一點ヲ認ム故ニ合計六門ナリ其大サヨリ察スレハ十乃至十二瓏砲ナラン(餘リ明瞭ナルヲ以テ誤リタルモ後

砲兵展望哨

ニ其誤リヲ悟レリ)此砲臺ハ露天ニシテ其首線ハ義州ト虎山トノ間ニ向フモノ、如ク我位置ヨリハ殆ント側面ニ見ユ左砲車ノ右ニハ終始歩哨ノ直立スルヲ見ル砲車附近ニハ彈藥車ヲシキモノヲ認メス午後五時五十分砲臺ノ南方凹地ヨリ駢馬ニテ幕營ノ前ヲ通過シ驪河ニ下リ水飼ス其數二百七八十頭トス幕營ハ砲臺ノ西方ニ在リ其前方ニ彈藥車ヲシキモノ十輛ヲ認ム昨夜午後十

一時ヨリ同四十分迄ヲ展望セシモ燎火ヲ認メス

聯隊ハ獨リ遠ク後方ニ在リ不便少ナカラサルト前進容易ナル間ニ於テ可成前方ニ進ムノ必要アルトニ依リ前進セシメラレンコトヲ請ヒ二十四日遂ニ龍門洞東方谷地ニ前進ス

二十五日夜師團ハ其前哨ヲ踏定島ニ前進セシムルコトヲナレルヲ以テ義州附近ニ前進スルノ得策ナルヲ上申シ認可ヲ得テ二十五日夕ヨリ弘北洞ニ移轉スルニ決ス

此日白馬山城ニ烽火ヲ揚クルヲ見ル恐ラクハ露探ノ所爲ナラン依テ一部隊ヲ派遣シ其探索ヲ努メタルモ目的ヲ達セス

二十五日聯隊ハ準備ヲ整ヒテ夜ノ到ルヲ待チ夕發進シテ弘北洞ニ移ル義州ニアル近衛騎兵ニ鼻疽發生シタルヲ以テ嚴ニ警戒ヲ加ヘシム

我前哨部隊ハ午後九時四十分ヨリ鐵舟ニ依リ支流ヲ渡リ午後十一時無事豫定ノ位置ニ就ク近衛砲

義州ニ前進

兵一大隊ハ西胡洞南方約千米突ノ高地ニ陣地ヲ占領シテ其渡河ヲ掩護セリ
鎮南浦上陸ノ日ヨリ指ヲ屈スレハ正ニ一箇月ヲ經過シ漸クニシテ敵前ニ到達スルヲ得タリ行路ノ
難ハ既ニ之ヲ排シテ今ヤ第一軍ハ鴨綠江ニ臨ム敵素ヨリ恐ル、ニ足ラサルモ廣大ナル水流ノ我カ
進路ヲ遮キルアリ軍ノ先ツ爲サ、ルヘカラサルハ此天嶮ヲ踏破スルノ方策ナリトス然レトモ吾人
ハ眼前敵影ヲ認ムルニ至リタルヲ以テ志氣隨テ興憤シ又進軍ノ苦難ヲ口ニスルモノナク一意命ニ
服シテ各其業ニ從ヒ活動ノ時期ノ到ルヲ待ツ
進軍終リヲ告ケタルヲ以テ韓國ニ於ケル餘談ヲ掲ケ然ル後狀況ヲ進メシ

餘談

- 一、安州ニ到着スルヤ先ツ清川江ノ偵察ヲナス時ニ軟風細沙ヲ卷テ一陣ノ烟ヲ起シ所々ニ異彩
ヲ放ツ初メ焚火セルモノトナセルモ到レハ即チ消失ス偶々沙烟地ヲ掃フテ過クルニ遭フ恰モ
濃霧ノ間ニアルカ如シ河床ノ沙ハ細微輕量遊動自在ニシテ微風尙ホ沙丘ヲ作ルコトアリト云
フ季節ノ關係上韓國ニテハ塵埃ニ因ミタルコトナク又塵埃浮游スルニ遭遇シタルコトナキヲ
以テ聊カ奇異ノ感ナキ能ハサリシ
- 二、納海亭ニ向テ前進スルノ朝補缺馬搜索ノ爲メ下士斥候ヲ派遣ス此斥候ハ夕士人ヲシテ驢馬

東京ニ在リ
年シ韓ノ一少

六頭ヲ牽カシメテ歸ル予即チ價ヲ問フ喃々要領ヲ得ス一少年進シテ曰ク各人價ヲ異ニシ決定
スルコトト雖シ公之ヲ定メヨト予ハ其語調ニ依リ日本ニ來レルコトアルヘキヲ推シ問ヘハ乃
チ我東京ニ來リタルコトアルモノニシテ其兄ハ陸軍將校ニシテ東京ニ遊學シ其際此少年モ亦
遊學ノ目的ヲ以テ一年間東京ニ在リタルモ事情アリテ今ハ家ニ在リト云フ而シテ談ハ餘事ニ
走り他ノ土人ハ耳ヲ傾ケテ餘念ナキモノ、如シ予即チ主計ニ命シ一頭二十圓ヲ定額トシ體格
ノ上下ニ應シ三圓ヲ増減シテ各所有主ニ分配セシム不平頓ミニ止ミ又言フモノナシ誠ニ御シ
易シト云フヘシ故ニ支那人トハ大ニ趣キヲ異ニスルモノアルヲ見ル予ハ少年ニ菓子ヲ與ヘ日
軍今ヤ韓國ノ爲メニ戰フ廣ク之ヲ傳ヘテ民衆ニ知悉セシムヘキヲ諭シテ訣ル

三、韓ニ豆腐アリ本邦及支那ノモノト同シ

四、韓國ハ到ル所ニ墓地アリ山又野殆ント之ヲ見サル所ナシ土ヲ盛リ其形椀ヲ覆フニ似タリ而
シテ縱横ニ羅列シ其間隔概シテ齊一而シテ韓人ノ式後棺ヲ埋ムルハ本邦ニ同シ

五、韓國ニハ井戸少ク多クハ河水ヲ用フ而シテ小流ハ土人ノ爲遺骸ナク利用セラレ同所ニ於テ
洗濯ヲナシ食器ヲ清メ又飲用水ヲ採ル水涵レ停留腐敗スル場所ト雖モ毫モ之ヲ厭ハス

六、韓國上陸後葱ヲ食シタルコト二回ニシテ恰モ藥ノ如シ梨花浦ニ揚陸シタル白菜ヲ贈ラレタ

土人ノ墓

洗濯水ハ飲
川水

松多シ

意外ニ驚テ
得タリ

烽火ヲ以テ
信號ス

形式

ル時ノ如キハ無上ノ慰藉ヲ得タルカ如キ心持セリ

七、義州附近ハ樹木能ク繁茂シ一山悉ク松樹ヲ以テ蔽ハル、カ如キモノ珍ラシカラズ彼ノ白馬山ノ如キ即チ此レナリ而シテ木材トシテハ此附近多クハ松ニシテ他ノ種類極メテ少シ

八、韓國ニ於テハ多ク獲テ得ル能ハサルモノト信シタルニ意外到ル所ニ之ヲ徵集スルコトヲ得馬匹ノ爲メニハ至大ノ幸福ナリシ春夏使用ノ爲メ蓄積シタルモノ未タ使用セラル、ニ至ラザリシ關係アルニ因ルナルヘシ

九、我歩兵ノ白馬山城ヲ搜索スルヤ直徑三四尺ノ圓形明松ヲ發見セリ是レ即チ露探ノ信號ニ供スル烽火用ニシテ土人ノ言フ所ニ依レハ大軍到着セハ之ニ依テ敵ニ信號スルノ約束ナリト然レトモ我部隊ノ動ク毎ニ之ヲ行フヲ以テ露軍ハ終ニハ判斷ニ苦シミタルナラン我軍ノ警戒嚴ナルヲ見ルヤ露探ハ所ヲ變シ所々ニ烽火擧クルノミナラス又夜間明松ヲ以テ左右上下シ稍々符合ラシキ信號ヲナスコトアリシモ終ニ之ヲ捕フルコト能ハザリシ

十、清韓共形式ハ盛ンニ行ハル韓ニ於テハ喪中編笠ヲ戴キテ他出シ人ニ面ヲ見セシメス其起因ハ悲嘆憔悴髻髮蓬々タルヲ人ニ見セシメサランカ爲ニセルモノナルモ民間ニ於テハ單ニ形式ニ止ムルニ過キヌ即チ喪中ノ土人日々聯隊本部ニ來リ兵隊ノ往來ヲ見物シタルコトアリ而シ

テ輿ニ乗スルニ當リテハ笠ヲ揚ケテ窺ヒ寧ロ喜フノ色アリ甚シキニ至リテハ此不吉ヲ以テ我兵ノ宿泊ヲ拒マントシ喪家不可入ト記シ之ヲ入口ニ掲ク予之ヲ疑ヒ臨檢ス果シテ死セルモノナシ乃チ村長ニ嚴命シテ悉ク其家人ヲ遂ハシメ兵ヲ宿セシム大禮ノ重キヲ利用シテ人ヲ欺カントスルカ如キハ即チ其大禮ノ何タルヲ解セサルノ證ナリ

十一、我近衛兵ノ義州附近ヲ占領スルヤ士卒戯レニ人形ヲ出シテ敵ヲ欺ク敵ハ好餌逸スヘカラストナシ盛シニ之ヲ射擊スルモ動カサルコト盤石ノ如シ敵兵漸ク其假作物ナルヲ知り忽チ之ニ倣フテ其陣地ニ人形ヲ立ツ我兵其愚ヲ笑テ以テ輿トナス我兵ノ敏キコト概テ斯ノ如シ

五、鴨綠江砲戰前ノ狀況

敵ノ狀況

今日迄知り得タル敵狀ノ概要左ノ如シ

一、九連城北方ニ六門ノ砲臺アリテ備砲ヲ有シ其主線ハ義州及虎山方向ニ向フ又摺鉢山附近ノ高地脚ニハ掩堡アリ

二、元寶山(安東縣西北方)ニハ敵ノ展望哨アリ旗竿ヲ立ツ恐クハ信號用ナラシ

三、元寶山東方高地ニ砲六門沙河鎮西方高地ニ砲四門ノ砲兵陣地アリテ備砲ヲ有ス

四、中江臺(鴨綠江本流對岸)ニハ敵ノ前哨アリテ河ノ線ヲ守備シ中江臺附近ニハ歩兵約一中隊

アリ

五、虎山ニハ敵ノ展望哨アリ又其東北方約二吉米ノ谷地ニ騎兵約百二十騎アリ

六、九里島ニハ敵ノ前哨部隊アリテ其兵力歩兵一二中隊ナリ

七、虎山東方鞍部ニ砲四門アルモノ、如シ山砲ナルヤ機關砲ナルヤ詳カナラス

敵ハ日々白晝工事ヲ施シ漸次九連城南方畑地及東方高地脚ニ掩堡ヲ増築シ摺鉢山ニ三門砲臺ヲ築ク而シテ九連城北方高地ノ陣地ニアル備砲六門ハ或ハ之ヲ露天ニ備ヘ或ハ之ヲ新築ノ砲臺ニ移シ砲數明瞭ナラサリシモ摺鉢山砲臺ニ砲ヲ配備スルニ至リ他ニ砲兵ノ現在スルヲ知ル又虎山ノ敵ノ砲兵ハ我架橋點ニ發射スルニ至リ三十密米機關砲ナルコト判然セリ

軍ハ廿五日ノ夜ヲ期シ九里島及黔定島ヲ占頭シテ渡河ノ準備ニ着手シ各隊ハ架橋材料ノ運搬ニ忙ハシク工兵及各隊ノ木工及船大工ハ材料ノ整頓及橋脚舟ノ造作ニ從事シ晝夜兼行ス而シテ軍橋ハ軍工兵部長ノ指揮ヲ以テ近衛師團ハ元化洞附近及九里島於赤島間ニ第二師團ハ西胡洞西方本道稍々下流ニ架設スル豫定ナリ

敵ノ傲慢ナリシ事ハ之ヲ特書セサルヲ得ス即チ其陣地ニ有テハ群集曝露シテ平然タルノミナラス白晝九連城ヨリ輜重車ヲ虎山ニ進メテ糧秣ヲ運搬シ或ハ午前若シクハ午後ニ於テ砲臺掩堡ニ兵ヲ

渡河ノ準備

敵ノ驕傲

配備シテ演習ヲ行ヒ或ハ鑿河ニ下リテ馬匹ノ水飼ヲナシ又時トシテハ音樂ヲ奏ス某日砲兵展望哨馬車ヲ驅テ九連城附近ヲ往來スルモノアルヲ報ス音樂ヲ聞キタルハ即其夜ニシテ後聞ク所ニ依レハ黑旭公遠ク來リテ九連城附近ヲ巡視セルモノナリト云フ音樂ノ起ル蓋シ會宴傲談ニ興ヲ添ヘタルナルヘシ而シテ敵將大ニ鴨綠江ノ天險ヲ恃ミ斯ノ如クナレハ以テ三箇月ヲ支フルニ足ルト揚言セリト奚ソソ其危急ノ目前ニ迫ルヲ知ンヤ

願ミレハ我軍隊ハ沈着黙行意氣已ニ天險ヲ歴シテ九連城眼中ニナシト雖トモ寂トシテ聲ナク肅々トシテ往來其業ニ勵ミ義州大兵ナキカ如シ是ニ於テカ敵ハ益々我ヲ輕侮ス

蘇老泉曰ク夫レ功ノ成ル成ルノ日ニ成ルニアラス蓋シ必ス因テ起ル所アリ禍ノ作ル作ルノ日ニ作ラス亦必ス由テ兆スル所アリト是レ孫子ノ勝兵ハ先ツ勝チテ而シテ後ニ戰ヲ求メ敗兵ハ先ツ戰テ而テ後ニ勝ヲ求ムト謂フ所以ニシテ露兵敗レテ我カ軍ノ勝利ヲ得タルハ戰鬪ノ日ニアラスシテ即チ正ニ此時ニアリトス孫子曰ク彼ヲ知リ己レヲ知ル百戰殆カラズ彼ヲ知ラス己レヲ知ラス每戰必ス敗ルト露兵ノ敗退故アル哉

敵狀ハ前述ノ如ク細大漏ス所ナク我悉ク之ヲ知ル韓非子曰ク事密ヲ以テ成リ語泄ヲ以テ敗ルト露兵ノ驕傲ハ自ら敗退ヲ招クノ原因トナリシモノ多シト信ス而シテ我軍ノ動作態度ハ孫子ノ所謂能

我軍戦ハス
シテ勝ツ

ニシテ不能ヲ示シ近クシテ遠キヲ示スモノ是レ戰ハスシテ勝ヲ得タル所以ナルヘシ
露軍ノ斯ノ如ク驕傲我ヲ侮リタル所以ノモノ一ニシテ足ラスト雖モ今其一端ヲ窺ハンカ爲メ我軍
隊ニ關スル彼等ノ觀察如何ヲ研究セン戰役前ニ於ケル我諸兵連合枝隊ノ動作ニ關シ露人ノ斷定ス
ル所ナリト云フヲ聞知ス今其二三ヲ掲クレハ左ノ如シ

- 一、行軍戰闘ノ別ナク側方ノ警戒ナキコト
 - 二、行軍ノ際ハ本隊ト前衛トハ著シク遠隔スルコト故ニ前衛ハ他隊トノ連絡ニ時間ヲ徒費ス
 - 三、非常ニ急速ニ豫備隊ヲ使用シ盡スコト隨テ敵ノ迂回又ハ包圍ニ對スル方術ナキニ至ル
 - 四、展開ノ餘地ナキ地點殊ニ山地ヲ避クル傾アルコト
 - 五、迂回動作ヲ取ラスシテ正面攻撃ノ傾キアルコト
 - 六、陣地ヲ固守シ防禦嚴ニシテ逆襲ノ企圖ナキコト
- 右ハ一例ニ過キサルモ以テ一般ヲ推スニ足ルヘク斯ノ如キ觀察ヲナセル所以ノモノハ素ヨリ任ニ
當ルモノ其當ヲ得サルニ因ラスンハアラサルモ露人ノ頭腦ニハ深く小弱國何スルモノソトノ觀念
傳染シアルニ基クモノ多シト信ス蓋シ軍隊ノ價值ハ卓越ナル能力ヲ有スルニアラサレハ之ヲ窺フ
ヲ得ス彼ノ徒ニ世才ニ長シ交際ニ巧ミナルモノ奚ソ能ク其真相ヲ窺フヲ得ンヤ是レ彼レ我ヲ知ラ

ス己レヲ知ル能ハサル所以ナリ
予ハ露ノ「ノヴエ、ウレミヤ」新聞ノ記スル所ヲ記臆ス其要旨左ノ如シ
我軍ノ將校ハ容貌ヲ作り酒宴女色ヲ事トシ其職務ニ對シテハ最モ不忠實ニシテ婦女ニ對スル甘
言ヲ學ヒ舞踏ヲ練リ他ヲ願ルモノナシ是レ連戰連敗ノ因テ來ル所ニシテ根本的改良ヲ加フルニ
アラサレハ軍ノ聲價ヲ回復スル能ハス
露紙ニシテ公然此言ヲナシテ憚ラス恐クハ實際ニ近カルヘシ即チ露軍ノ將校ハ徒ラニ過去盛大ノ
時代ヲ夢ミテ以テ誇リトナシ自個ノ責任ノ重大ナル所以ヲ察セス其本務ヲ捨テ、快樂ニ耽リ柔弱
怯懦ニ陥リ一ニ世ノ流潮ニ漂フ斯ク如キ將校何ソ軍務ヲ解センヤ斯ノ如キ將校ノ數フル兵卒何ソ
ソ精兵タルヲ得ンヤ之ヲ驅テ我軍隊ト競ハシメントス嗚呼危ヒ哉
予各國軍隊ノ狀況ヲ聞ク毎ニ治平久シキニ彌リ國民大平ヲ謠フノ危險ナルヲ感セスンハアラス今
二三ノ例ヲ舉クレハ左ノ如シ

某將校歐洲視察ノ目的ヲ以テ各地ヲ旅行ス其視ル所ニ依レハ國ヲ同フセス所ヲ異ニスルニ從ヒ多
少ノ差ナキニアラサルモ到ル所將校ノ酒歌遊興ニ耽ケルハ殆ント同一ニシテ獨乙ノ如キ軍隊ニ在
リテモ演習後歸營ニ際シ其將校土沙塵埃ニ染ミ疲勞甚タシキノ狀アルカ如キニ至リテハ其國境近

キ衛戍地ニ於テ偶々之ヲ視得ルニ過キスト云フ又甚タシキニ至リテハ酒亭公道ニ接スルノ席ニ於テ青年將校泥酔婦女ヲ擁シテ戲レ兵卒群集ニ交リ之ヲ見物ス將校怒號水ヲ撒シテ之ヲ逐ヒ以テ與トナスカ如キ狂態ヲ演スルヲ見タリト誰カ此ノ如キ上官ニ服従スルノ念ヲ生スルヲ得ン隨テ斯ノ如キ將校ノ教育スル軍隊ハ單ニ形式ヲ成スニ過キスシテ實用ニ適セス何ヲ以テカ能ク國家ノ干城タラシムルヲ得ンヤ而シテ此等ノ觀察ハ多少過酷ニ失スルノ嫌ナキニアラサルヘキモ事既ニ實際ナル以上ハ其一般ノ状態ヲ推知スル決シテ難シトセス

英軍ノ狀況

又英杜戰爭ニ當リ從軍セル將校ノ談ニ依レハ英軍將校ノ軍ニ從フヤ妻ヲ伴ヒタニ至レハ戰線ヨリ其幕營ニ歸來シ沐浴改装シテ食ヲ共ニシ「ピアノ」ヲ彈シテ舞蹈シ遠征思郷ノ情ヲ慰ム而シテ戰闘ニ從事スルヤ恰モ平時營所ニ出勤スルト同シク毫モ銳意勝敗ヲ爭フカ如キ狀ヲ認ムル能ハス後方勤務ノ困難ナルニ至リ元帥訓令シテ「ピアノ」ノ如キ重大ナルモノハ可成還送スルヲ力メタリト是レ少弱ノ杜軍ヲ征服スル能ハスシテ屢々破レタル所以ナリトス英國陸軍ノ建制素ヨリ我邦ト大ニ趣キヲ異ニスルモノアルハ言ヲ俟ダサルモ戰闘ノ方法戰時ノ勤務ニ至リテハ萬國毫モ異ナルモノアルヲ見ス隨テ吾人ハ異様ノ感ヲ抱クト雖トモ彼ニ在リテハ異トスルニ足ラサルナリ是レ變遷ノ最モ甚タシキモノナリト雖トモ遠征侵略ノ盛ンニ行ハレタル時代ニ在リテハ決シテ然ラサリシヲ

我軍果シテ如何

見ル

然ラハ則チ我軍隊ハ果シテ如何予ハ恐ラクハ外人ノ眼ニ影スル所ノモノ亦吾人ノ彼ヲ觀察スルカ如キモノナキヲ保セサルナリ予ハ戰役前他兵種ノ隊附ニ當リ極メテ寒心スヘキ事件ニ遭遇スルヲ以テ其然ル所以ヲ明カニセン乃チ野外演習ノ實施アリ行軍二泊ノ後將ニ東京ニ向テ歸營セントスルヤ予私カニ以爲ラク勞働激シク被服汗ニ染ミ泥土ニ汚サル歸着後第一ニ督促スヘキハ被服ノ交換ト其洗濯ナリト翌朝隊ハ整列セリ一見スルニ之ヲシテ直ニ觀兵式ニ臨マシムルモ非難スヘキモノナキノ狀況ニアリ予大ニ驚ク乃チ私ニ一將校ニ何ノ故ナルヤヲ問フ曰ク東京ニ歸還スルヲ以テ被服ヲ改メタルナリト予問フ行軍演習ニ際シ常ニ斯ノ如クナルカ曰ク概予然リト予大息シテ之ヲ久フス

此將校ハ任官後未タ幾何ナラス狀況ノ斯ノ如キヲ見敢テ怪シマサルモ予ハ之ヲ觀過スルヲ欲セス乃チ之ヲ側ニ招キ尙ホ其然ラサルヘカサル所以ヲ問フ是レ將校モ亦多クハ被服ヲ改メタレハナリ曰ク衛戍地ノ都人ニ對シ軍隊ノ威嚴ヲ失ハサランカ爲メナリト予是ニ至リテ驚愕措クコト能ハス青年將校ノ此ノ如キ思想ヲ抱クハ先輩トシテ默止スル能ハサルヲ以テ大ニ其不可ナル所以ヲ論セリ

予ハ素ヨリ田舎士官ヲ以テ自任ス故ニ予ノ言フ所ノモノ多クハ大都ニアル青年將校ニ喜ハレサルハ言ヲ待タサルモ予ノ考フル所ニ依レハ勞働ノ激甚ハ寧ロ軍隊ノ誇リトナシ治平ニ在テハ以テ國民ノ龜鑑トナスヘク演習連日ニ亘リ爲メニ被服ハ著シク泥土ニ染ミ外觀揚ラスト雖モ隊伍整齊歩武勇壯揚々トシテ大都ノ中央ヲ濶歩シテ可ナリト信ス勞働激甚ナルノ狀アルニ反シ軍隊若シ此ノ如クナルトキハ士人目ヲ括シテ注意シ反テ其嚴肅ニ感スルコト深ク信賴益々厚キニ至ルヘキモ心アルモノヲシテ美服作姿以テ得々タルカ如キ軍隊ヲ視セシメハ恐クハ眉ヲ寄セ心ヲ痛ムルナルヘク威嚴ヲ保タントスル所以ノモノ反テ威信ヲ損シ其眞價ヲ疑ハシムルニ至ルハ必然ナリ夫レ之ヲ思ハスシテ徒ニ外觀ヲ飾リ以テ人ヲ欺カントス誤解モ亦甚タシト謂フヘシ

虛飾ノ基ハ將校ニアリ

下士卒ノ惡習

將校其範例ヲ示ス故ニ下士卒從テ之ニ倣フ蓋シ華美ノ惡習ハ將校之ヲ誘發シ其結果勞働ヲ厭ヒ安逸ヲ喜ヒ動モスレハ不滿卒伍ノ間ニ生シ終ニ軍紀ヲ紊ルニ至ル豈ニ慎マサルヘケンヤ
 服裝ヲ整ヒ威儀ヲ保チ清潔ニシテ衛生ヲ守ルハ素ヨリ其所ナリト雖トモ實用ヲ脱却シテ徒ニ風采ヲ飾ルカ如キハ嚴禁ニシテ固ク質素ノ主旨ヲ體シ分ニ應シテ處辨セサルヘカラス故ニ予ノ隊ニアルヤ夏服ノ如キハ兵卒ノ之ヲ洗濯屋ニ托スルヲ禁セリ然レトモ動モスレハ體裁ヲ好ンテ之ニ托セントス之ヲ抑制スルモノハ即チ將校ノ範例トス若シ夫レ一部ノ青年將校ノ如ク一意世ノ流潮ヲ追

軍人ノ軍人ナル所以

フカ如キ有様ヲ以テセハ到底之ヲ能クスヘカラス彼ノ下士卒ニシテ私費ヲ擲チ別ニ私服ヲ調フルカ如キハ今日決シテ珍シカラス甚タシキモノハ知己ノ家ニ托シテ上官ニ秘シ休日ニ際シテ之ヲ着用シ揚々トシテ往來ス是レ下士卒ノ罪ニアラス將校ノ罪ナリ將校奢侈ノ影像ナリ
 「ブロンデル」其軍人精神論將校ノ條下ニ論シテ曰ク苟モ軍人タラント欲セハ私ヲ捨テ貧ニ安ンシ強忍以テ尊榮ヲ全フシ陰實以テ職任ヲ充タシ而シテ世俗稱譽ノ虚粧ヲ脱セスンハアルヘカラス人民ノ稱譽尊榮ハ將校ニ於テ偶佛ノ鍍金ト爰ソ擇ハン將校ノ義務ハ赤心ナリ純粹ノ精神ナリ素ヨリ皮膚相貌ノ間ニ在ルニアラサルナリ然リ而シテ其任スル所極メテ大ナリト戰勝後ノ今日青年將校ノ責任殊ニ重大ナル所以ノモノアルヲ思ヒ本性ニ復シテ以テ其本分ヲ盡サ、ルヘカラス之ヲ爲ス如何他國軍隊ノ今日ヲ聯想シテ三省スルニアリ高尚ナル志操ヲ確保シ卓然世俗ヲ脱シテ誠意其職責ニ憤勵スルニアリ

道路及陣地偵察

二十七日予ハ道路及陣地偵察ノ爲メ午前八時聯隊本部ヲ出ツ摺鉢山ノ敵ノ砲兵ハ我師團ノ架橋ニ着手スルヲ見ルヤ前日來時々射撃ヲ行ヒ之ヲ妨害ス予ハ即チ單獨徒步行厨ヲ腰ニシテ先ツ義州ニ向フ義州西端獨立家屋ニ近衛ノ小哨アリ予ノ傍ヲ過クルヤ下士卒ヲ制シテ曰ク敵ノ砲兵ハ架橋點ヲ射撃シ工兵ハ作業ヲ中止セリ此附近危險ナルヲ以テ前進ヲ止メヨ予ハ偵察ノ任ヲ帶フルヲ告ケ

西胡洞高地ノ南端ヲ目標トシ畑地ヲ直進ス是レ義州西南高地ノ鞍部ヲ經テ直ニ架橋點ニ進出スル
 道路ノ果シテ有利ナルヤ否ヤヲ偵察センカ爲メナリ而シテ進ムコト約三百米突ニシテ一彈近ク落
 ヅ予ハ小流ノ傍ニ在リ射彈頗ル近キヲ以テ小流ノ崖ニ尺許リノ所ニ潛伏ス次テ第二彈遠シ第三發
 ハ予ノ位置ヨリ約三十米突前方ニ落下ス破片九子ハ小流ヲ蔽ヒタルモ其勢力極メテ微弱ニシテ殺
 傷ノ威力乏シキヲ見ル予ハ敵ノ夾又界ニアリ第四彈ハ遠ク後方ノ高地ニ落達シ射擊暫ク中止ス予
 ノ現在スル位置ハ西胡洞高地ニ掩ハレ摺鉢山ヨリ展望シ得ス恐クハ工兵高地ノ背後ニ隠レタルヲ
 以テ部隊ノ集合シアルモノト判斷シテ射擊シタルナルヘク其距離予ノ位置ヨリ約五千五百米突ヲ
 隔ツ傍ニ落下セル信管ヲ檢スルニ安全點ニ合セアリ即チ着發彈ヲ發射セルヲ知ル級梯差ハ二百米
 突ナリシカ如シ

予ノ敵ノ射擊ヲ受ケタルハ此時ヲ以テ第一回トス故ニ讀者ハ決シテ予ノ二尺許ノ崖ニ潛ミタルヲ
 笑フ勿レ予ノ後方ニハ近衛兵ノ懸念シテ目送シツ、アルアリ予ハ如何ニ危險ニ際スルモ逃走スル
 ヲ欲セス一步ヲ轉シテ崖ニ倚リ幸ニシテ僅カニ二尺ノ軟土崖ハ敵彈ヲ避クルヲ得セシメタリ而シ
 此時飛鳴落下ト共ニ聯想シタルハ即チ夾又ナリ又其落達ノ景況ニ依リ射線ノ方向ニ在ルヲナリシ
 予ハ信管ヲ携テ西胡洞南方楊樹林ニ向テ直進ス敵再ヒ發射セス即チ此附近ノ地形ヲ偵察シ小流ニ

ハ稍々大ナル工事ヲ要スルモ架橋材料トシテハ現位置ニ大樹アルヲ以テ頗ル好便ナルヲ確メ南方
 高地ニ登ル是レ即チ日本軍ノ命名セル三本松高地ニシテ此附近ノ工事ハ頗ル容易ナルヲ知レリ要
 塞砲兵隊ノ將校ノ敵狀ヲ視察スルニ會ス分レテ工兵作業場ニ向テ一本松高地ノ南方支流ニ接スル
 所ニシテ師團工兵此所ニ宿營シテ架橋材料ノ工作ニ從事ス時正ニ十一時依テ將校ノ宿舍ニ入り盡
 食ヲナシ踏定島ニ向フノ準備ヲナス

野定島ノ陣
 地偵察

此地點ニハ鐵舟ヲ備ヒ交通ニ便シ前哨部隊ト連絡ス
 少時休止ノ後鐵舟ニテ對岸ニ渡リ先ツ前哨本隊ヲ訪フ前哨司令官ハ步兵第三十聯隊長ニシテ今正
 ニ食事中ナリ予ノ陣地偵察ノ爲メニ來レルヲ告クルヤ聯隊長ハ今日ニ至ル狀況ヲ指示スル頗ル丁
 寧且曰ク對岸ニアル敵ハ白晝能ク狙撃スト雖モ夜間ハ我工事ヲ妨ケス偵察ニ當リテハ勉メテ掩蔽
 セヨト予謝シテ出テントス聯隊長起テ予ヲ案内セラル、ヲ以テ辭ニ聞カレス共ニ前進シテ踏定島
 ノ部落ニ到ル沙丘稍々高ク能ク九連城附近ノ高地ヲ展望シ得ヘク河岸ヲ隔ツルコト約七八百米ニシ
 テ敵ノ步兵對岸ニアルモ安全ナル位置トス聯隊長指示シテ曰ク此地點ハ良好ナル砲兵陣地ナリ
 此ニ陣地ヲ撰定セヨト予其好意ヲ謝シ尙ホ附近ノ地形ヲ詳細ニ偵察スヘキヲ告ケ訣レテ河岸ニ
 向フ予ハ此時此附近ハ重砲陣地ニ適當ナルモノト判斷シ後重砲ハ實際此所ニ其陣地ヲ構成セリ

我前哨部隊ハ本流ノ河岸ニ接シテ強硬ナル掩堡ヲ築キテ據リ對岸ノ敵ト相對ズ予ハ初メヨリ河岸ニ接シテ其陣地ヲ擇定センコトヲ欲セリ是レ前方平地ヲ自在ニ射撃スルノ必要アレハナリ即チ直進シテ河岸ニ達シ次ヲ上流ニ步ヲ移ス掩堡内ニ在ル將校之ヲ制シテ曰ク乞フ曝露スル勿レ敵ノ認ムル所トナレハ狙撃セラレ我カ兵爲メニ苦ムト予粗忽ヲ謝シテ尙ホ歩ヲ北方ニ移シ詳シク河岸ヲ偵察シ放列線ヲ沙丘蜿蜒南北ニ亘ル間ニ決定シ大隊ノ配置ヲ案シテ後方段列ノ位置ニ到ラントス敵ノ發射セル砲彈ノ被套數個ノ散在スルヲ認メ就中完全ナルモノ二個ヲ撰ヒ先キニ行厨ヲ包メル布呂敷ヲ出シテ之ヲ收ム此時完全ナル信管ヲモ發見スルコトヲ得タリ之ニ依テ之ヲ見レハ敵砲兵ノ前日來我前哨ヲ苦メタルヲ知ルニ足ル予ハ有益ナル教育材料ヲ得タルコトヲ喜ヒ其重キニ屈セズ之ヲ負フテ段列位置ヲ偵察ヲナシ歸途ニ就ク

敵ノ砲彈ヲ教育材料トナス

状況

敵ノ發射シタル火砲ハ三「デュイム」(七厘六二)速射砲ニシテ信管ニハ分齒百三十アリ故ニ曳火ノ最大射程ハ五千五百米ニ達シ若發彈ハ約六千五百米ニ達スヘキヲ知レリ而シテ予ノ携ヘタル信管被套ハ各大隊ニ交付シテ教育ノ材料トセリ敵ノ砲彈ヲ見タルハ即チ此時ヲ以テ初メトス前進路ハ目下ノ狀況ニ在テハ寧ロ予ノ偵察セルモノヲ有利トスルヲ以テ本夜ヨリ工事ニ着手スルニ決シ午後七時ヨリ開設ニ從事シ其敵眼ニ暴露スル部分ハ夜間ニ於テノミ實行セシムルコトヲナ

セリ

状況

此夜知リ得タル所ニ依レハ虎山ハ敵全ク之ヲ棄テ近衛ノ展望哨代テ之ヲ占ム中江登沙河川ノ間ニアリシ敵ノ歩兵ハ艾河尖ノ線ニ退却シ中江登ニハ敵ノ監視兵アルノミ二十八日師團ハ明二十九日其宿營地ヲ北方ニ移轉シ稍々義州ニ近ク兵力ヲ集結スルノ命令ヲ出セリ

陣地ノ配置

朝來三本松高地ニ更ニ砲兵展望哨ヲ設置シ龍門洞ノ展望哨ヲ撤去ス午後七時聯隊長ハ先ツ中隊長以上ヲ三本松高地ニ集メ敵狀及我軍一般ノ狀況ヲ現地ニ就テ指示シ次テ徒歩渡河點ニ向フ是レ陣地ノ配置ヲナサンカ爲メナリ然ルニ從來ノ渡河點ハ重砲ノ軍橋成レルヲ以テ之ヲ撤去シタル爲メ渡ルヲ得ス依テ更ニ下流ニ向ヒ軍橋ヲ渡ル此軍橋ハ弘北洞西方ニテリ長サ約八十米突悉ク應用材料ヲ用ヒ舟橋ヲ架設シ重砲聯隊ハ此夜ヨリ彈藥運搬ヲ始ム午後七時半頃ヨリ敵ノ砲兵ハ時々元化洞方向ニ對シテ射撃シ午後十時再ヒ發火ス聯隊長ハ各大隊ニ陣地ノ配置ヲ爲シ次テ西胡洞西方軍橋ニ至ル道路ノ偵察ヲ行フ軍橋ニ至レハ正ニ完成シアリ悉ク應用材料ヲ以テ架設シ長サ二百三十六米突ナリ願ミレハ白馬山城烽火ノ盛シナルヲ見ル徒歩流汗濁ヲ覺ヘ鴨綠江支流ノ清水ニ喉ヲ潤シ爽快ヲ覺フ暫ク休憩ノ後工事中ノ道路ヲ檢分スル爲メ三

本松高地ノ北方ニ向フ

廿九日午前零時廿分西胡洞南方ニ於テ再ヒ敵ノ發射ヲ認メタルモ破裂點ヲ明カニスル能ハス小流ニ架設スヘキ橋ハ尙ホ未タ完成セス連リニ工事中ナルヲ見弘北洞ニ歸還ス時巳ニ午前二時ヲ過ク

陣地進入ノ
標上ケ

昨夜不在中軍參謀聯隊本部ニ來リ其殘シタル書狀ノ要旨ニ依レハ昨日敵ノ發射セシ砲彈ハ我軍主力ノ架橋點附近ニ落達シ卅日午後晝間ヨリ架橋作業ヲナスハ頗ル危險ニシテ成功ノ望少シ故ニ重砲兵及第二聯隊ノ陣地進入ヲ一日繰リ上ケ卅日未明中ニ實行シ拂曉ヨリ何時ニテモ砲撃シ得ル如ク計畫シ其成否ニ關シテハ速カニ報告スヘシト云フニアリ

午前七時十五分敵ノ砲兵腰溝北方約千二百米突ノ谷内ヨリ虎山及其部落ヲ射撃ス又鴨綠紅下流ニ砲聲ヲ聞ク是レ我海軍ノ威嚇射撃ナラン

予ハ午前八時司令部ニ至リ命ノ如ク實行シ得ヘキヲ報告シ内訓ヲ受ク其要旨ハ第十二師團ハ水口鎮ヨリ渡河シ軍ノ架橋點ハ之ヲ變更シテ本日午後三時ヨリ實行ス敵若シ此架橋ヲ妨害セハ砲戰ヲ以テ敵ノ企圖ヲ妨害スル爲メ射撃開始ヲ一任セラル又近衛砲兵ハ義州南北ニ亘ル西側高地ニ砲列ヲ布置シ中江臺附近一帶ヲ射撃スル豫定ナリ

午前十時四十分龍門洞岨方向ニ砲聲盛シナリ多分友軍砲兵ノ射撃スルモノナラン
予旨ヲ受ケテ歸還ス聯隊長ハ高級故參ノ故ヲ以テ踏定島砲兵群ノ指揮ヲ執ラサルヘカラス乃チ一將校ニ所要ノ人員ヲ附シ重砲兵ト協議シ電話ノ架設ヲナサシメ砲兵司令官ノ位置ヲ三本松高地ニ定ム

此日第二大隊ニ命シ工兵大隊ヨリ測板ヲ借り陣地ニ於テ距離測定ノ準備ヲナサシム測板ハ戰時頗ル必要ニシテ爾後或ハ測圖或ハ距離測量ノ爲メ屢々之ヲ使用スルノ機會ニ遭遇シ必ス之ヲ携行スルヲ緊要トスルヲ經驗セリ

命令

聯隊ハ輕裝陣地ニ進入スルニ決シ午後四時四十分命令ヲ下ス其要旨左ノ如シ

第二大隊ハ午後八時砲廠出發義州ヲ經テ前進シ第一大隊及聯隊段列ハ各三十分ヲ隔テ、之ニ續行シ陣地ニ進入シテ拂曉迄ニ工事ヲ完成スヘシ砲手ハ輕裝シ脊負袋ヲ負ヒ背囊ハ大行李ノ位置ニ殘置スヘシ豫備品車積載品中獸醫器械其他不必要ノモノモ同様殘置スヘシ豫定ノ位置ニ到着セハ大隊長副官ノ乘馬各一頭各中隊聯隊段列ニ於テ傳令用乘馬三頭ヲ除クノ他ハ悉ク復送シ現宿營地ニ野營スヘシ大行李ハ各宿營地ニ停止シ食事ハ午後九時軍橋ヲ經テ朝ヨリ夕ニ至ル三食ヲ一回ニ運搬スヘシ軍橋ニハ第二大隊ニ於テ藥ヲ携行シ通過前之ヲ撒布スヘシ附屬セル擔架一小

隊ノ給養ハ第一大隊ニテ擔任スヘシ

午後五時攻撃ニ關スル師團ノ命令ヲ受領ス

午後八時聯隊本部ハ第二大隊ニ先行シテ前進シ第二大隊ハ其先頭ヲ以テ砲廠ヲ發進ス此時敵ノ砲兵ハ我主力ノ渡川點タル元化洞方向ニ不絶射彈ヲ送ル先頭ノ軍橋ニ達シタル比正ニ黄昏此時少時前軍橋中央附近ニ敵彈落達シタル景況ナルヲ以テ危險ナラサルニアラサルモ裕餘スル能ハズ續テ渡過ヲ始ム月ハ出テタリ不安ノ念益々禁スル能ハズ殊ニ砂礫車輪ノ通過ニ際シ受々タル音響ヲ發スル高ク心愈々穩カナル能ハス行進及諸動作ニ便ナル月光ハ此音響ト共ニ敵ノ注意ヲ促カスカ如ク感セラレ憂慮禁スル能ハサリシモ幸ニ無事午後十時進入全ク終ハリ直ニ工事ニ着手ス敵ノ砲兵ハ渡レテ眠リニ就キタルモノ、如ク復々射撃セズ

前ニ述ヘタル如ク聯隊ハ前哨陣地ニ陣地ヲ占領シテ工事ニ着手セルナリ河岸楊樹繁キ所通視ヲ遮キリ射撃ヲ妨害スルモノハ之ヲ伐採セサルヘカラス工事ハ射界ノ清掃ト同時ニ實行セラレ音響騒然然カモ對岸ハ寂トシテ又我動作ヲ妨害スルモノナシ一葦ノ水ヲ隔ツルノ對岸低語モ能ク之ヲ聞ク事ヲ得ヘシ敵ハ眠レルカ果タ亦逃走セルカ

陣地附近ハ砂地ナルヲ以テ土囊ヲ用ヒテ工事ヲ容易ニシ四月三十日午前一時完成ス然カモ伐採ハ

四月三十日

軍橋通過

任務ノ變覽

尙ホ連續丁々ノ音ヲ絶タス河岸ノ楊樹ハ遮蔽ノ爲メ最モ良好ナルヲ以テ之ヲ清掃スルニ當リテハ必要ノ程度以外ニ至ラサルヲ要ストハ聯隊長ノ再三注意セラレタル所ニシテ予モ亦之ヲ主張シ中隊長ニ注意ス然カモ小隊長以下ハ一意射撃ノ自由ナランコトヲ欲シテ唯々其主旨ヲ了解スルモ尙ホ之ヲ止メス曰ク此モ妨害彼モ障礙倒サ、レハ不可ナリト

午前一時五十五分軍砲兵部員軍參謀長ノ通報ヲ齎シ來ル曰ク軍命令變更シ敵ノ砲兵放火ヲ開始セハ直ニ之ニ應シテ砲戰スヘシト予是ニ於テ蘇生ノ思アリ何トナレハ前命令ニ依レハ敵ノ我カ架橋作業ヲ妨害スルトキハ之ヲ射撃シテ其企圖ヲ妨害スルノ任務ヲ有スルモ敵ノ砲兵我陣地ヲ發見シテ射撃スルニ當リ之ニ應シ砲戰スヘキ任務ヲ有セス隨テ此ノ如キ際ニ於テハ默シテ敵ノ獨舞臺ヲラシメサルヘカラサルノ恨アレハナリ

午前二時聯隊長ハ目標ヲ配當シ軍砲兵聯隊ハ九連城西方第四砲臺及第三砲臺聯隊ノ第一大隊ハ第二砲臺第二大隊ハ第一砲臺ニ對シ射撃準備ヲ命セリ砲臺ノ名稱ハ新ニ附シタルモノニシテ圖上一珊米ノ方眼ヲ引キ目標ノ指示ニ便ナラシメタリ

榴彈車ノ一部ハ之ヲ各大隊ニ配當シ聯隊段列ハ右翼後約四百米ノ凹地ニ假綱帶所ハ軍橋西南約四百米ノ凹地楊樹林内ニ設ケ軍砲陣地ハ聯隊ノ西南約千突(左翼後)ノ丘阜後ニアリ

午前四時一般ノ指揮ヲ取ル爲メ三本松高地ニ到ル此高地ニハ兩聯隊ヨリ展望哨各一個又龍門洞東方高地ニ聯隊ヨリ一展望哨ヲ出シ軍司令部兩聯隊ノ陣地及展望哨ト砲兵司令官トノ間ハ電話ヲ以テ連絡シ通信ノ設備ヲ整フ重砲聯隊長又傍ニアリ今ヤ天明ヲ待ツノ一アルノミ

六、鴨綠江ノ砲戰ヨリ安東縣占領ニ至ル (四月三十日ヨリ五月三日迄)

夜ハ明ケタリ我カ陣地ノ景況ハ如何果セル哉河岸一帯ノ綠樹ハ殆ント伐リ倒サレ參差其跡ヲ止ムルノミニシテ聯隊ノ陣地ハ恐ク敵方ヨリ之ヲ認ムルヲ得ン然レトモ中江臺附近敵影ナシ殊ニ昨夜敵ハ中江臺及艾河尖ノ部落ニ放火シ終夜火ノ盛ナルヲ認メタルヲ以テ敵ハ九連城附近ノ線ニ退却セルモノナルヘシ而シテ聯隊ノ陣地隻影ヲ認メス掩蔽シテ時期ノ到ルヲ待ツ是レ將校以下來ルヘキ戰況ノ忘想ニ耽ルノ時ナリ

九連城附近ノ高地ハ緩霞ノ間ヨリ現ハレタリ然カモ隻影ヲ認ムルヲ得ス初陣者ハ悉ク失望セリ是レ敵ハ退却セルニアラサルヤヲ疑フニ至リタレハナリ午前十時ニ至ルモ敵ヲ認ムル能ハス九連城附近緩河右岸ノ前日迄往來絶タス人影參差タリシ所ハ寂寥トシテ恰モ無人ノ境ノ如シ是ニ於テカ閉息潜伏セル某中隊長ノ如キハ堪フル能ハスシテ逸早く其觀測臺タル楊樹ニ登リ眼鏡ヲ取テ右町左顧他ノ將校又潛カシ面ヲ擧ケテ敵狀ヲ窺フ嗚呼吾人ハ果シテ好敵ヲ逸シタルカ

午前十時稍々過キ初メテ九連城附近ノ高地ニ人影ヲ認ム其數次第ニ増シテ遂ニ群ヲナシ我方向ヲ展望ス是ニ至テ我カ敵ノ尙ホ現在スルヲ知リ雀躍快哉ヲ呼フ敵兵ハ今ヤ漸ク其幕營ヲ出テ、狀況ヲ見ルモノニシテ吾人ハ唯タ敵砲兵ノ發火ヲ待ツノミ

午前十時我第二十九聯隊ノ兵昨夜小舟ニ乘シ河線ノ偵察ヲナセルモノ今朝中江臺附近ノ岸ニ着シ中江臺部落ノ東北方ヨリ河岸ヲ離レテ左岸ニ向ヒ中流ニ達ス敵ノ第一砲臺ノ砲兵即チ之ニ向テ曳火彈ヲ發射ス距離測定シアルヲ以テ頗ル危險ノ位置ニ於テ破裂セリ聯隊長乃チ兩大隊ニ射撃開始ヲ命シ同時重砲兵ヲシテ見物セル敵群及其後方ノ幕營ヲ射撃セシム敵ノ第一第二砲臺我發火ニ應シテ射撃ス

午前十時四十三分第一砲臺ノ敵砲兵射撃ヲ中止シテ後方ニ遁逃シ後再ヒ射撃ヲ始メタルモ永ク抵抗スル能ハスシテ遂ニ沈黙セリ重砲兵ハ敵群ノ散亂逃走スルヤ主トシテ幕營ニ對シ散布射撃ヲ行ヒタル後射向ヲ轉シテ聯隊ニ協カス敵ノ第二砲臺ハ頑強ニ抵抗シタルモ午前十時五十分漸ク其威カヲ失ヒ一時沈黙スルニ至ル

午前十一時第一砲臺再ヒ射撃ス近衛砲兵ハ義州ノ高地ヨリ我ニ協力シ十一時六分全ク之ヲ沈黙セシム

正午虎山附近ニアリシ敵ノ歩兵ハ陸續退却シ腰溝北方高地ニ約六門ノ敵ノ砲兵現ハレ之ヲ收容セ
ントスルモノ、如シ是ニ於テ砲戰再ヒ起ル
是ヨリ以後第二砲臺ノ敵砲兵ハ我射撃中止ノ時機ヲ窺ヒ時々發射セルモ午後一時五十分終ニ我カ
集中砲火ニ堪ヘス全ク沈黙ス午後二時敵ノ砲兵腰溝附近ノ谷地ヲ運動スルヲ認メ第一大隊ヲシテ
之ヲ射撃セシメ同十五分全ク射撃ヲ中止ス此砲兵ハ腰溝附近ヨリ退却セントシタルモノニシテ混
亂逃走スルニ至レリ

午後二時師團命令ヲ受領ス是レ即チ九連城攻撃ニ關スル命令ナリトス其部署ニ依レハ師團ハ本夜
午後七時ヨリ出發元化洞鴨綠江上流ノ軍橋ヲ經テ虎山西南ノ北方ニ於テ支流ヲ渡河シ先ツ艾河尖
附近ヲ占領シ砲兵ハ歩兵一大隊ノ掩護ニ依リ本道附近ニ於テ鴨綠江ヲ渡リ中江臺附近ニ陣地ヲ占
領シ明朝天明ト共ニ射撃スヘキモノトス

午後三時聯隊長ノ指揮下ニ入りタル先進縱列長ニ命令シ本夜踏定島ニ前進シテ彈藥ノ補充ヲナサシム
午後六時摺鉢山第一砲臺ハ之ヲ重砲兵ニ委テ射撃開始ハ何レノ聯隊先ツ發火スルモ直ニ之ニ應ス
ルコトヲ約シ聯隊本部ハ踏定島ニ到リ午後八時陣地ヲ撤シテ渡河點ニ集合ヲ命シ步兵大隊ニ續テ
先ツ中隊長以上及若干ノ下士卒ヲ隨ヒ中江臺ニ到リ陣地ノ偵察ヲナシ部落ノ東北方ニ撰定シ正ニ

鴨綠江ノ明
橋渡河

五月一日ノ
戰況

之ヲ配當セントスルヤ歩兵大隊ヨリ前面ノ狀況不明ニシテ危險ナルカ故ニ一時後退セラレ度トノ
請求アリ之カ爲メ渡河遲延シ到底拂曉迄ニ全部ヲ渡シ得サルニ至レルヲ以テ第一大隊及聯隊段列
一小隊ノ他ハ左岸ニ止マリ本道西側ニ陣地ヲ占領セシム而シテ重砲聯隊ハ此夜聯隊ノ舊陣地附近
ニ其陣地ヲ變換セリ

午前四時工事完成ス午前五時二十二分敵ノ砲臺ヲ認メ得ルニ至レルヲ以テ第一大隊ヲシテ第二砲
臺ニ向ヒ探射セシム敵應射セス乃チ兩大隊ニ命シ級梯表尺ヲ以テ九連城附近ノ地區ヲ探射セシメ
タル後中止ス

午前七時半腰溝附近ノ敵ノ砲兵發火ス各所ノ砲兵之ヲ集射ス續テ同地西方谷地ニ敵砲兵ノ運動ス
ルヲ發見シ第一大隊ノ一部ヲシテ之ヲ射撃セシム又九連城西北方高地ヲ經テ敵歩兵ノ前進スルヲ
認ムルト同時摺鉢山ノ一帶ノ稜線ハ敵ノ占領スル所トナレルヲ以テ砲兵ハ全力ヲ擧ケテ其前進ヲ
妨害シ敵ヲ驅逐センコトニ努力ス

此時ニ至リ我歩兵ハ逐次前進シ銃火遠カニ盛ントナリ敵ノ歩兵ハ我砲火ノ爲メ動作自由ナル能ハ
ス友軍歩兵ノ平地ヲ前進スルノ狀練兵場ニ於ケルト同シク迅速機敏ニシテ勇壯言ハン方ナシ天險
ノ鴨綠江スヲ一夜ノ間ニ之ヲ踏破スルノ日軍何ソ鑿河ノ小ナルニ屈セン我カ勇敢ナル士卒ハ裸體

攻撃演習ニ
同シ

砲兵ノ渡河

銃火ニ浴シテ先導ス我第一線即チ流ヲ斷テ進ム山ヲ攀登スルニ慣レタル東北兵ハ疾驅敵ノ第一ノ散兵壕ヲ越ヘテ一步モ遲疑セス午前八時四十五分九連城北方最高地ニハ旭旗高ク翻リ悉ク我歩兵ノ占領スル所トナル即チ第一大隊ヲシテ沙河川北部々落ノ東方ニ陣地ヲ變換シテ爾後ノ歩兵ノ前進ヲ援助セシメ第二大隊ニ渡河ヲ命ス

午前九時十五分敵ノ砲兵ハ九連城西北方約千米ノ高地附近ヨリ間接照準ヲ以テ中江臺ノ我渡河點ヲ射撃ス之カ爲メ第二大隊ノ渡河遲滯スルニ至レリ此ヨリ少時後敵ノ機關砲ハ盛シニ九連城ノ部落ヲ急射ス思フニ我部隊ノ集團セルモノト判斷シタルニ因ルナルヘシ

午前十一時半頃第一大隊ヲ率テ驪河ノ渡河點ニ向フ工兵ハ僅カニ一小隊ヲ殘置スルニ至レルヲ殘部ノ渡河容易ニ抄ラス

驪河ノ徒涉點ハ中流ノ深サ馬腹ニ及ヒ殊ニ踏ムニ從テ陷没スル所アリ單獨ノ乘馬ト雖モ危險ニシテ勳モスレハ沈沒溺死ノ恐アルヲ免レヌ午後二時第一大隊ノ先頭タル第三中隊危險ヲ冒シテ徒涉シ始メタルモ容易ナラサルヲ以テ他ノ中隊ハ其下流ニ於テ船ヲ以テ材料ヲ渡シ馬匹ハ徒涉セシム

第二大隊ハ工兵ノ援助ニ依リ緊留渡ヲ構成シテ渡河ヲ實行スルニ至レリ

午後三時軍司令官ハ軍總豫備隊ニ我聯隊ノ砲兵一大隊(一中隊)ヲ附シ追撃隊トナシ鳳凰城街道ヲ

蛤蟆塘ノ包圍

安東縣ニ進入ス

前進シ又各師團ニモ同時ニ前進ヲ令ス是ニ於テ師團ハ二縱隊トナリ安東縣ニ向テ前進スルコトナリ砲兵ハ爲シ得ル限りノ手段ヲ以テ驪河ヲ渡河シ左縱隊(九連城ヨリ安東縣ニ至ル本道ヲ進ムモノ)ニ追及スヘキヲ命セラル

蛤蟆塘ノ殲滅戰ノ起リタルハ即チ此追撃ノ結果ニシテ北方東北方及西方ヨリ進ミタル第十二近衛師團ノ前衛及軍ノ追撃隊ハ期セスシテ三方面ヨリ敵ヲ包圍シ敵ハ死力ヲ竭シテ戦ヒタルモ午後五時過ニ至リ隊伍大ニ動搖シ午後五時半頃遂ニ一部ハ敗走シ大部殊ニ全砲兵ハ閉鎖機ノ要部ヲ毀チ白布ヲ揚ケテ降伏シ蛤蟆塘附近ハ死傷者ヲ以テ蔽ワレ我萬歳ノ聲各所一齊ニ起リ午後六時銃聲全ク止ム此間師團ハ敵ニ遭遇スルコトナク前進シテ沙河鎮ニ達シ宿營命令ハ午後七時半下サレタリ

午後九時五十分砲兵先頭ノ中隊到達シ第二大隊及聯隊段列ノ一部ハ午後十一時逐次到着ス此時恰モ滿湖小流爲メニ漲リ徒涉スル能ハサルニ至リタルヲ以テ豫定ノ砲廠ニ入ル能ハス小流ヲ隔テ、露營ス聯隊段列ノ大部ハ續テ到着セルモ夜間ノ渡河危險ナルヲ以テ一部ハ驪河ヲ渡ルニ至ラス遂ニ艾河尖附近ニ露營セリ

沙河鎮西北部ハ敵退却ニ當リ放火セルヲ以テ概チ灰燼ニ歸ス師團司令部ノ到着スルヤ知縣儀仗ヲ隨ヒ出テ、師團長ヲ迎フ辭禮頗ル鄭重日ク貴軍ノ到着若シ二時間遅カリセハ安東縣ハ恐ク全部燒

土トナリタルナラント乃チ敵我カ前進ヲ偵知シ周章火ヲ放チテ逃走シ爲メニ僅カニ其一部ヲ燒失セシメ得タルニ過キササルヲ知ル

二日第一大隊及聯隊段列ノ殘部ハ悉ク聯隊ニ合シ宿營ニ就ク此日船ヲ備ヒ弘北洞ニ殘シタル背囊ヲ運搬セシム

餘談

三日正午頃ヨリ滿潮ノ爲メ砲廠浸水スルニ至リタルヲ以テ其位置ヲ轉ス此附近ハ干滿ノ差甚タシク委節ニ依リテハ丈餘ニ及フコトアルハ予ノ既ニ知ル所ナルモ注意ヲ缺キ此ノ如キ危險ニ遭遇スルニ至リタルモ幸ニ無事天幸カ僥倖カ此附近ノ沿岸ニ在リテハ特ニ注意ヲ要ス

餘談
戰術上ノ過失

敵ノ誇張

河線防禦ノ不利

力我架橋作業ヲ妨害セントスルニ至リタリトセハ果シテ如何又一中隊ノ歩兵ヲ前進セシムルモ時期ニ依テハ尙ホ怒スヘシ然レトモ今ヤ一意架橋ノ完成ヲ速カナラシメンカ爲メ砲兵ノ陣地進入ノ豫定ヲ變更シテ砲戰ヲナサシムルヲ辭セサル時期ニ於テハ其處置ノ不當ヲ批難セサルヲ得ス然ルニ敵ハ徒ニ一快闘ヲ試ミタルニ過キスシテ翌三十日砲戰ニ驚キ退却シタルヲ以テ架橋ハ豫定ノ如ク之ヲ實行スルヲ得タルハ天幸ト謂フヘシ

二、捕虜ノ言ニ依レハ露軍ハ其他一門ヲ以テ日本軍ノ一中隊ニ對抗シ得ルモノトノ豫算ナリシト其誇張恰モ兵十萬ト稱スト云フ類ニ同シ若シ之ヲ以テ志氣ヲ鼓舞スルノ手段タラシメハ予ハ其精神ヲ贊同スルニ躊躇セザルモ恐クハ慢然此ノ如キ言ヲナシテ以テ得々タリシナラント信ス是レ孫子ノ所謂彼ヲ知ラス己レヲ知ラス每戰必ス敗ル、モノニアラスシテ何ソヤ

三、捕虜將校ノ言ニ依レハ東方支隊長「ザスリチ」將軍ハ日本軍ノ主攻擊ハ安東縣方面ニアルモノト判斷シ其主力ヲ此方面ニ用ヒタリ然レトモ多クノ將校ハ九連城附近ニ主攻擊ヲ受クルモノト信シタリト而シテ支隊ノ兵力ハ歩兵一師團半砲四十門及機關砲八門ニシテ過大ナル正面ヲ占領シテ警備セザルヲ得ス隨テ到ル所薄弱トナリ容易ニ突破セラル、ニ至レリ是レ河線防禦ノ困難ナル例證ニシテ又防者ハ到ル所堅固ニ守備セザルヘカラサルモ攻者ハ一點ヲ突破セ

收容隊ノ奮

ハ以テ勝ヲ制スルヲ得ル所以ヲ了解シ得ヘシ
 四、敵ノ總豫備隊ハ土城子附近ニアリ而シテ甚タシク沙河鎮方面ヲ顧慮シタル爲メ九連城方面ニ對シテハ距離遠大ニ過キ赴援時機ヲ失シ收容ニ用ヒ得タルニ過キス蛤蟆塘ノ戰即チ此ナリ
 今其奮戰亂闘ノ狀ヲ明カニセンカ爲メ參謀「ダニロフ」氏ノ講話ヲ左ニ掲ケン氏ハ總豫備隊ノ遠隔用ヲ爲サ、ルヲ説キタル後左ノ如ク云ヘリ

正午十二時「ザスリチ」將軍ハ敵我左翼ヲ迂回シ又我ニ多大ノ損害生シタルノ報ニ接シ全軍ヲ舉ケテ鳳凰城ニ退却スルノ已ムナキヲ認メ退却掩護ノ爲メ歩兵二大隊(第十一聯隊)及砲兵一中隊(第三旅團ノ第三中隊)ヲ「カシタリンスキ」將軍ノ偵察シ置ケル轉山子北方ノ陣地ニ據ラシメタリ此二大隊ハ兩方面ニ對シ良好ノ射界ヲ有スル一高地ヲ占領シタルモ土地甚タシク斷絶セル爲メ砲兵ハ放列ヲ布ク能ハス「カ」將軍ノ命ニ依リ後方ニ退却セリ敵ハ砲兵及機關砲中隊ト共ニ總豫隊ノ方向ニ退却セントスル我第十二聯隊ヲ壓迫シ午後一時頃既ニ著シク第十一聯隊ノ陣地ニ接近セリ此時同地ヨリ後方ニ退却中ナル砲兵中隊ハ敵ノ十字火ヲ蒙リ道路上ニ出ツル能ハス已ナク敵ノ近距離ニ於テ前車ヲ脱シ戰鬪終ル迄其位置ニ停止シ機關砲中隊モ亦陣地ニ留マリ敵ニ對シテ猛烈ナル射撃ヲ開始シ實ニ三萬五千發ニ達シタルモ是レ亦敵ノ十

字火ヲ受ケ總テノ馬匹ト士卒ノ大半ヲ失ヒ「カ」將軍ノ報告ニ記シアル如ク「慘憺タル屍ノ山」ヲ築ケリ東部西伯利亞砲兵第六旅團第二中隊モ亦馬匹ノ一半ヲ失ヒ山地ニ於テ砲ヲ動かスコト能ハス之カ爲メ前者ト同一ノ運命ニ陥レリ然レトモ第十二聯隊ハ軍旗ヲ擁シテ敵ノ圍ヲ脱シ第十一聯隊ハ更ニ二時其陣地ニ留マリテ諸隊ノ退却ヲ掩護セリ兩翼及背面ヨリ敵ニ包圍セラレタル第十一聯隊ノ大隊ハ敵ノ包圍ヲ脱スル爲メ數回銃劍突撃ヲ斷行シタルモ敵ハ應戰セス若干退テ又猛射ヲ雨注セリ此突撃ニ際シ聯隊長「ライミング」大佐戰死シ歐露ヨリ到着シテ日尙ホ淺キ第三大隊ハ殆ント全滅セリ午後四時頃第十一聯隊ノ各大隊ハ陣地ヲ撤シ轉山子ヲ經テ鳳凰城ニ至ル峽谷内ノ道路ニ入レリ敵ノ歩兵ハ我退却ヲ追撃シタルモ總豫備隊ヨリ應援ニ來レル第十聯隊ノ一大隊ノ一齊射撃ヲ受ケ停止シ復タ追撃セス五月一日ノ戰鬪ニ於テ我軍ハ多大ノ損害ヲ受ケ就中第十一及第十二聯隊ハ約半數砲兵第三旅團ノ第二第三中隊ハ殆ント全滅シ四月三十日及五月一日ニ於ケル損害ハ總計將校七十三士卒二千三百二十四名砲二十二門機關砲八門トス
 右ノ講話中時刻ハ我軍ノモノト少シク一致セサルモ能ク狀況ヲ詳述シアリ然レトモ其終局投降ニ關シテハ一モ言フ所ナシ恐ラクハ言フニ忍ヒサリシナラン

砲兵ハ山砲

五、補虜ノ言ニ依レハ露軍ハ韓國野砲ノ前進ヲ許サス故ニ日本軍ハ山砲ヲ使用シ得ルニ過キヌト信シ即チ野砲スラ之ヲ夢想セヌ况ンヤ重砲ヲヤ是レ四月三十日ノ砲戰ニ當リ事意外ニシテ志氣頓ミニ沮喪シ五月一日其砲兵ハ單ニ收容ニ任シタルノミニシテ歩兵ト協同セサルニ至リシ原因ナルヘシ若シ「ミシチェンコ」ノ騎兵ヲシテ極力搜索ニ力ヲ盡ス所アラシメハ野砲ヲ有スルカ如キコトハ之ヲ探知スル決シテ困難ニアラサリシモ無爲退却以テ其任ヲ盡セリト爲ス故ニ却テ其陣地ニ我軍ヲ誘導シタルカ如キ觀ヲ呈ス是レ無能ニアラスシテ何ソヤ

數彈ヲ以テ
砲兵一中隊
ヲ鹵獲ス

六、五月一日ノ戰鬪ニ於テ腰溝附近ノ谷地ヲ退却スル敵砲兵ヲ射撃シタルコトヲ記セリ之ニ對シテハ近衛砲兵亦之ヲ射撃シタリト云フモ近衛方面ヨリハ高地ニ掩ハレ恐ク確實ニ展望シ得サリシナルヘク之ニ反シ我中江臺ノ陣地ハ谷地ヲ縱射シ得ルノ位置ニアリタリ故ニ恐クハ我射撃ノ効果ナルモノ、如ク此時其最モ明亮ナリシ縱隊ノ先頭ニ向テ榴彈ヲ發射シ當時九連城方面ノ狀況急ナリシヲ以テ深ク其結果ニ注意セサリシモ近衛師團ノ前進ニ當リ砲兵一中隊行軍縱隊ノ儘狹キ道路上ニ放棄セラレ其先頭ノ一車ノミ轉覆シアルヲ發見シテ之ヲ鹵獲セリ蓋シ先頭砲車ノ轉覆ハ後續砲車ヲ通過セシムル能ハサルニ至ラシメタルヲ以テ材料ヲ放棄シ馬ヲ解キ之ニ跨テ遁逃スルニ至ラシメタルモノナルヘク後此等完全ナル砲ヲ以テ中隊ヲ編制ス

ルニ至レリ

榴彈ノ効

七、敵ハ榴彈ヲ有セス隨テ我カ榴彈ハ敵ノ志氣上ニ大ナル影響ヲ與ヘタルモノ、如ク捕虜ノ爆裂スル黒キ烟ヲ發スル彈丸ハ最モ恐ロシカリシヲ語ルヲ見ル

從軍外人ノ
振振

八、五月一日ノ戰鬪ニ關シテ從軍外人ハ多ク意ニ介セス四五日ノ後ニアラサレハ日本軍ノ行動見ルヘキモノアルニ至ラサルヘシト公言シ隨テ一日朝ノ如キハ多クハ砲聲ヲ耳ニシツヽ尙ホ寢床ニアリ然ルニ我軍一舉シテ敵陣地ヲ奪取スルニ至レルヲ以テ彼等ノ義州附近ノ高地ニ登リタルトキハ九連城ノ高地上旭旗各所ニ翻リ義州附近一兵ヲ見ヌ是ニ於テカ周章狼狽其見聞セサリシ狀況ヲ作爲シテ各其本國ニ報ス其滑稽笑フニ堪ヘリ而シテ此戰鬪ノ結果ノ世界ノ耳目ヲ驚倒セシメタルハ愉絶快絶我國民ハ喜悅ノ餘リ狂セントシ第一軍ノ双肩ニ擔ヘタル帝國陸軍ノ聲譽ハ海軍第一ノ成功ト伯仲シ志氣爲メニ揚リ前途益々多幸ナルヲ兆スルニ至レリ

九、露人動モスレハ民家ヲ燒夷ス是レ古奈翁ニ對シテ實行シタル所ナリト雖モ他國ニ在テハ偶々以テ士民ノ怨ヲ招クニ過キヌシテ毫モ得ル所ナシ之ニ反シ我軍ノ進ムヤ軍紀嚴肅絲毫モ犯ス所ナク武威堂々恩惠及ハサル所ナシ是レ眞ニ文明ノ軍隊ニシテ先進國ノ軍隊ノ企テ及ハサル所ナリトス

露人ノ放火

捕虜

十、歩兵第四聯隊ノ將校捕虜將校ニ砂糖水ヲ與フ彼感謝ノ餘リ其軍刀ヲ取リテ以テ贈ル他ノ將校之ヲ戒メテ曰ク刀ハ軍人ノ魂之ヲ失フハ不可ナリト事終ニ止ム昨日迄美食ニ飽キタル露軍將校モ一戰敗レテ今ヤ砂糖水ノ惠與ニ感泣スルニ至ル勝敗ハ常ナリ吾人モ亦此ノ如キ境遇ニ陥ルコトアルヘシ予是ニ於テ同情禁スル能ハス即チ部下ヲ諭シテ捕虜ヲ輕侮スルコトナカラシム

捕虜黑パン
ト人夫代用

十一、露軍ニ在テハ兵卒ニ黑パンヲ給與ス粗製不良殆ント吾人ノ口ニスル能ハサルモノナルモ彼ニ在テハ生命ニ等シ故ニ兵卒ノ捕虜トナルモノ必ス之ヲ携ヒ武器彈藥ヲ捨ツルモ之ヲ放タス停止スレハ地ニ踞ク之ヲ食ス中ニ食ヲ乞フモノアリ恐クハ事急ナル爲メ今朝以來食ヲ得ル能ハサリシモノナルヘシ又日給ヲ受ケサリシ爲メ困難スル故ヲ以テ給錢ヲ乞フモノアリ軍司令部乃チ人夫代用トナスヲ規定ス

十二、分捕品被服ハ代用シ得ルコトニ定メラレ各隊ハ其分配ヲ受ケタリ水流徒涉ノ頗繁ナル爲メ長靴ハ兵卒ノ爲メ大ナル便益ヲ與ヘタリ

十三、敵ノ砲臺ヲ巡視ス其附近ニハ小銃及彈藥多ク散亂ス沛然タル血痕尙ホ未タ乾カス彈片又累々タリ傍ニ砲車長ノ手帳ノ如キモノヲ發見ス一發毎ニ發射數ヲ記入シアルヲ見ル其文字ハ

敵砲臺附近
ノ狀況

四將軍露ク

殊ニ拙クシテ恰モ兒童ノ落書ノ如シ又「トランブ」ノ散亂スルヲ目撃ス士卒モ亦遊怠ニ耽ルコト斯ノ如クナル所以ノモノハ是レ其將校ノ反影ナリトス豈ニ慎マサルヘケンヤ

十四、五月一日ノ戰圖後西將軍語テ曰ク予ハ東北兵ノ勇猛ナルヲ知ル然レトモ五月一日ノ戰圖ニ當リテハ予ヲシテ驚歎セシム眞ニ其名ヲ辱シメサルモノト云フヘシト

驢馬ノ聲

十五、四月三十日ノ夜中江臺附近ニ前進シテ背水ノ陣ヲ布クヤ沙河川附近ノ民家ニ驢馬ノ嘶クヲ聞ク閑寂ノ間情自ラ動キ悲愁禁スル能ハサルカ如キ感アリ予常ニ之ヲ回想シ其聲尙ホ耳朶ニ存スルヲ覺ユ

安東縣ノ給
與

十六、安東縣ニ入ルノ後白菜アリ鮮魚アリテ軍隊ハ上陸以來ノ渴望ヲ滿スコトヲ得タリ予主計ヲシテ戰勝祝賀ノ爲メ給與諸品ヲ準備セシムルコト七品皆上陸以來ノ珍士卒往事ヲ語ル毎ニ此七品ヲ數フ

豆腐ノ呼聲

十七、安東縣ニ入り土民ノ豆腐ヲ賣ルヲ見ル往來高聲豆腐ト呼フ呼聲本邦ト異ナルコトナシ恐クハ支那ヨリ本邦ニ傳ハリタルモノナラン

十八、敵ハ安東縣方向ニ主力ヲ用ヒ九連城附近ハ義州ヨリ鳳凰城ニ至ル直路ナルニモ係ラス道路ハ修理セル形跡ナク我第一大隊ノ如キハ前進ニ當リ稍々困難シタル狀況ナルモ之ニ反シ安

東縣方面ハ全カヲ擧ケテ工事ニ從事シタルヲ見ル其狀況ハ後ニ詳ラカナリ

十九、鴨綠江ノ戰鬪ニ關スル外國從軍記者ノ評論ハ最モ興味アルヲ以テ少シク茲ニ摘録スル所アラントス即チ左ノ如シ

三日間ニ亘レル豫備戰ノ後日露兩軍ノ力ヲ比較スヘキ時ハ來レリ而シテ日軍竟ニ勝利ヲ得テ鴨綠江ヲ渡過シタルノミナラス其將ノ器ニ於ケル用兵ノ術ニ於テモ將タ士卒ノ膽力ニ於テモ皆露兵ノ上ニアルコトヲ證シタリ露兵ハ外觀總テノ點ニ於テ優レルカ如ク見ヘシモ最重要ナル陣地ヲ失ヒ死傷及俘虜トシテ一千以上ヲ失ヒ又砲殞ノ半ト小銃彈藥ノ多量トヲ失ヘリ就中其威力ヲモ失ヒテ白旗ヲ掲クルニ至リタリ是レ彼等ノ爲メニハ不吉ノ首途ナリ

露國ノ陸軍ハ海軍ノ敗斃ニ因テ失墜シタル權勢ヲ回復スルニ足ルヘキモノト語リ傳ヘラレタル時日本人ハ用心深クモ陸軍ハ海軍ヨリ或ハ強カラシ然レトモ被等ハ畢竟大差ナキモノタルヲ見出シ得ント評シタルカ今ヤ果然第一ノ試驗ニ於テ見事ニ勝チタリ抑々其初メハ約一ヶ月前ニシテ日本ノ騎兵斥候カ韓國ノ西北境ニ於テ露軍退却ヲ追撃シ義州城外ニ哥薩克騎兵ト小戰ヲ交ヘタル時ニアリ夫ヨリ露軍ハ江ヲ越ヘテ滿洲ニ退キ直ニ此地點ニ於テ大戰ノ準備ヲ爲セリ鴨綠江ニテ拒止スルノ可否ニ就テハ露ノ將軍中意見區々ニ分レタリトノ説アリシカ夫レ

或ハ然ラン然レトモ事實ハ矢張此所ヲ守リ其結果ハ即チ悲慘ナリ

予ハ鴨綠江渡過其者カ幾何ノ價值アルカヲ断定セント欲スル者ニアラス寧ロ此戰ニ於ケル重要事件カ兩軍ノ戰略及實力ヲ比較スルニアリ而シテ有ユル點ニ於テモ判決ハ露人ノ敗ニ歸セリ此事ハ甲地或ハ乙地ノ得喪ヨリモ遙カニ重要ナリ而シテ斯ル形而下ノ結果ハ單ニ教訓ヲ力付クル爲メ例解タルニ止リ其價值固ヨリ教訓其物ニ及ハス鴨綠江ハ水淺ク幅廣ク迂回曲折セル河ニシテ中流沙洲多ク時ニ大ナル島嶼ヲ成ス流水滿々タル時義州ニ於ケル兩岸ノ廣サハ約一哩ノ三分ノ二即チ一千碼ニシテ新式銃ヲ以テセハ能ク彈丸ノ達スル距離ナリ義州ヨリ一直線ニ江ヲ渡ランニハ一モ島ナクシテ對岸ニ虎頭ト稱スル丘アリ此丘ノ頂ニ規模頗ル大ナル要塞アリ義州ニ最モ近キ部分ニ各砲六門ヲ備フル四坐ノ砲臺アリ又江ノ方ヨリ稍後方九連城ニ向ヘル高キ扁平ノ所ニモ殆ント同數ノ砲臺アリ此等ノ諸砲臺ハ必要ノ際義州全市ヲ粉碎シ得ヘキモノニシテ又江ノ全幅及兩岸三四哩ノ間ヲ一掃シ得ヘシ虎頭ノ下流約七哩ニ在ル安東縣ノ方ニモ稍小規模ノ要塞ヲ有シ彼レト此レトノ間ハ壘ヲ築キ多クノ歩兵ヲ以テ固メタリ此防禦主線ノ外露軍ハ鴨綠江ノ上流三四十哩ノ地ヨリ下流海ニ面スル所及大孤山迄ノ海岸ニ沿フテ少許ノ間隔ヲ取リツ、數名ノ外哨ヲ置ケリ此總人員ニ就テハ諸說齟齬シ或ハ五萬以上

ト稱スル者アレトモ確カナル數ハ二萬以下ナルヘシ露軍ハ斯ル長大ノ線ニ兵ヲ分置シテ或ル一點ヲ防禦セサルヘカラサル時ハ兵力ノ薄弱ヲ感シ又互ニ相加勢スルノ敏活ヲ缺ケル誠ニ愚ナリ古語ニ曰ク敵ノ來襲ヲ待チ受クル軍隊ハ敵ノ攻撃シ來ル地點ヲ内通セラル、ニアラサル限リハ不利ノ地位ニアルナリト宜ナル哉日軍ヨリ攻撃セラルヘキ地點ハ無慮五十箇所ヲ下ラス日軍ハ隨意ノ一點ニ力ヲ集中スルヲ得ルニ反シテ露軍ハ此五十箇所ニ向テ夫々防禦ノ注意ヲ配ラサルヘカラサルナリ然ルニ此内通ニ就キテ予ハ義州ニ於テ奇異ノ出來事ニ際會セリ露軍ハ日軍ノ圈内ニ數名ノ支那人及韓人ノ間諜ヲ放チタルニ其内一人ハ農夫トナリ一人ハ行商人トナリ其他種々ノ姿ニ扮シテ安東縣鳳凰城又ハ他ノ所ヨリ出發セシカ一人トシテ其出立ヨリ目的地ニ至ル迄豫テ露軍ノ陣中ニ隠レテ此等ノ監視ヲ怠ラサル日本ノ間諜ニ追躡セラレサルモノハアラサリキ斯クテ一人ノ盲乞食アリ(假裝)トボ々々長途ヲ辿リテ義州ヨリ本街道ヲ平壤ニ下リ來リシカ途中道伴レトナリタル反物質ノ行商人アリテ毎夜同村ニ泊リシニ平壤ニ至リテ右ノ吳服屋ハ日本憲兵ニ行き遇フヤ輕々其肩ヲ敲キテ乞食ノ方ニ目配セシタリ程ナク彼方ヨリ來レル二人ノ朝鮮労働者ハ出遇頭ニ乞食ニ突當リ丁寧ニ罪ヲ謝シテ乞食ヲ扶ケ起シタル瞬間彼ハ既ニ日本ノ虜トナリ居タリ次ニ身邊ヲ搜索シタル結果彙報ノ裡ヨリ數多ノ有用

ナル書類ヲ發見セリ吳服屋モ盲乞食モ消エ失セタルモ獨リ吳服屋ハ今尙ホ生存シテ繁昌セリ此一例以テ露人カ探偵ニ如何ニ拙ナルカヲ示スニ足ル彼等ノ秘密任務ハ日本人ニ先越サレテ望ナシ日本人ノ彼等ニ於ケル猶ホ猫ノ鼠ヲ弄ヒ釣魚者ノ魚ヲナフルカ如シ魚時ニ逃ルコトアラシクモ釣魚者ヲ捕ヘンコトハ不可能ナリ

之レト同様ニ黒木大將ハ「カシタクンスキー」將軍ヲ弄ヒタリ例令或日ノ專日本軍ハ安東縣ノ下流ヲ偵察シ恰モ此所ヨリ渡河セントスルモノ、如ク見セ掛ケタルニ露軍線内ニハ忽チ右往左往ニ傳令使馳セ違ヒ此所ヲ先途ト喰ヒ止メントテカ勢力ヲ竭シテ待チ搦ヘタルニ何ソ圖ラシ安東縣上流二十哩梨子園ノ附近ニテ日本軍ノ小部隊既ニ渡河ヲ始メタリトノ報又モ露軍ヲ驚シケレハ又其方面ニ援兵ヲ急派シタリ而シテ其地ニ到ルヤ日本軍ハ早ヤ引揚ケテ影モナシ斯クテ徒ニ骨折損ノ草臥儲トナレリ

(中略)

五月一日午前七時半頃露軍ノ歩兵ハ九連城背後ノ丘ニ退キタルカ如シ然レトモ彼等ハ尙ホ未ダ遠ク去ラス猛烈ナル銃火ヲ續ケツ、アリ黒木大將是ニ於テ總追擊ヲ命シ日本軍ハ勇マシク其命ニ從ヘリ是レ歐羅巴軍隊トノ初メテノ大戰ナリケル各兵皆テ歐羅巴ハ何ノソノ全世界

ヲ敵トシテモ怖ル、モノカハトノ決心色ニ見エタリ

日本兵士ノ爲メニハ伶俐ナル諸將軍ヲ有シタルヲ幸トス彼等ノ用兵ノ妙ハ敵ニ優ル即チ徐々
確實ニ日軍ノ左翼ハ露軍ノ右翼ヲ掩撃シ漸々追ヒ詰メタレハ露軍ハ勇敢ナリト雖モ最早詮方
ナキニ至リ又勢竭キテ退却スルハ敢テ怯懦ナラストノ傳説ヲ有スル露軍ハ今ヤ之ヲ實行スル
ノ時來リタリ此時日本軍カ坂ヲ攀登スルノ狀之ヲ遠望スレハ蟻ノ香餌ヲ求メテ集ルカ如シ露
軍ハ愈々退却ニ就キ鳳凰城ヘノ道路ニ出テンカ爲メ狹隘ニシテ迂曲セル街道ヲ過キ往ク時シ
モ混雜ヲ引起シ竟ニ潰走ノ姿トナリ鳳凰城ヲシテ敗走ヲ續ケタリ又虎頭附近ニ殘サシタル砲
兵ハ生存者ヲ纏メテ砲約二十門ヲ曳キテ退却セントセシカ日本軍ニ取圍レテ退路ヲ遮斷セラ
レシカハ踏ミ止リ必死防戦シ殆ント三分ノ一ハ殞レ僅ニ三四百日本軍ヲ相モニ拳銃ノ距離内
ニテ接戦シタリ是レ實ニ第二ノ「マシユバ」丘英杜戰爭ニ英軍苦戦シテ大損害ヲ蒙リタル古戦
場ナリキ已ニシテ天幕ヲ切り裂キテ造リタル白旗ハ哥薩克ノ鎗先ニ掲ケラレタリ天ニ昇ル
ノ喜ヲ以テ勇ミ誇レル少サキ日本ノ勇兵ハ軍歌ヲ唱ヒ勝鬨ヲ舉ケテ高ク日章旗ヲ翻ヘシ咽喉
モ裂ケヨト許リ萬歳ノ歡聲ヲ叫ヒタリ然レモ復タ嚴肅ナル沈黙ニ返リ大敵ニ對シ殊死シテ戦
ヒタル敵ノ勇敢ニ敬意ヲ表シタリ露軍ノ勇猛誠ニ名譽トスヘキ價アリ之ヲ認メテ稱讚ニ答ナ

ラサリシ日本人ノ度量又誠ニ名譽トスヘシ

露人ハ種々ノ懇切ナル取扱ヲ受ケタリ降伏シタル三百五十中約三分ノ一ハ負傷者ニシテ中ニ
ハ頗ル重傷ノ者モアリ露軍ノ總數ニテ一千人以上戦死シタリ

二十、成吉思汗曰ク兵士平日ハ其靜肅ナルコト牝牛ノ如クナルヘクシテ而シテ一旦戰場ニ臨メ
ハ則チ敵中ニ突進スルコト猶ホ彼ノ飢鷹ノ食餌ヲ攫ムカ如クナルヘシト

前漢ノ淮南子曰ク夫レ飛鳥ノ撃アントスルヤ其首ヲ俛シ猛獸ノ攫マントスルヤ其爪ヲ匿クス
虎豹其爪ヲ外ニセスシテ噬ム時ハ齒ヲ現ハサス故ニ兵ヲ用フルノ道之レニ示スニ柔ヲ以テシ
テ而シテ之ヲ迎フルニ剛ヲ以テス之ニ示スニ弱ヲ以テシテ而シテ之レニ乘スルニ強ヲ以テス
之ヲ爲スニ欲ヲ以テシテ而シテ之レニ應スルニ張ヲ以テス將ニ西セント欲シテ而シテ之レニ
示スニ東ヲ以テシ先キニハ忤ヒテ後ニハ合ヒ前ニハ冥クシテ後ニハ明カナリ鬼ノ迹ナキカ如
ク水ノ創ナキカ如シ故ニ嚮フ所ハ之ク所ニアラス見ル所ハ謀ル所ニアラス舉措動靜能ク識ル
コトナシ雷ノ擊ツカ如クニシテ備ヲ爲スヘカラス用フル所ハ復セス故ニ勝ツコト百全ナルヘ
シト戦ノ法古今其軌ヲ一ニスルコト夫レ斯クノ如シ依テ以テ原則ニ變化ナキヲ知ルニ足ラン

七、鳳凰城ニ向フ前進（五月上旬）

前進途中ノ
状況

五月四日騎兵聯隊及歩兵若干ハ大孤山岫巖附近ノ敵狀ヲ搜索スル爲メ前進シ師團ハ明日先驅シテ鳳凰城ニ向ヒ前進センカ爲メ午後五時命令ヲ下セリ搜索ノ結果ニ依レハ敵ノ歩兵二三大隊騎兵三四中隊砲兵約一中隊ハ高麗門附近ヲ守備シ鳳凰城ニハ大ナル敵兵ナキカ如シ

五日ハ是レ第二軍ノ大沙河口ニ上陸ヲ始メタル日ニシテ師團ハ二縱隊トナリ前進ニ就キ聯隊ハ右縱隊トナリ午前八時沙河鎮北端ヲ出發ス途中敵ノ工事ヲ見ル即チ盤道溝ヲ經テ老古溝ニ至ル間ノ道路ハ永久軍路ヲ開設シアリ行進極メテ容易ナルモ其附近ノ跟跡ニ依テ察スルニ當初ニ在テハ車輛ノ通過ニ極メテ困難セルモノ、如ク到ル所縱橫陷沒セル車撤ナラサルハナシ又沙河鎮西方ノ陣地ノ如キハ逐次抵抗ニ適スル地點ニハ悉ク塹壕ヲ構築シ設備頗ル周到ナルヲ認ム然レトモ退却ニ當テハ狼狽爲ス所ヲ知ラサリシモノ、如ク小流ニ架設シタル幅約二米突ノ橋ノ燒夷シタルニ過キス土城子附近ニハ敵ノ倉庫アリ退却ニ當リテ之ヲ燃キタルモ中庭ニ堆積シアル米ハ火災ヲ免ル又小銃彈ハ到ル所ノ路傍ニ燒キ棄テアルヲ見ル之ニ依テ之ヲ觀レハ軍隊ハ戰フノ意ナク此機ヲ利用シテ戰鬪力ナシトノ口實ヲ得ンカ爲メニセルモノニハアラサルカ

師團ハ午後一時湯山城ニ到着シ此夜此附近ニ宿營ス老爺厰附近ニアリシ敵ノ一部ハ我騎兵ノ爲メニ擊退セラレタリ湯山城ニハ名ノ如ク古城跡アリ周壁尙ホ存ス

此夜鳳凰城ニハ敵兵四五千八砲十門内外アルモノ、如クナルヲ知ル

六日師團ハ鳳凰城攻撃ノ目的ヲ以テ右側支隊ヲ設ケ二縱隊トナリ前進シ高麗門附近ニ達ス我騎兵ハ昨夜遅ク土人ノ言ニ依レハ雪裡店附近ニハ約二萬ノ敵兵アルヲ報ス依テ敵狀ヲ確メタル後前進スルニ決シテ此夜遂ニ附近ノ部落ニ宿營ス我右側支隊ノ一部ハ此日鳳凰城ヲ占領セリ又戰利野砲中隊編成ノ爲メ將校以下若干ヲ安東縣ニ派遣ス

七日及八日ハ依然現位置ニ停止シ鳳凰山西麓附近ノ陣地ニ工事ヲ爲ス此間鳳凰城戰利品整理委員ノ任命アリ各隊ヨリ助手ヲ出シテ整理ニ從事セシム又清語通譯始メテ聯隊ニ配屬セラル

聯隊ノ宿營地ハ高麗門東北ノ一小部落ナリ九日ニ至リ露軍ノ小銃彈輜重車及燒ケタル機關砲身等ヲ發見シ師團司令部ニ送ル其他井中ヨリ輓具靴等ヲ引上ケタリ恐クハ土人ノ隱匿シタルモノナラ

鳳凰城ニ入

此日雪裡店以南ニ敵兵ナキヲ確メ鳳凰城ニ進入スルコトトナリ十日午後零時半到着其西北部ニ宿

營ス
鳳凰城ニハ此ヨリ六月下旬迄滞在セルヲ以テ次ニ今日ニ至ル迄ノ餘談ヲ掲ケテ然ル後狀況ヲ進メ

餘談

餘談

我斥候ノ勇

敗走ノ跡

敵再ヒ逸失

一、我獨立騎兵ノ鳳凰城ニ入ルヤ敵ノ騎兵約一中隊二道河子附近ニアリ偶々我將校斥候二組二方向ヨリ進ミタルモノ之ヲ發見スルヤ直ニ襲撃ニ轉ス敵騎狼狽逃走ス我兵斬擊敵ヲ倒スコト多ク武器ヲ鹵獲シテ歸ル我兵ノ勇敢ナル概ネ斯ノ如シ

二、安東縣ヨリ鳳凰城ニ至ル間ニ於テ予ハ敵兵敗走ノ慘憺タル狀況ヲ想像シ得タリ即チ小銃彈ハ到ル所ニ燒キ棄テ血ニ染ミタル綳帶若クハ綿ノ類ハ路上トナク畑地トナク其行進シタル所停止シタル所ニ散亂シアリ傷痕ヲ包ンテ行難ヲ忍ヒ帽ヲ捨テ靴ヲ捨テ先ヲ争フテ鳳凰城ニ向フ故ニ稍々隊伍ヲナシテ歸還セルモノハ一二ノ部隊ナリシト土人ノ奇策敵ヲシテ再ヒ鳳凰城ヲ逸走セシメタルヤ宜ナリト云フヘシ

三、土人ハ露軍ノ状態ノ尋常ナラサルヲ見ルヤ機乘スヘシトナシ日軍東方ヨリ前進スト急報ス東方トハ乃チ我右側支隊ノ前進セル方向ニシテ敵ハ退路ヲ失フヲ恐レ周章逃走シテ鳳凰城又敵ナシ我騎兵ノ進入シタルハ其後ナリ而シテ鳳凰城ハ之カ爲メ敵ノ放火ヲ免レ剩サヘ諸倉庫ハ充實セル軍需品ト共ニ我手ニ落ツ土人素ヨリ好機逸スヘカラストナシ分捕ヲナシタルモ此等ハ終ニ我軍ノ發見スル所トナリ後悉ク之ヲ沒收セリ風聲鶴唳ニ驚クトハ蓋シ此ノ如キヲ謂

支那人ノ根

支那人ノ根

河線ハ其道

露馬

分捕品

フナルヘシ

四、高麗門ニ於テ支那馬二頭ヲ買ヒ價六十金ヲ給ス土人肯セサルモ我計官之ニ應セス土人即チ或ハ憲兵ニ訴ヒ或ハ司令部ニ上告ス共ニ聞カレス是ニ於テ再ヒ増額ヲ迫ル予命シテ更ニ五圓ヲ給セシム彼遂ニ納得ス之カ爲メ彼ハ前後三日ヲ費セリ金錢ニ對スル支那人ノ根氣概ヲ折ノ如シ故ニ金錢ノ爲メニハ生命モ惜マサルコトアリ

五、滿洲ノ地形韓國ト趣キヲ異ニス即チ道路ノ不完全ナルト河川橋梁ナキトハ共ニ同一ナルモ滿洲ニ在テハ河床ハ平常多クハ往來ニ使用セラル車輛ノ爲メニハ特ニ然リトス而シテ河床ハ細沙ニシテ野砲ノ通過モ敢テ困難ニアラス之カ爲メ第一軍ハ野砲ヲ有シ長ク山地ニ行動シタリト雖トモ特別ノ場合ノ外ハ甚タシキ困難ヲ感スルコトナカリキ

六、鳳凰城高麗門間ニハ露馬ノ屍體點々路傍ニ横ハリ腐敗シアルヲ見タリ九連城ニテ分捕リタル砲兵駕馬ハ體格長大ニシテ我ニ比シ頗ル優秀ナルヲ認メ戰利砲中隊ハ此等ノ馬匹ヲ以テ編成セラレタリ

七、鳳凰城ハ東方支隊ノ集積倉庫ヲ設ケタル所ナルヲ以テ分捕品山ノ如ク防寒被服ノ如キハ倉庫ニ充滿シ軍需諸品備ハラサルモノナシ砲兵ノ直ニ利用シタルモノハ手入油及革具ノ修理材

料ノ類トス

予倉庫ヲ見ル委員ノ手ニ依リ整理セラレ哨兵ヲ以テ監視ス歐羅巴製ノ馬車二臺アリ一ハ一頭曳ニシテ一ハ二頭曳ナリ又上等ノ鐵製寢臺アリ隅棚アリ隅棚ハ漆塗ニシテ金卷繪ヲ施ス糧秣倉庫ハ其形跡ニ依リ消費シタル量ハ現在高ニ比シ頗ル僅少ナリ中ニ一棟山鹽ヲ貯フルヲ見ル衛生及獸醫材料並ニ豫備治療器械アリ多クハ破損ス土人ノ所爲ナランカ其繙帶包ノ如キハ頗ル良好ニシテ確カニ我國ノモノニ優ル乃チ其若干ヲ試用セシム

豫備靴具ハ悉ク頭鑽式ニシテ之ヲ袋ニ收メ其數一房ニ滿ツ

黃茶及赤大根ヲ壓搾シタルモノアリ此等モ我國ニ比シ進歩シタルモノニシテ罐詰ニハ豆「ソツブ」アリ大サ我小牛罐ニ等シ味佳ラス其調理ハ鹽ト水トヲ加ヘ煮沸シ汁トナスヘキモノトス

黒パンハ鐵葉罐ニ收メ之ヲ木箱ニ入ル酸味ヲ帶ヒ支那人モ之ヲ喜ハス

八、高麗門附近ノ景色ハ吾人ノ所謂一幅ノ山水歟鳳凰山ノ如キハ全山岩石屹立シテ一連ノ峯ヲ成シ松樹其間ニ交ハリ風光ノ絶佳ナル多ク見サル所ニシテ北方ニ進ムニ從ヒ此ノ如キ山水ヲ見ルコト珍シカラス

支那ノ山水

墓 棺

九、支那ノ墓ハ富士形ニシテ尖頭、其頂ニハ細キ棒ニ紙片ヲ附着シテ之ヲ立ツ又脚ニ長方形ノ石ヲ置ク是レ即チ墓碑ナリ支那人ハ棺ハ露天ニ置キ富裕ナルモノハ寺ノ後屋ニ納メ終ニ之ヲ埋ム否ナ埋ムニアラスシテ土壤以テ之ヲ蔽フ故ニ墓地ハ恰モ長持ノ行列ノ如シ而シテ棺ノ長側ハ一定ノ方向ニ向ク是レ方位ヲ撰フモノナラン棺ハ楊樹ヲ貴フ之ヲ用フルトキハ腐敗スルモ惡液外ニ漏レサルカ爲メナリ

土人ノ歡迎

十、鳳凰城ハ二十七八年戰役ニ於ケル我占領地ノ端末ニシテ我軍隊駐屯シタルコトアルヲ以テ安東縣ヨリ此地ニ至ル間土人ハ日本軍ヲ知ル故ニ婦女子モ出テ、敢テ恐レヌ又嚴命シテ婦人ノ室ヲ窺フカ如キコトナカラシム之カ爲メ土人ノ歡待優遇韓國ニ於ケルト全々趣キヲ異ニセリ

聯隊長含主ノ亡父ヲ知ル

十一、予ノ宿舍ノ前房(門側)ハ副將馬ノ公館(借家ノ官宅)ナリ妻及一子アリ一從卒之ヲ護ル小ナル二房子ノミニシテ狹隘不潔又聯隊長ノ言ニ依レハ宿舍ノ主人ハ商人ニシテ亡父ハ前役我兵站部ノ役人タリシコトアリト

露兵掠奪ヲ果タサス

十二、敵ノ鳳凰城附近ニアルヤ大ニ懷柔策ヲ採リ住民ノ甘言ヲ求メタルモノ、如シ然レトモ市内ハ悉ク宿舍ニ使用シ堂宇佛寺多クハ破壊シアリ此等ハ人民ノ怨ヲ求メタルモノアルヘク殊

駐屯部

ニ逃仕度ヲナスニ當リテハ財ヲ掠メ物ヲ奪ヒ之ヲ車ニ積ミ曳キ往カントセリ然レトモ之ヲ爭フ能スス伶俐ノ者即チ策ヲ案シ日軍來レリト連呼シテ虛報ヲ傳フ露兵身ヲ以テ逃ルト故ニ土人ノ策一ニ掠奪ヲ逞フセントセルノミニハアラサルカ如シ

十三、鳳凰城ニハ露兵久シク駐屯シ初メ貝加爾哥薩克「チ、ンスキー」第一聯隊本部及四中隊ト騎砲兵一中隊アリテ開戦後増加スルニ至レリ市ノ東部ニ器械體操場アルハ即チ駐屯部隊ノ爲メニ設ケタルモノナラン

清兵

十四、鳳凰城内ニ清ノ兵營アリ我師團司令部ノ進入ト共ニ之ヲ城外ニ移サシム人員約三百人恰モ人足ノ如キ觀アリ門前歩哨ヲ立ツルコト我ニ異ルナキモ奇異ノ狀寧口滑稽ト云フノ外ナシ然カモ揚々トシテ大ニ得色アリ特ニ我カ勝戦ヲ以テ其名譽ノ如ク考フ誠ニ奇怪ト謂ハサルヲ得ス

八、鳳凰城ノ滯陣（五月中旬ヨリ六月下旬ニ至ル）

各隊ノ第一ニ着手シタルハ宿營地ノ清潔ト雨期ヲ顧慮スル排水ノ設備ト陣地ノ防禦工事ナリ假使舎ヲ構設シタルハ上陸以來此時ヲ以テ初メトス

鳳凰城ノ平地ニハ南干河子アリ我玉川ノ如キモノニシテ馬匹ノ水飼及洗濯ハ皆ナ此河ニ於テ行フ

旅順方面

十一日第三回旅順閉塞ハ巡洋艦ト雖モ通過スル能ハサラシムルニ至リ去ル五日「アレキシーフ」及「キール」親王旅順ヲ去テ北方ニ赴キ我第二軍ノ一支隊ハ六日普蘭店ニ於テ鐵道及電信ノ破壊ヲナシタルノ情報アリ

安州ノ騒動

十二日安州襲撃ノ報アリ曰ク十一日朝ヨリ夕ニ亘リ哥薩克騎兵約五百安州ヲ襲ヒ我カ守備隊能ク之ヲ防キ敵ノ死傷六七十我カ死傷四五名ニ過キス敵ハ甚クシク電線ヲ破壊シ且ツ清川江ノ軍橋七八十米ヲ破壊シ十二日朝ニ至リ退却セリト是レ哥薩克ノ挺進シテ我後方連絡線ヲ擾亂セントシタルモノナルモ今ヤ第一軍ハ背後ニ安東縣ヲ有スルヲ以テ毫モ痛痒ヲ感セサルノミナラス敵ハ兵力ニ比シ極メカ僅カナル仕事ヲナシ得タルニ過キス又敵ノ此ノ如キ動作ヲナスヘキハ我ノ豫期スル所ニシテ安州ニ在リシ守備隊歩兵一小隊及兵站部員商人役夫ニ至ル迄苟モ日本人タルモノハ悉ク武器ヲ執テ防戦シ肅川ヨリ若干ノ増加隊ヲ得少弱ノ力能ク優勢ノ敵ヲ逃走セシメ意氣自ラ揚リ之カ爲メ却テ大ニ全軍ノ志氣ヲ鼓舞シタルヲ見ル聞ク所ニ依レハ第二軍ノ上陸ハ天候惡シキ爲メ頗ル遲緩スト又敵ハ遼陽ニ向ヒ兵ヲ輸送シ海城蓋平附近ニハ敵ノ一部隊アルヲ知ル十四日湯山城ニ於テ支那人ニ變裝セル露兵ヲ捕フ電信ノ屢々不通トナリタルハ此等ノ所爲ナルヘク中ニハ農夫ト共ニ耕作ニ從事シ其踪跡ヲ暗マストノ風説アリテ大ニ警戒ヲ加フ

日ノ長短

十八日土人ノ言ニ依レハ歩騎兵合シテ二千砲若干有スル一支隊ハ雪裡店ニ到着セリト予ハ學校ニ於ケル戰史講授ノ際「トラウテナウ」ノ戰鬪ニ當リ普國砲兵ハ午後八時過キ尙ホ射撃セリト云フヲ聞キ少シク異様ノ感ヲ抱キタルモ韓國北部及ヒ鳳凰城ノ今日ニ照合スルトキハ毫モ奇トスルニ足ラサルヲ知ルニ至レリ即チ昨今ニ於テ實行スル所ニ依レハ本部下士卒ノ各自炊爨ヲ始ムルハ午後七時半頃ニシテ予ノ食事ヲ始ムルハ八時過ナリ故ニ食後少シク談話スルトキハ忽チ十一時乃至十二時トナリ然カモ本邦ニ於ケル八九時ノ如キ感アリ然レトモ朝ハ目下尙ホ本邦ト大差ナク馬匹手入ノ如キハ毎朝六時稍々前ヨリ始ム

各自炊爨

中隊ノ如キハ業務ノ關係上到底各自ノ炊爨ヲ實行スル能ハサルモ飯盒ノ便ナルモノアルヲ以テ大隊聯隊本部ノ如キハ獨立シテ各自ノ炊爨ヲナセリ此等ハ滞在在中ニ在テハ恰モ一ノ樂トナリ其欲スル所ニ從ヒ同一ノ材料ヲ種々ニ調理シ兵卒ノ如キハ之カ爲メ工夫ヲ凝スヲ唯一ノ慰トナスニ至リ之ヲ傍觀スレハ恰モ兒童ノ遊戯ノ如ク嬉々トシテ羨沸ヲ待ツノ狀愛スヘシ

日本婦人ト露國將校

鳳凰城ニ日本婦人アリ哈爾濱附近ヨリ來テ酒保ヲ開キ露軍將校ヲ相手トナシタルモノニシテ其言フ所ニ依レハ同行六人ナリシモ露軍退却ノ際五人ハ馬車ニ載セ伴ヒ往キタリト又曰ク露ノ將校毎夜會飲談笑シ金錢ヲ惜マス一夜ニシテ百金ヲ投スルモノアリ故ニ少尉ト雖トモ五六百圓ヲ懐ニセ

學校

サルモノナシト此婦人ハ天草ノ産所謂世界ヲ濶歩シテ帝國ノ體面ヲ汚スモノニシテ其國ヲ忘レテ大ニ露人ヲ德トシ暗ニ我將校ヲ卑下ス惡ミテモ尙餘リアリト謂フヘク兵卒ニ日給ヲ與ヘサルコトアル露軍ニ在テハ將校ノ富ム又毫モ怪ムニ足ラス
聯隊段列ヨリ宿營地ノ一家屋內ニ腐敗セル屍體ヲ發見セルノ報ニ接シ衙門ニ通牒シテ之ヲ引キ取ラシム土人ノ言ニ依レハ其家族ハ去テ遠地ニ在リト察スルニ寺ニ送ルニ至ラサル間ニ戰起リ倉皇遁逃シタルモノナルヘク支那ノ俗死者ハ之ヲ其家ニ止メ人ヲ備ヒ家人ト共ニ日々哭泣シテ以テ哀悼ノ意ヲ表ス面シテ期滿ツルニアラサレハ之ヲ棺ニ收メテ葬式ヲ行ハス是レ此ノ如キ屍體ヲ發見セル所以ナルヘシ
我宿營地内聯隊本部ニ接シテ學校アリ我邦往時ノ寺子屋ノ如キモノニシテ多クノ幅軸ヲ有スト聞ク依テ一日之ヲ訪フ村夫子不在年配十八九才ノ少年先生ノ子ナリト稱シ開函シテ幅軸ヲ示ス或ハ孔子ノ像アリ或ハ阿彌陀ノ像アリ或ハ菩薩ノ如キアリテ其類頗ル多ク皆教授ノ用ニ供スルモノニシテ我邦ノ掛圖ニ同シ中ニ孔子ノ像儒服稍々信ニ近キモノアリ予之ヲ得ント欲シ書ヲ遺シテ價ヲ問フ先生歸還シ予ニ返信ヲ送ル曰ク孔聖之崇拜我喜奉送ト予即チ卷烟草一箱ニ罐詰若干ヲ購ヒ之ニ酬フ彼大ニ我ヲ德トス此像ハ今尙ホ之ヲ保存ス

二十一日近衛騎兵聯隊ハ沙里塞ニ達シ同地ニアリシ敵兵約三四百ハ大旬子方向ニ前進セシモ西方及南方ニ退却セリ

補助輸卒敵ノ將校下士ヲ捕フ

二十二日午後六時湯山城兵站司令官ヨリ「チ、ンスキー」第一聯隊第四中隊長及第二中隊ノ下士一ヲ護送シ來ル其報告ニ依レハ湯山城東南約七吉米突ノ山城子附近ニアリシ我補助輸卒敵ノ徘徊スルヲ認メ急迫之ヲ捕獲ス蓋シ我補助輸卒ハ此頃已ニ分捕銃ヲ以テ武装シ敵ノ徘徊スル風聞盛シナリシヲ以テ到ル所警戒怠リナク特ニ安州襲撃ニ際スル我勇壯ナル動作ハ大ニ志氣ヲ鼓舞シ隨テ此ノ如キ剛勇機敏ノ動作ヲナスニ至リタルナルヘク依テ軍司令官ハ感狀ヲ授ケテ之ヲ軍中ニ布告セリ捕虜將校ノ言ニ依レハ此斥候ハ沙里塞ヨリ出テタルモノニシテ聯隊ノ希望者ヲ以テ編組シ前進セルモ高麗門ニ至リ守備兵ノ射撃ヲ受ケ尋常ノ手段ヲ以テ進ムコト能ハサルヲ知リ一下士ヲ殘シ其他ノ人員及乘馬ヲ歸還セシメ徒歩前進シ多クハ晝間ニ於テ展望ニ依リ先ツ兵ナキヲ確メ徐々前進シタルモ途ニ捕ハル、ニ至レリ又九連城戰鬪ノ後其聯隊副官ハ安東縣ニ潛ミ九連城ニ往復シテ後聯隊ニ復歸セリ我軍ニ於テ若シ敵中ニ入り歸還スルトキハ最高ノ勳章ヲ授ケラル依テ此ノ如キ企圖ヲナスモノ少カラスト其言素ヨリ信スヘカラサルモ少壯血氣ノ將校ノ此ノ如キ企圖ヲナスハ怪ムニ足ラサルモ我カ輸卒ノ發見スル所トナリ無爲ニ捕虜トナリタルニ至リテハ吾人之ヲ疑ハサル

ヲ得ス而シテ我軍ノ警戒其後益々嚴トナレリ又近衛騎兵聯隊ハ連リニ大孤山及岫巖方面ヲ搜索シ岫巖方面ニハ「ウエルフチデンスキー」第一聯隊ノ第一第三第五中隊アルノミニシテ其主力ハ岫巖ニアルヲ確メタリ

二十三日午後六時第十師團ヨリ通報アリ曰ク師團ハ目下約半部ヲ以テ大孤山ヲ占領シ師團前面ノ敵ハ「ウエルフチデンスキー」聯隊ノ三中隊ニシテ其主力ハ岫巖附近ニアルモノ、如シト而シテ第十師團ハ五月十九日ヨリ上陸ヲ開始シ二十日上陸點ノ北方王家屯附近ニアリタル「ウエルフチ」聯隊ノ第三中隊ハ我歩兵ノ爲メニ包圍攻撃セラレ敵ノ將校ハ或ハ戰死或ハ捕虜トナリ該中隊ヲ潰滅ニ歸セシメ進シテ大孤山ヲ占領スルニ至レルモノトス

我各師團ノ前面ニハ近ク敵ノ小部隊徘徊スルノミニシテ大ナル敵兵ナシ

二十四日ノ情報ニ依レハ驪陽邊門ニハ目下敵兵千砲二門アリテ來襲ノ模様ナシ石頭城ニハ約四十騎アリテ我電線ヲ窺ヒ其後ノ報告ニ依レハ該地ニハ敵ノ騎兵約一千アリ賽馬集附近ノ敵ハ約三千アルコト眞ニ近シ

二十四日敵ハ驪陽邊門街道ヲ前進シ來リ第十二師團ノ前哨線外ニアリタル部隊ト所々ニ衝突セリ此敵ハ黃色ノ軍旗ニヲ有ス

敵ノ斥候ノ報告

近衛師團ノ前面汪家溝ニテ捕虜トセル敵ノ將校ハ報告ヲ所持セリ其報告左ノ如シ

「チ、ンスキー」聯隊長宛

「ゼノエ中尉」

百十

「ハ、リン」(大卡巴魯)峠ニハ防禦工事アリ其所ニ步兵塹壕及歩哨ヲ見ル然レトモ其峠ヲ占領スル兵數ヲ確實ニ知ルコト能ハス峠ヨリ東南ニ通スル各道路ニハ小哨アリ又各山上ニハ前哨アリ乘馬斥候ヲ以テ此以上前進セシムルコト能ハス故ニ徒歩ニテ進入センコトヲ試ミシモ近接スルコト能ハサリシ鳳凰城ヨリ東南部一帯ノ地域ニハ大部隊ノ運動スルモノナキヲ知ル唯タ「ハ、リン」峠ヨリ「タインザ」村(大營子)ニ向ヒタル歩兵一大隊山砲二中隊(註、山砲ノ出タルコトナシ恐クハ輜重車ヲ誤認セルナラン)ヨリ少カラサルモノヲ見タルノミ其後ノ運動ハ之ヲ見ルヲ得サリシ斥候ノ糧秣ハ極メテ困難ニシテ各村落ノモノハ取り盡サレタリ又藁ヲ得ルコト能ハス支那人ハ不安心ノ状態ニアリ我レニ販賣スルヲ嫌厭ス

二十四日朝師團ノ輜重兵大隊ハ其獨立下士哨ヲ北部小東溝ニ分遣スルヤ土人來テ後小東溝附近ニ露兵ノ潜伏シアルヲ報ス下士哨長乃チ之ヲ追躡シ南方約五百米ノ谷ニ乘馬ノ者二名アルヲ發見シ輸卒ヲ以テ包圍シツ、前進セシニ逃走セントシタルヲ以テ射撃シ先ツ將校ノ乘馬ヲ倒ス敵ハ周章手布ヲ振り降意ヲ表シタルヲ以テ遂ニ之ヲ捕ヒテ護送ス騎兵中尉及卒一即チ是ナリ

輜重ノ下士哨長ノ將校ヲ捕フ

斯クノ如ク多數ノ敵ノ將校斥候ハ師團ノ左側背ニ向テ動作スト雖トモ多クハ不成功ニ終ハリ特ニ後者ノ如キハ向背定リナキ土人ニ對スル警戒ヲ怠テ我手ニ落チ動作概シテ機敏ナラス且ツ多クハ容易ニ捕虜トナルヲ以テ當時ハ戰ヲ欲セス速ニ戰場ヲ去テ閑日月ヲ樂シマントスル希望ヨリ此ノ如ク自ラ來リ求ムルニハアラサルヤヲ疑ヒタルモ捕獲セラル、モノ多クハ同一轍ニ出ツルヲ以テ終ニ露人ノ技能自ラ然ラシムルモノアルヲ信スルニ至レリ我カ將校斥候ハ之ニ反シ常ニ優勢ナル敵ヲ難退シテ多クハ其目的ヲ達シツ、アリ

二十五日騎兵ノ報告ニ依レハ遼陽街道上土門子鞍部以南ニハ敵ナシ

戰利砲試驗

二十七日戰利砲中隊ノ試驗射撃ヲ城東約二千米ニアル西門家堡子附近ニ於テ施行セラル目標ハ約五千五百米ノ距離ニ設置シ約四十發發射シタルモ信管躲避多ク又距離近キ時ハ仰起甚クシキ爲メ不正トナリ効力少ナキヲ認メタリ唯タ我火砲ニ比シ射程ノ長大ナルヲ勝レリトスルノミ然レトモ露國ハ今ヤ之ヲ改良シ防楯ヲ附シ優良ナルモノヲ制定スルニ至レリ

輓具ハ單簡ニシテ鋼索ヲ用ヒ其太サハ我野砲輓索ノ太サノ四五倍ニシテ薄キ草條ヲ以テ釣リ上ケ其重量ハ直接馬脊ニ負ハシム然レトモ輕便ヲ主トスルニ止マリ之ヲ吾人ノ眼ヨリ見ル時ハ餘リ適良ト認ムルヲ得メ

騎兵ノ報告ニ依レハ師團ノ前面遼陽街道上樂家臺附近ニ敵約二十アリテ雪裡店西北缺葺子附近ニハ敵ナシ遼陽ヨリ來リタル土人ノ言ニ依レハ黃家店ニ步騎兵五百其西方三家子ニ步兵三千分水峯ニハ步兵二千現在セリト

二十八日通報ニ依リ第二軍ハ二十六日金州附近ノ敵ヲ攻撃シテ同陣地ヲ占領シ其敵ヲ旅順方向ニ壓迫セルヲ知ル

軍司令部ニ音樂隊一隊ヲ屬セラル

近衛師團ヨリ高麗門西南約二里ニアル代家堡子ニ出シタル歩兵ハ同地ニ於テ敵ノ少尉以下八名ヲ捕フ此少尉ハ龍騎兵第二聯隊ニ屬シ第十二師團ノ右側(東方)ヲ通過シ代家堡子(高麗門ヨリ龍王廟ニ通スル道路上ニ在リ)ニ出テタルモノナリ

滯陣長キニ至レル結果我線内ニ於テハ物資缺乏シ隨テ之ヲ警戒線外ニ求メサルヘカラサルニ至リ殊ニ秣代用品ノ如キ各部隊間ニ爭ヲ生シタルコトアリ是ニ於テカ徵發部隊ヲ線外ニ派遣シ附近ノ物資ヲ集收スルニ至レリ今其一例ヲ舉クレム左ノ如シ

二十八日師團ハ秣代用品ノ集收ヲ目的トシ師團大行李長ノ指揮ヲ以テ二方面ニ徵發隊ヲ出ス一ハ白菜地東北約一里附近ニシテ師團旅團司令部在鳳凰城ノ歩砲兵衛生隊ノ大小行李馱馬ヲ一團トナ

警戒線外ノ物資ヲ集收ス

南山攻撃ノ状況

シ一ハ白菜地ニシテ野戰病院ノ車輛ヲ一團トシ歩兵一中隊ノ掩護ト前哨部隊ノ援助トニ依ラシム此等ノ地點ハ豫メ偵察シ置キタルモノトス

三十日第二軍ノ通報ニ依リ其戰團ノ狀況ヲ詳ニスルヲ得タリ其概要左ノ如シ

軍ハ豫定ノ如ク二十五日ヲ以テ攻撃準備ヲ終ハリ夜半ヨリ運動ヲ起シ金州南山ニ向テ前進ス此夜迅雷風雨咫尺ヲ辨セス運動頗ル困難ナリ同時一部隊ヲ以テ金州城ヲ攻略セシム

二十六日午前五時三十分全砲兵ハ南山ニ向テ砲撃ヲ開始シ同六時頃ヨリ我艦隊十四隻ハ金州灣ヨリ此砲撃ヲ援助セリ敵ハ全備砲ヲ以テ之ニ應戰シ茲ニ激烈ナル砲戰ヲ交ヘ約三時間ノ後南方ノ敵火大ニ減衰セリ是ニ於テ我歩兵ハ前進ヲ起シ一進一止シ敵ノ砲火ヲ冒シテ敵ノ第一線ヲ距ル約三百乃至五百五十米ノ地ニ達セリ

午前十一時敵ノ露天砲ハ我猛烈ナル砲火ニ依リ悉ク沈黙セシモ速射野砲二中隊ハ疾ク退却シテ南關嶺ノ高地ニ據リ終局ニ至ル迄我ヲ射撃セリ午前十時頃敵ノ砲艦一隻和尚島砲臺東方ニ來リ午後二時頃我左側背ヲ砲撃シ且小蒸滾艇五隻ニ搭載セル陸戰隊ヲ紅土崖附近ニ上陸セシメントセシモ我一部之ニ向ヒシヲ以テ遂ニ歸還セリ又南山南方大房身ニアル敵ノ九珊知砲四門ハ午後七時迄砲撃ヲ繼續セリ

敵ノ占領セル南山ノ陣地ハ峻峻ナル高地線ニ半永久築城ヲ施シ大小砲約七十門機關砲八門ヲ備ヒ連續圍繞セル數層ノ堡壘線ニハ銃眼ヲ穿テタル掩蔽部ヲ造リ其前方ニハ數多ノ地雷鐵條網ヲ設ケ且此間隔ヲ補フニ機關砲ヲ以テセリ之ニ對スル我砲兵ハ全力ヲ擧ケテ之カ破壞ニ努力シ又屢々陣地ヲ變換シテ敵ニ近接シ以テ歩兵ノ前進ニ勢力ヲ與ヘタルモ敵歩兵ノ抵抗ハ頗ル頑強ニシテ午後五時ニ至ル

此時我歩兵ノ爲メ未タ突撃ノ進路ヲ開クニ至ラス又左翼ハ敵ノ包圍ヲ受クルノミナラス敵ハ漸次其歩兵ヲ増加シ且ツ南關嶺ニ在ル敵ノ砲兵ニ中隊ハ此攻撃ヲ援助シ益々肉迫シ來ル而シテ彈藥ノ關係永ク戰鬪ヲ繼續スルハ不利ナルヲ以テ斷然歩兵ヲシテ損害ヲ顧ミス強襲ヲ行ハシメ砲兵ヲシテ全力ヲ盡シテ敵ヲ猛射セシメタリ是ニ於テ我中央師團ノ歩兵ハ意氣衝天ノ勇ヲ鼓シテ敵陣地ニ向テ突撃シタルモ敵ノ猛烈ナル緩射ト速射トニ依リ死傷續出シテ前進ヲ繼續スルヲ得ス頗ル苦戰ニ陥リタリ恰モ良シ此時金州灣ニ在ル我艦隊ハ敵線ノ左翼ニ向ヒ更ニ猛火ヲ開キ我カ砲兵ニ協力シテ敵火ノ撲滅ヲ努メ右翼師團ハ此機ニ乘シ全力ヲ擧ケテ敵ノ左翼ニ迫リ先ツ高地線ニ進ム是ニ於テ全線協力勇憤突入シ累々タル死屍ヲ越ヘテ敵壘ニ肉迫シ劍尖相接スルニ至ル迄激戰シ遂ニ南山ヲ攻略シテ各堡壘上ニ國旗ヲ翻セリ時ニ午後七時過ナリ

嗚呼敵ノ以テ旅順ノ運命ヲ托スルニ足ルト信シタル南山ノ陣地ハ僅カニ一日ニシテ我軍ノ攻略スル所トナリ我軍ハ今ヤ旅順ノ咽喉ヲ扼スルニ至ル此報ノ傳ハルヤ我カ各隊ハ戰況ヲ説テ以テ小成ニ安セス將サニ起ルヘキ戰鬪ニ於テハ第二軍以上ノ功績ヲ顯ハサルヘカヲサルヲ論シ志氣揚ルコト一段隨テ我前面ノ敵ノ退守爲ス所ナキヲ遺憾トシ速ニ前進ノ時機ノ到來センコトヲ祈リ相會スル毎ニ切齒扼腕意氣既ニ遼陽ヲ壓スルノ慨アリ我軍ノ狀況夫レ斯ノ如シ是レ勇烈向フ所ナキヲ致セル所以ナリ

恰モ自ラ投降ヲ求ムルカ如キ敵ノ諸斥候ノ捕虜トナルモノ多キニ從ヒ漸次敵ノ狀況支隊ノ兵力編組ヲ詳ニスルヲ得タリ彼ノ捕ハル、ヤ軍ノ秘密ヲ編シテ以テ其一身ノ安全ヲ保護セントス此ノ如キ斥候ハ最モ危險ニシテ我軍ノ兵卒ノ尙ホ頑トシテ默シ糾命ニ應セサルトハ全ク其趣キヲ異ニス事密ヲ以テ成リ語漏ヲ以テ敗ル我軍ニ於テハ兵卒ニ至ル迄自然ニ兵法ヲ解ス我ニシテ勝タスンハ誰カ能ク勝ツコトヲ得ン

捕虜ノ旨
我軍總ヲ兵
法ヲ知ル

此頃ヨリ奉天遼陽ノ狀況ヲ知ルコトヲ得其防禦設備ノ如キモ漸次確實ナルニ至レリ

六月二日賽馬集附近ニハ敵ナシ同地官吏ノ言ニ依レハ五月二十四日以來同地ニアリシ敵ノ騎兵約一万騎砲六門ト饒陽邊門ヨリ退却シタル敵騎ハ共ニ直山館ノ東方西分水嶺附近ニ退却シ目下其主

敵茶褐色ヲ用ユ

力ハ該地附近ニ停止シアルモノ、如シ
獨乙電報ニ依レハ露國ハ出征部隊ノ夏衣略帽天幕ヲ茶褐色ニ改メタリト
五日第十五旅團ハ道路修理掩護ノ爲メ歩兵一小隊騎兵八名ヲ派遣シ此騎兵ハ單家堡子方向ニ在テ
警戒セリ午後二時稍々過キ敵ノ騎兵六名土門子方向ヨリ前進シ我カ騎兵ノ前方ニ二百米突ニ達シタ
ルヲ以テ突然之ニ對シ射撃ヲ開始シタルニ倉皇退却セリ此敵ハ茶褐色ノ帽及衣袴ヲ着シ又其隊形
ハ從來ト異ル是レ即チ歐露遠來ノ珍客ナルヘシ六日脚氣豫防ノ爲メ始テ重燒麩麵ヲ支給ス

支隊ノ前進

此日軍ノ命令ニ供リ各師團ハ數多ノ支隊ヲ進メ道路及敵狀ノ偵察ヲナシ兩翼ニ出テタル支隊ハ賽
馬集及沙里塞附近ヲ占領セリ而シテ遼陽街道ヲ前進セル師團ノ一支隊ハ林家臺附近ニ於テ步兵約
六中隊騎兵約三百ノ敵ニ遭遇シ二時間戰鬪ノ後銃劍ヲ揮テ突撃シ敵ハ多クノ損害ヲ蒙リ通遠堡方
向ニ退却セリ八日此支隊ヨリ左ノ報告アリ

本日林家臺北方約二千米ノ「コンジャークザ」附近ニ於テ敵兵ヲ捕獲セリ其言ニ依レハ狙撃歩兵
第十一聯隊第六中隊ニ屬スルモノニシテ通遠堡ニハ歩兵四中隊砲兵ナク草河口ニハ狙撃歩兵第
九第十聯隊第十一聯隊ノ四中隊及第十二聯隊アリ
是ニ於テ師團前方ノ狀況ハ稍々確實トナレリ

敵ノ通報

重燒麩麵ハ其量少ク爲メニ兵卒ノ苦情ヲ唱フルモノ多キ爲メ九日途ニ其支恰ヲ中止スルニ至レル
モ冬季及夏季ノ行進間糞食用トシテ最モ適當ナルモノト認ム故ニ量少ク空腹ヲ感スルトキハ若干
米ヲ増給セハ可ナリトスル意見ヲ提出セルモ揚陸ノ際濕潤セルモノアリ其處分ヲ要スル等支給ヲ
續クル能ハサル爲メ途ニ中止スルニ至レルハ止ムヲ得サルコトナリトス

第十二師團ノ得タル捕虜ノ言ニ依レハ連山關ニハ狙撃歩兵第二十聯隊アリト云フ
林家臺ニアル支隊長ノ得タル書簡中ニ左ノ通報アリ

通遠堡ノ狙撃歩兵第二十二聯隊ノ大隊長宛

「コンジャブザムサ」ニテ第二哥薩克聯隊長「ザグルジエヌスキ」ヨリ

敵ハ前方部隊約二中隊ヲ以テ林家臺ヨリ前進ヲ始メ優勢ナル軍隊ノ來襲ニ依リ予ハ歩兵部隊
(七中隊)ニ向テ退却ヲ始ム該部隊ハ攻撃ニ轉センカ爲メ予ノ指揮下ニ任セラレタルモノナリ
是レ七日ノ戰鬪ニ關スルモノニシテ之ヲ傳達スル騎兵ノ落失セルナルヘク此等ノ書類ハ敵狀ヲ確
ムル唯一ノ材料トナルヲ以テ其傳達ニ際シテ取扱ヲ慎重スヘキハ勿論捕虜トナルノ止ムヲ得サル
場合ニ臨ンテハ必ス之ヲ滅却セシメサルヘカラス

八日近衛師團ノ一支隊ハ第十師團ノ一支隊ヲ援助シ大虎嶺附近ニ於テ騎兵約四千砲六門ヨリ成ル

敵ヲ攻撃シ岫巖ヲ占領セリ而シテ敵ハ蓋平方面ニ退却セリ

九日通遠堡附近ノ敵ハ増加セルモノ、如クナリシモ我將校斥候ハ午前通遠堡ニ進入シタルモ敵ヲ見スシテ同地西北方高地ニ監視兵アルノミナルコトヲ確ムルヲ得タリ

征露丸

十日初メテ征露丸ヲ支給シ傳染病豫防ノ爲メ一般ニ使用セシム此藥劑ハ久シク我陸軍ニ於テ試驗シ其有効ナルヲ確メ遂ニ軍用トナスニ至リタルモノニシテ今日ニ至テハ市中ノ藥店糖衣「ケレオソート」ナルモノヲ販賣スルヲ見ル

此日第二軍正面及柘木城分水嶺附近ノ敵狀ヲ詳細ニ知ルコトヲ得タリ又敵ノ鐵道輸送部隊ハ海城及大石橋ニ下車シ海城ニアリシ歩砲兵ハ七日午前大石橋ニ向テ出發シ狙撃步兵二聯隊砲兵二中隊ハ去ル一日遼陽ノ東南方ニアル湯河沿ヲ鳳凰城方向ニ前進スルヲ知ル

十一日賽馬集方向ニテ捕虜二名ヲ得其一人大尉ニシテ其言フ處ニ依レハ二度鳳凰城附近ニ潜行シ遼陽街道ヲ經テ海城街道ニ出テ歸還セリ兵四名ヲ隨ヒ多クハ早朝及夜間行進シ時トシテハ夜間十米位ヲ隔テ、日本兵ニ遭遇シタルコトアルモ認メラレス兵卒ハ之ヲ殺サントシタルモ我之ヲ制止セリト其有スル所ノ手帳ニ砲廠ノ位置ヲ記載スルヲ見ル其言信スヘキカ如シ我兵ヲ殺サントセルヲ制止シタリト云フカ如キハ斥候ノ動作トシテハ適切ニシテ此ノ如キ注意ハ畢竟其成功セル所

我兵ノ剛氣

以ナリトス深ク敵線ニ侵入セル場合ニ於テ一二ノ兵ヲ殺スカ如キハ毫モ利ナキノミナラス反テ發覺ノ基トナルニ過キヌ故ニ材料ヲ得ル爲メ其地ヲ去ルニ臨ンテ單獨兵ヲ狙フハ可ナリト雖モ未ダ充分ニ目的ヲ達セス尙ホ敵中ニ彷徨スル間ニ在テハ最モ戒メサルヘカラサルコトトス

敵ノ警戒線内ニ潜入スルハ最モ困難ナリト雖モ其線内ニ入りタル後ハ警戒自ラ粗ナルヲ以テ注意周到ニシテ慎重ナルトキハ目的ヲ達スル敢テ困難ニアラス是レ我將校斥候ノ大企圖ノ騎行ヲ遂行スルニ至レル所以ナリ故ニ側翼ヲ迂回シテ背後ニ出ツルトキハ接觸ヲ保チツ、アル敵狀ヲ偵察スルニ比シ寧ロ容易ナリト謂ハサルヲ得ス我斥候ノ動作ニ關シテ後ニ範例ヲ擧ケン

十三日我師團ノ騎兵敵ノ見習士官ヲ捕ヒ先キニ四門子方向ニ出テタル支隊ニ屬セシ騎卒ノ行衛不明トナリタルモノ、所在ヲ知ルニ至レリ該見習士官ノ陳述セル所ニ依レハ該兵卒ハ捕虜トナリタル際頭部ニ負傷シアリタルヲ以テ之ヲ縛帶シタルニ怒テ之ヲ取り地ニ擲ツ乃チ止ムヲ得ス手ヲ縛シテ再ヒ縛帶セントスルヤ突如軍醫ニ噛ミ付キ如何トモスル能ハス其夜終ニ死セリト嗚呼其剛氣感嘆ノ外ナシ之ヲ彼レノ無爲捕虜トナルモノニ比スレハ果シテ如何

見習士官曰ク露軍ノ規定極東ニ來ルモノハ二ヶ月ニシテ任官スルコトヲ得故ニ希望シテ來レリト彼レ今ヤ捕虜トナリ任官モ一夜ノ夢ト化ス憐ムヘシ

果候ト胃腸

十六日夏服ヲ着用セシム但シ寢ニ就クトキハ冬衣袴ヲ着用セシメ衛兵等ノ勤務者午前八時ヨリ之ヲ着用スヘキヲ規定ス昨今ノ日中ハ頗ル暑キモ夜間ハ氣温低下シテ冷氣ヲ感スルコト甚タシク若シ保温ノ注意ヲ怠ルトキハ忽チ胃腸病ニ罹ルノ恐アリ滞陣中發生セル患者ノ多クハ胃腸病ニシテ近衛師團ノ如キハ早クヨリ赤痢患者ヲ發生シタルモ我師團ニ在テハ幸ニ其發生頗ル遅ク又其數モ多キニ至ラサリシハ全ク注意ノ然ラシメタルニ依ルモノト信ス

馬ノ痲痛

上陸以來勞役ノ激甚ナリシ爲メ馬匹ノ保護ニ就テハ全力ヲ注キ鴨綠江附近ノ戰團後鳳凰城ニ進入スル迄ハ幸ニ斃馬少ク成績頗ル良好ナリシモ滞陣ニ及シテ漸次斃馬ヲ出スニ至レリ而シテ多クハ痲痛ナリトス或ハ高粱稈ノ變敗セルモノ、消化器ヲ侵害スルカ或ハ水分不足ノ爲メナルヤ等ニ就テハ苦心研究シタルモ其原因ヲ詳カニスルヲ得ス有ラユル方法手段ヲ盡シ效果ヲ收ムル能ハスシテ止ミタリ故ニ氣候ノ關係モ又少ナカラサリシナルヘシ

補充人馬

人員ハ乘船當時ヨリ馬匹ハ上陸以來漸次缺損ヲ來シタルハ再三之ヲ記セリ而シテ補充ノ人馬ハ鳳凰城ニ於テ初メテ到着シ部隊ハ再ヒ完全ノモノトナレリ

發展ノ期近

十六日ハ是レ得利寺ノ勝報ノ到着セル日ナリ今ヤ我軍ハ各方面歩調ヲ一ニシテ遼陽ニ向フノ時機ニ達シ發展近キニアリト期セラル

服ハ大ナルヲ要ス

下士以下ノ夏服ハ大ナルヲ準備シ置キタルモ茶褐色ニ染メテ送附シ來レルヲ以テ窮屈ニシテ着用セシムル能ハス悉ク之ヲ修理セリ故ニ夏服ノ如キ屢々洗濯ヲ要スルモノハ大ニ失スルヲ標準トシテ準備スルニアラサレハ實用ニ適セス將校ノ夏服モ亦同様ナリ

腹巻

十九日前進ニ際シテハ冬襦袢袴下各一ヲ携帶スルヲ命令セリ是レ尙ホ夜間ヲ願慮シタレハナリ又特ニ「ネル」製腹巻ヲ支給セラル

馬ノ珍珠

此日及翌二十日ノ兩日馬一頭ニ付五百目ノ藥ヲ支給セラレ是レ馬匹ノ爲メニハ近來稀ナル珍珠ナリトス何トナレハ韓國ヲ離レテ以來全ク藥ヲ得ルコト能ハス偶々俵吠ノ不用トナリタルモノヲ解キ藥ノ如ク之ヲ分與シ馬ハ非常ニ之ヲ喜ヒ吾人ノ美酒佳肴ニ於ケルト同様ノ狀況ニアリタレハナリ而シテ今回ノ藥ハ乘馬隊ノ發議ニ依リ韓國ヨリ取寄セタルモノトス

蚊防具ハ蠅除ク

二十一日帽ノ垂布及蚊防覆面ヲ支給セラル垂布ノ効用ハ多言ヲ要セスト雖トモ蚊防具ハ主トシテ防蠅具トシテ効用ヲナシタリ是レ吾人ハ蚊ノ爲メニ苦ミタルコト少ナキモ蠅ノ爲メニハ非常ニ困難シ殆ント十二月ノ初メニ至ル迄連續シタレハナリ其事實ハ狀況ノ進ムニ從ヒ漸次明亮トナラン

餘談

一、夜間高聲ニ呼ハリ鐘ヲ叩クモノアリ怪シテ之ヲ調査スレハ土民ノ警戒ニシテ本邦ノ火ノ番

餘談

火ノ番

土人ノ勤勉

土人ノ雨具

市ヲ散ク

ニ同シ其聲市ノ内外ニ徹シ頗ル鍛練セルモノ、如ク覺ヘタリ

二、土人ハ勤勉ニシテ時間ヲ空費セス殊ニ農夫ハ日出前ヨリ夜ニ入ル迄耕作ニ從事ス故ニ新鮮ナル野菜ノ如キハ能ク軍隊ノ需用ニ應シ滞在中一日モ不足ヲ感シタルコトナシ

三、土人ハ韓人ト異ナリ雨具ヲ有シ雨天ト雖モ其業ヲ休止セス其雨傘ハ略ホ本邦ノモノニ同シ

四、師團進入後衙門ニ命シ城外ニ市場ヲ開設セシメ購買ニ便ス土人四方ヨリ集マリ物資ノ供給ヲ絶タス予嘗テ岩手縣ノ山間ヲ旅行シ往昔ノ市ナルモノヲ見ル市日ハ一定ニシテ毎月數回之ヲ行ヒ遠近ノモノ各其有スル物品ヲ携ヘテ相集アリ互ニ交換買賣ス今此狀況ヲ見ルニ及ンテ當時ヲ回想シ相似タルヨリ察スルニ我國ノ風俗クハ支那ヨリ傳播セルモノ、如ク感シタリ而シテ彼我共ニ飲食物ヲ商フモノ多キハ恰モ東京ノ縁日ノ如シ

土人ノ洋品店

五、通譯ヲシテ土人ノ商店ヲ取調ヘシム是レ修理材料ノ麻等ヲ得ンカ爲メナリ幸ニ麻ヲ有スル

モノアリ購フテ各中隊ニ分配ス此時偶然大ナル洋品店ヲ發見ス乃チ試ミニ聯隊長ト共ニ通譯ヲ隨ヒ之ヲ訪ヒ種々ノ物品ヲ求メテ歸ル店主ノ語ル所ニ依レハ旅順安東縣ニ支店ヲ有シ多ク露人ヲ客トス露人ノ風風城ヲ退却セントスルヤ闖入掠奪シ約八千圓ノ損失ヲ來セリ目下有スル所ノモノハ當時地中ニ埋メ幸ニ難ヲ免レタルモノナリト其店員能ク露語ヲ解スルモノアリ

蠅ニ苦メラ

又一般ニ露語ヲ解スル如ク見受タリ此時求メタル品中最モ効用アリシハ毛布及淡紅紗ニシテ

毛布ハ防寒ノ爲メ紗ハ蠅除ケノ爲メ大ナル便ヲ與ヘタリ

六、鳳凰城滯陣間親シク支那ノ蠅ノ如何ナルモノナルカヲ經驗セリ季節漸ク暑ニ向ヒタルヲ以テ蠅頓ミニ増加シ之カ爲メ苦メラレタルコト甚クシク此ヨリ前進スルニ從ヒ奇談少ナカラス故ニ蠅ノ多キコトノ意想外ナルヲ記憶スヘシ

南京虫

七、南京虫ノ侵害ハ鎮南浦上陸當日ヨリ之ヲ蒙リ多少困難シタルモ尙鳳凰城ニ至ル迄ハ甚クシカラス又此虫害ハ漸次慣ル、ニ從ヒ最初ノ如ク甚クシク感セサルノミナラス又豫防法ヲ工夫シ之ヲ免ル、コトヲ得即チ特效アルハ新聞紙ニシテ之ヲ以テ床トナク壁トナク身體ニ接スル部分ハ之ヲ張り若クハ之ヲ敷クニアリ其新シキモノハ石油ノ臭消失セサルヲ以テ特效アリ其臭氣消失スルニ至レハ漸次効用ヲ失フ故ニ敷キ換フルカ若シクハ床ノ端ニ紙片ヲ抽出シ置キ虫ノ糞登ヲ困難ナラシムレハ頗ル妙ナリ故ニ其苦ミハ却テ蠅ノ如ク甚クシカラス又南京虫ハ所ニ依リ家屋ニ從ヒ其多少ヲ異ニス其景況ハ讀ムニ從ヒ詳カトナラン

附近ノ風俗

八、鳳凰城ノ周圍吾人ノ眼ヲ喜ハシムルニ足ルノ風趣少ナカラス予ハ毎日必ス一回馬ヲ驅テ逍遙シ綠蔭涼風ヲ迎ヒ各隊ノ演習ヲ見學スルヲ一ノ課業トセリ演習部隊モ亦休止ニ當リテハ此

快ヲ棄テス從軍ノ外國新聞記者ノ如キハ山ニ倚リ河ニ臨ミ景色佳ナル所ニ幕營シ以テ樂ミトナセリ

清語ノ練習

九、鳳凰城滯陣間ニ於テハ人馬ノ訓練ニ努メタルハ勿論ニシテ又清語ノ練習ヲナサシメタリ乃チ通譯ヲシテ其效授ヲ擔任セシメ大隊長以下出席毎日之ヲ實施シ爾後ノ爲メ準備シ土人ニ接スルコト多キヲ以テ其練習ニ便益ヲ與ヘタリ

花剛石多シ

十、滿洲ニ入り路傍大ナル石碑ヲ見ルニ至レリ多クハ花剛石ノ類ヲ用フ又曰ノ如キモ花剛石ヲ以テ造ル産出多キニ依ルナルヘシ

關羽ノ像

十一、關羽ハ支那ニ在テハ大ニ尊崇セラレ門前戸口ノ嫌ナク其像ヲ塗布ス彩色ヲ用ヒタル畫ニシテ我兒童ノ最モ喜フカ如キモノ而シテ土人ハ之ヲ以テ火災盜難除ト稱ス隨テ堂宇多クハ關帝廟トス我カ臺灣ニ在テモ亦然リ

支那ノ美術

十二、支那ニハ印度直傳ノ美術多シ故ニ彫刻物ノ見ルヘキモノ頗ル多ク堂宇佛寺ノ建築ノ如キ其細部ノ彫刻ノ如キハ眼ヲ驚カスモノ少シトセス

十三、本邦ノ城廓ハ確カニ支那流ノ變化進歩セルモノナリ隨テ其形式酷似ス唯ク彼ニ在テハ地形ヲ利用スルコトナク平地ニ築キ又周圍ヲ屈折セスシテ直線トナシ石ヲ用ヘスシテ煉瓦ヲ用

義ヲ重ンシテ捕ハル

ユルヲ異ナリトス

十四、近衛師團輸卒ノ爲メニ捕ヒラレタル捕虜將校ニ問フニ何カ故ニ輸卒ノ如キモノニ捕ハレタルヤヲ以テス曰ク兵種ノ何タルハ予之ヲ知ル能ハサルモ赤手我ニ向フ予亦モ堂々タル軍人ナリ武器ヲ以テ之ニ抗スルヲ潔シトセス依テ唯々縛ニ就ケルナリト露人ハ其本分ヲ棄テ、獨リ義ヲ重ンス奇怪此ヨリ大ナルハナシ予ノ彼ヲ疑フ所以ハ即チ之カ爲メナリ

南蠻馬ノ衆御

十五、師團ノ鳳凰城ニ進入スルヤ憲兵附近ノ部落ヲ搜索ス是レ土民ノ露軍ノ兵器被服等ノ隱匿スルヲ探知センカ爲ナリ此時裝鞍セル露軍馬ヲ發見ス骨格逞シク大ニ用フルニ足ル當時聯隊長ノ副馬缺ケタルヲ以テ予乃チ乞フテ聯隊長ノ副馬トナサントシ牽テ歸ル惡癖アリ人ノ觸擦ヲ嫌フ又狂奔スルヲアリ予之ヲ調教シタルモ露軍ニ在テハ鞭ヲ以テ御シ脚及韁ノ扶助ヲ用ヒス故ニ到底短時日ニ之ヲ矯正スルヲ難ク單ニ予ノ野外散策ノ用ニ供シタルノミニシテ交換シテ

戦死者ノ祭

本部大行李ニ編入シ後途ニ聯隊段列ニ移ス短縮セル駈馳ヲ連續スル習慣アリテ速馳ニ熟セス十六、鳳凰城ニ到着スルヤ聯隊ハ戦死者ノ葬式ヲ行ヒ從軍僧ヲ請シテ改名ヲ附シ遺骨ヲ補充隊ニ送附ス此時宿營地内ニアリタル佛寺ニ於テ其式ヲ營ミ清國ノ僧侶ヲシテ式場ノ準備ヲ擔任セシメ式ニ列シテ讀經ニ參カラシム其式場ノ設備裝置ノ如キハ殆ント本邦ノモノニ同シ後軍

一般ノ祭祀ヲ舉行セラレタリ

九、鳳凰城ヨリ前進シテ摩天嶺ヲ占領ス（六月下旬）

前進ニ就ク

六月二十二日師團ハ先頭部隊ヲ以テ鳳凰城ヲ出發セリ我前面ノ敵ハ草河口西北約一里遼陽街道上ニアル分水嶺附近ニ據ルモノ、如シ故ニ師團ハ先ツ之ヲ攻撃センカ爲メ乾草店（通遠堡ノ北ニアリ）ニ向ヒ行進ヲ容易ナラシムル爲メ逐次前進ニ就ク炎熱強烈加フルニ行路ノ難アリ然レトモ今ヤ我軍隊ハ敵ヲ求メテ前進スルヲ以テ意氣旺盛肅々トシテ北ニ向フ此日出發セルモノハ即チ師團ノ一部ニシテ砲兵一中隊之ニ屬ス

二十四日師團ノ主力ハ續テ前進ニ就キ砲兵モ亦此日出發雪裡店南方小部落二道溝ニ村落露營ス近衛砲兵ノ一部後尾ニ續行セリ此附近ヨリハ部落少ク住民稀薄ニシテ殆ント宿營ニ窮シタルモ軍隊ハ今ヤ狹縮ナル村落露營ニ慣レ露營ノ設備ノ如キハ頗ル巧ミトナリ携帶天幕ヲ利用シテ能ク雨露ヲ凌クヲ以テ宿營ニハ大ナル困難ヲ感セス

二十五日ノ前進ニ當リ雪裡店北方坂路ヲ通過スルニ際シ著シク時間ヲ費ヤシタリ此坂路ハ長サ約五六百米ニ過キス其傾斜モ亦野砲ノ困難トスル者ノニアラサルモ屈曲甚タシキ部分アルト土質石灰ニシテ踏ムニ隨ヒ上層崩解シ馬蹄滑走シテ曳輓困難トナリ歩兵一大隊ノ援助ニ依リ午前十一時

三十分ニ至リ聯隊漸ク通過ス即チ一中隊平均一時間強ヲ費セリ

午後一時聯隊ハ悉ク草河口右岸ノ渡過點ニ開進シ大休止ヲ行フ此時前衛ニ屬シタル砲兵中隊ハ北方坂路ニ苦ミツ、アリ此附近ハ露軍ノ修理セル所ナルモ硬キ石灰岩ヲ碎キ修理頗ル困難ナリシカ如ク岩片碌々トシテ滑走殊ニ甚タシク加フルニ屈曲多ク車輛ノ通過極メテ困難ナリ坂ノ頂點ハ河岸ヨリ約百米ヲ上ラス其北方降坂ハ登リニ比スレハ修理モ完全ニシテ通過容易ナルヲ見ル思フニ修理ハ半途ニシテ中止シ南方ハ途ニ終了スルニ至ラサリシモノナラン此ノ如クナルヲ以テ本隊砲兵ノ先頭豫定宿營地タル「コンヂャブーザ」ニ到着シタルハ午後八時半ニシテ聯隊段列ノ到着ハ午後十一時ニ至レリ隨テ近衛砲兵ハ僅カニ其四門ヲ通過セシメタルノミニ止マリ終ニ南麓ニ露營シ翌日ニ至リ土門子附近ヨリ左折シテ西方ニ進ミ其師團ニ復歸セリ

二十六日通遠堡ヲ過ク大部隊ノ露營セル跟跡アリ又村端ニ多クノ薪ヲシキ露兵ノ墓ヲ見ル而シテ師團ハ敵ニ遭遇スルコトナク乾草店ニ到着シ二十九日迄此附近ニ駐止シ二十九日聯隊ハ其北方約一里ニアル「チジャブーザ」ニ移轉セリ乾草店ハ民家少キ爲メ全部露營シタルモ炊爨ハ部落ノ井戸ヲ利用シ一部ノ隊ハ止ムヲ得ス河水ヲ使用セリ

「チジャブーザ」ニ轉宿セル夕偶々露兵ノ徘徊スルヲ認メ之ヲ谷間ニ包圍シテ捕獲ス露兵三名ナリ

捕獲ノ事同

此時予ハ親シク露兵ヲ尋問スルノ機會ヲ得聯隊本部ニ引致シテ尋問ヲ行フ兵卒ノミニシテ充分ニ要領ヲ得ル能ハサリシモ其言ヲ綜合スレハ三名ハ本道監視ノ爲メ遠ク乾草店ヲ展望シ得ヘキ「チヅヤブーサ」北方ノ山上ニ配置セラレ別命アル迄其位置ニ止ルコトヲ指示セラレ數日以來山上ニ在リタルモ其間日本兵ハ北方ニ前進シ此附近又其宿營スル所トナリ進退谷マリ餓渴堪フヘカラサルニ至レルヲ以テ潛カニ人家ニ入り食ヲ求メントシ發見セラレタリト其指示スル高地ハ展望ノ爲メニハ實ニ良好ニシテ乾草店附近ヨリ以北ハ全ク之ヲ瞰制シ監視ニ便ナルヲ以テ哨兵ヲ配置シタルモノナルヘク我前進ニ際シ隊長ハ之ニ退却ヲ命スルヲ忘却シ兵卒又日中假眠シテ之ヲ知ラス途ニ如何トモスル能ハサルニ至リシナルヘシ彼等ハ服ヲ着用セス襦衣ヲ纏フノミ試ミニ重燒パント湯トヲ與フ雀籠之ヲ飲食シ大椀ヲ傾クルコト五杯ニ及フ眞ニ飢渴ニ迫リタルモノト認メラル烟草ヲ欲スルカヲ問フ一人ハ辭シ二人ハ之ヲ望メリ乃チ卷烟草一本宛ヲ與フ彼レ倉皇之ヲ喫ス即チ情ヲ具シテ之ヲ師團司令部ニ送ル以テ露軍兵卒ノ一般ヲ知ルニ足ラン

三十日師團ハ摩天嶺及南新開嶺ニ向テ前進シ敵ハ遠ク退却シテ摩天嶺ノ峻遂ニ我カ騎兵斥候ノ占領スル所トナル

摩天嶺ノ占領
分水嶺ノ防禦工事

途中分水嶺ヲ過ク此附近ノ防禦設備概テ左ノ如シ

本道北側ニ砲兵肩墻二十四門分南側ニ八門分アリテ地區狹少ナル爲メ其間隔ハ著シク閉收ニ總綫上ニ工事ス其前方二百米ノ高地中腹ニ整環ヲ築キ森林ヲ伐採シテ射界ノ清淨ヲナシ樹枝鹿柴ヲ設ケタル所アリ又本道ヨリ南方及東北ニ亘ル高地稜線ニハ一連ノ散兵壕アリ概シテ射界狹ク殊ニ本道ノ通スル狹谷ヲ縱射スル爲メ過多ノ砲兵ヲ使用セントシタルハ地形他ニ野砲ヲ使用スルコト困難ナルニ依ルト雖モ決シテ適當ナル配備ニアラス而シテ此陣地ノ弱點ハ南方ヨリ迂回セラル、トキハ直ニ退路ヲ脅威セラル、ニ在リ師團ノ前進スルヤニ縱隊トナリ其一縱隊ヲシテ本道以西ノ山地ヲ新開嶺ニ向テ直進セシメタルモ亦此等ヲ願慮シタルナルヘク之カ爲メ敵ハ摩天嶺ノ險モ無爲ニシテ我占領ニ委スルニ至レリ故ニ分水嶺ノ如キハ蓋シ一時ノ後衛陣地タルノ價値ヲ有スルニ過キス

此日前衛ハ長驅シテ五峯親西方高地ヲ占領シ聯隊ハ連山關南方ノ山間ニアル「ペンジャブーツイ」ニ宿營シ爾後暫ク當地ニ滞陣ス

此附近一帯ノ地方ニハ「トリカアト」千人草多ク三十日前進ニ當リ大行李ノ輸卒休止ノ際注意ヲ缺キタル爲メ馬匹ノ中毒ニ罹レルモノアリ馬繫場附近悉ク毒草ナルヲ以テ實査シタルニ到ル所毒草ナラサルハナク馬匹ハ綠草ニ渴シ遠慮ナク之ヲ喰フカ爲メ斃馬一時ニ數頭ヲ生スルニ至レリ之カ

日本軍再
天將ニ到
ル

兵ノ屬

餘
談

爲メ充分ナル警戒ヲ施シ摩天嶺ノ陣地ニ移ルニ至リテハ一層其繁茂ヲ認メ馬繁場附近ハ悉ク之ヲ
 刈リ取ラシメタリ「トリカブト」ハ漢語之ヲ梧毒根草ト稱シ陰濕ノ地特ニ其繁茂ヲ見ル故ニ谷間ハ
 勿論河谷ニハ多キモ摩天嶺附近ノ如ク甚タシキハ戰役中再ヒ遭遇セザリシ所ナリ
 二十七八年ノ戰役ニ於テハ風風城ヲ以テ占領地ノ端末トシ其駐屯部隊ヨリ出シタル斥候ハ摩天嶺ハ一
 ニ達ス是レ風風城ヨリ遼陽ニ通スル街道上日本軍ノ足跡ヲ印シタル極端ナリトス抑々摩天嶺ハ一
 夫道ニ當レハ萬卒モ過クル能ハサルノ天險ニシテ遼陽ヲ距ルコト僅カニ十五六里ノ地ニアリ今ヤ
 我軍再ヒ到ル即チ是レ舊知ノ所、道ハ悠々トシテ西ニ盡キ山ハ巍峩トシテ靄霞ノ間ニ消ユ遼陽ハ
 即チ其西麓ニアリ
 滯在中恤兵部ヨリ扇到着シテ之ヲ一般ニ分配セリ蓋シ時機遲キニアラサルモ若シ風風城滯在中ニ
 之ヲ得レハ最モ適切ナリシトハ一般ノ唱フル所ニシテ前進ノ際ノ如キハ極メテ便益ヲ得タルヘシ
 然レトモ炎暑ハ尙ホ連續スルヲ以テ爾後其効用著シク戰闘中モ之ヲ使用セリ

餘 談

一、二十四日二道溝ノ設營ニ當リ先發シテ到レハ即チ本道附近僅カニ二三軒アルノミニシテ他
 ニ民家ナシ依テ側方ノ谷間ニ入り其間ニ散在スル五六ノ民家ヲ利用スルニ決シ砲廠ノ位置ヲ

聯隊本部ノ
設營

聯隊長苦笑
ス

炎熱甚ヤム

本道附近ニ撰定ス宿營ノ爲メ民家ノ必要ナルハ飲用水ヲ得ルト薪ヲ集收スル爲メニシテ部隊
 ノ炊爨ニハ之ヲ缺クコトヲ得ス故ニ側方ニ遠近スル部落ヲ利用スルハ砲兵ノ如キ重キ材料ヲ
 有スルモノニ在テモ之ヲ怠ルヘカラス

設營ノ結果聯隊本部及同段列ハ本道ニ接スル二軒家ニ宿營スルコトトナリ予先ツ到ル土人大
 人ヲ連呼シテ歡迎シ其家ニ入ランコトヲ乞フ寒村ノ民家其不潔ハ素ヨリ期スル所ナルモ傍ニ
 病メル老婦アリ梁上ノ小禽ハ放棄其欲スルニ委セ床上汚穢少時ニシテ夏衣之カ爲メニ汚サル
 予之ヲ口實トシテ出ツ家ヲ距ル約百米突ニ大ナル揚樹アリ枝繁リ露ヲ凌クニ足ル是ニ於テ露
 營スルニ決シ親シク之ヲ檢スレハ傍ヲ狗皮ヲ曝シ又糞用ノ竈アリ心持惡キモ他ニ適當ノ位置
 ナシ予敢テ言ハス天幕ヲ以テ一方ヲ掩ヒ聯隊本部ノ位置初メテ決定ス之ヲ道路上ヨリ望ムト
 キハ頗ル風趣アリ翌日ニ至リ之ヲ聯隊長ニ語レハ聯隊長モ亦着後之ヲ知リタルモ敢テ言ハス
 シテ止ミタリト苦笑一番ス

二、此日炎熱予ノ前方ニ行進スル歩兵卒小流ニ臨ンテ水筒ヲ充タサントスルヤ軍醫ノ爲メニ認
 ユラレ遂ニ意ヲ果タサス軍醫ハ衛生心得ヲ忘却セルヲ詰ル行クコト幾ナラスシテ落伍者ノ路
 傍ニ休止スルモノ少カラス是レ日射病ニ罹レルモノトス時ハ正午ニ近ツケリ先キニ兵卒ヲ訓

戒シタル軍醫ハ終ニ小流ニ走り歩兵隨テ雲集ス軍醫說テ曰ク此ノ如キ炎熱ニ際シ堪ヘ難キ時
ハ冷水ヲ以テ頭面ヲ洗ヒ且含喇スルモ可ナリト先ツ自ラ之ヲ試ム兵卒爭フテ之ニ倣ヒ軍醫傍
ニアリテ遂ニ嚙下ヲ制スル能ハサリシ

三、聯隊ノ宿營地「ベンジャブーツイ」ハ連山關ノ南方約二里ニシテ河ニ沿ヒ部落極メテ小ナリ
ト雖モ水清ク揚樹鬱蒼トシテ暑ヲ凌クニ適ス河岸岩石屹立シ巨岩ノ水中ニ突出スル傍ヲ湧泉
アルヲ以テ第一大隊ニテ此所ニ涼亭ヲ設ケ水浴場トセリ予一日之ヲ試ミント欲シテ亭ヲ訪フ
岩姿愛スヘキヲ以テ草ヲ分ケテ攀登ス丈餘ニシテ鬱蒼タル梧毒根草ノ間ニ大棺ノ横ハルヲ發
見シ之ヲ避ケテ降ル降レハ乃チ湧泉ノ源棺ノ四周ニアリ是ニ於テ意ヲ果タサシテ歸リ水浴
頓ミニ止ム

四、聯隊段列ハ稍々上流(南方)ノ部落ニ宿營ス其附近避暑ニ適シ水屈折シテ淵ヲナス所予最モ
之ヲ好ミ日々筆紙ヲ携テ到リ「ハンモック」上ニ横ハツテ作業ニ從事セリ而シテ暑ヲ避クルヨ
リハ寧ロ蠅ヲ避クルヲ主トス

「ハンモック」ハ衛戍地出發ノ際南京虫豫防用トシテ携行シタルモ未タ之ヲ使用セス此時初メ
テ之ヲ用ヒヘタリ南京虫ノ爲メ之ヲ用ヒタルハ此ヨリ以後ナリトス

「ハンモック」ノ便

命令受領途
中ノ愉快

敵ノ敗殘兵
ヲ送ス

五、予ハ流ニ沿フテ日々連山關ニ往復セリ是レ路程近キヲ以テナリ而シテ其大部ハ河床ヲ通過
シ車輛モ困難ヲ感セス途中白鷺ヲ見ルコト常ナリ即チ一計ヲ案シ遠クヨリ下馬シテ徒歩河岸
ニ近接シ拳銃ヲ以テ之ヲ狙撃シタルコト屢々ナルモ彼ノ警戒頗ル嚴ナルカ爲メ一回モ發射ス
ルニ至ラスシテ遂ニ之ヲ廢セリ然レトモ之ヲ窺フテ進ムノ愉快ハ今モ之ヲ忘ル、能ハス

六、敗殘兵聯隊段列南方ノ山上ニ現ハル我兵之ヲ追躡セルモ及ハス報告ニ依レハ敵ハ約十二名
アリ即チ同段列ニ命シ大行李ノ銃手及下士以下二十名ノ乘馬隊ヲ以テ搜索セシム偶々我左翼
部隊及近衛師團ノ斥候同日同所ニ會ス皆ナ敗殘兵ノ搜索ヲ目的トセルモノナルモ目的ヲ果サ
ス恐クハ山中ニ殘サレタルモノナランカ

十、摩天嶺附近ノ戰鬪(七月上旬ヨリ中旬ニ至ル)

前衛ノ摩天嶺ヲ占領スルヤ其砲兵一中隊ハ最初五峯觀(摩天嶺東麓ニアル)西方鞍部ニ陣地ヲ撰定
シタルモ其前方ニ關帝廟ノ高地アリテ著シク展望ヲ遮ラル、ヲ以テ五峯觀北方山上ニ變換シテ防
禦工事ヲ施セリ此陣地ハ標高高ク前方ニアル關帝廟ノ高地ヲ越ヘ様子嶺ニ至ル迄展望シ得ヘク塔
灣(様子嶺東麓ニシテ古塔アリ)附近ヲ瞰制ス故ニ此所ニ聯隊ヨリ展望哨ヲ設置シ其報告ニ依リ様
子嶺附近ノ敵狀及防禦設備ヲ詳カナラシメ爾後ノ攻撃ノ爲メ至大ノ利益ヲ得タリ

砲兵展望哨

前衛ノ陣地ハ五峯觀西方高地稜ニ沿テ撰定シ其前哨部隊ヲ關帝廟ノ高地ニ出セリ
四日未明敵我前哨ニ來襲ス其報告ノ要旨左ノ如シ

四日敵來襲

今朝我前哨兵線前ニ來襲セシ敵ハ步兵約二大隊ニシテ未明ヨリ突撃三回ニ及ヒ彼我接戦シ前哨部隊ハ苦戰最モ努メ壯快勇烈ナル交戦ノ後遂ニ之ヲ擊退セリ敵ハ本道上ヲ様子嶺方向ニ退却シ前衛ハ金家堡子迄追撃セリ

敵ノ公報ニ依レハ遼陽ニアリシ敵ノ前衛ハ三日様子嶺ヲ占領シ四日偵察ノ爲メ狙撃步兵第二十四聯隊長大佐「レッチーキー」ノ率フル步兵十三個中隊ヲ派遣シ其死傷二百ニシテ該大佐モ負傷セリ而シテ我死傷四十五ニシテ敵ハ死屍五十負傷者四十餘ヲ遺棄ス

警戒配置變更ノ利

此戰團ニ於テハ敵ハ確カニ奇襲ヲ成功セルモ其結果ハ良好ナル能ハサリシナリ要スルニ我小哨ハ不警戒ノ爲メ俄然四方ヨリ包圍セラレ初メヨリ兵及テ揮テ戰ハサルヘカラサル狀況ニ陥リ恐クハ散亂シタルナランモ前哨中隊赴援シ前哨本隊増加シ終ニ其失敗ヲ回復セリ蓋シ小哨ノ位置ハ地形不利ニシテ容易ニ敵ノ近接ヲ許スモノアリ金家堡子附近ヨリ之ヲ望ム時ハ三方ヨリ包圍シ得ルハ何人モ首肯スル所ナラン故ニ前哨ノ配置ヲ變更シ小哨ヲ關帝廟ノ高地ニ後退セシメ之カ爲メ十七日ノ逆襲ニ際シ敵ヲシテ空ヲ擊タシムルニ至レリ是レ一地ニ留ルトキハ野戰ト雖モ警戒配置ヲ變

摩天嶺ノ大逆襲

更シ敵ヲシテ窺フハ能サラシムルヲ得策トスル所以ナリトス

十七日未明西方ニ當リ一齊射撃ノ聲ヲ聞ク乃チ一將校ヲ連山關ニ派遣シ聯隊ニ緊急集合ヲ命ス方向ニ依テ察スルニ我カ左翼新開嶺方面ト判断シタルモ砲聲轟クニ至リ該方面ニ砲兵ヲ有セサルヲ以テ必然敵ノ來襲ト判断シ予先ツ出發ス途中命令ヲ受ク曰ク前衛ハ摩天嶺ニ於テ戰團中ナリ砲兵ハ宿營地ニ在テ出發ノ準備ヲナスヘント予乃チ傳令ヲシテ聯隊段列ノ一部ヲ五峯觀ニ急行セシムヘキヲ傳達セシメ急騎師團司令部ニ至リ緊急集合シアルト段列ノ一部ヲ五峯觀ニ急行セシメタルノ處置トヲ報告ス是ニ於テ聯隊ハ直ニ連山關ニ前進スヘキ命ヲ受ケ其南方畑地ニ開進セシム是レ即チ敵ノ大舉來襲セル當日ニシテ所謂摩天嶺ノ戰團ト稱スルモノ是ナリ

概況

此日敵ハ師團ノ全正面ニ來襲シタルモ其主力ハ摩天嶺ニ向ヘリ今摩天嶺方面ノ概況ヲ述フレハ午前三時頃敵ハ我前哨ニ來襲シ第一線步兵聯隊ハ直ニ豫定ノ陣地ニ就キ又五峯觀北方高地ノ砲兵中隊モ同時ニ砲列線ニ就ケリ午前五時過敵ノ步兵約二大隊ハ我前哨ノ退却ニ尾シテ關帝廟ノ高地ニ展開シ我全線之ニ向テ射撃ヲ開ク爾後敵ハ益々増加シ午前七時半ニハ其兵力約四聯隊以上トナリ屢々我左翼ヲ包圍セントセシモ我摩天嶺最高地ヲ占領セル部隊ノ爲メ其目的ヲ達セス午前九時頃ニ至リ敵ハ遂ニ左翼ヨリ退却ヲ始メ我步兵ハ先ツ射撃ヲ以テ之ヲ追撃シ次テ全線追撃前進ニ移リ

敵將ノ報告

敵ハ甜水站及塔灣方向ニ退却シ其一部ハ金家堡子附近ノ高地ニ停止セリ午後二時敵ノ砲四門ハ塔灣附近ヨリ我追撃隊ヲ射撃スルニ至レルヲ以テ追撃隊ハ李家堡子(摩天嶺西麓)西端ニ停止シ敵ト對峙スルニ至レリ而シテ新開嶺小高嶺下馬塘方面ニ向ヒタル敵ノ一部モ午後一時頃退却セリ此戰鬪ニ於テ敵ハ多大ノ損害ヲ生シタルモ我死傷三百ニ上ラス今敵ハ此戰鬪ニ關シ如何ナル觀察ヲナセシカヲ明カニスルハ興味アルヲ以テ黑鳩公大將ノ報告ヲ左ニ掲ケン

黒木將軍ノ水分嶺占領以來將軍ノ兵數並ニ配備ニ關スル情報ハ概テ不完全トナリ或ル報告ニ依レハ將軍ハ更ニ援軍ヲ得テ之ヲ配置スルコト賽馬集ニ迄及ヒタリト云ヒ或ハ將軍ノ兵大嶺並ニ岫巖ニ移動シタリト云ヒ甚ダシキニ至リテハ將軍ノ其司令部ヲ「ツアヘカン」ヨリ通遠堡ニ移シタリトサヘ報スルモノアリキ併シ接手ノ情報並ニ偵察ヲ根據トシテ敵ノ主力ハ連山關附近ニ集中シ前進隊ハ小高五峯觀、新開樂花、八盤等ノ嶮隘並ニ街道ノ北方ニ哩半ニテ小高嶺ノ中腹タル「シーピー」嶮ニ據レルモノナラサルヘカラストノ推測ヲ下シタリ

七月十七日敵ノ兵力ヲ判定スルカ爲メ連山關方面ニ於ケル敵ノ陣地ニ向ヒカ撃スルニ決シ中將「ケルレル」伯ニ命スルニ件ノ嶮隘ヲ占領スヘキヲ以テ目的トセス前面ニ發見シタル敵ノ兵力ニ從ヒ之ニ應スルノ行動ヲ探ルヘキヲ以テシタリ

國帝廟高嶺

此遠征的軍隊ノ左縱隊ハ三個大隊ヨリ成リ「シーピー」嶮ニ向ヒ派遣セラレ中央縱隊ハ「カシタリンスキ」少將指揮ノ下ニ二十四個大隊砲十二門ヨリ成リ小高嶺頂上ニ寺ヲ有スル高地及五峰觀ヲ攻撃スルノ命ヲ受ケ一個大隊ヨリ成ル右縱隊ハ新開嶺及樂花嶺ニ通スル道路ノ相交叉スル地點ニアリテ「カ」少將ノ率フル右側ヲ掩護セントス全豫備隊ハ之ヲ塔灣ニ殘シ其一部ハ同地ノ陣地ヲ守備ス

十六日午後十時縱隊ノ先頭部隊ハ塔灣ヨリ前進ヲ開始シ十一時第二聯隊ノ一個大隊ハ樂花新開兩道路ノ交叉點ニ於テ銃劍ヲ以テ日本ノ哨兵ヲ敗走セシム

「ケルレル」中將ノ報告ニ依レハ概況左ノ如シ

是レヨリ先キ日本軍ハ夜中ニ於テ既ニ小高嶺並ニ頂上ニ寺ヲ有スル高地ヲ撤退シ哨兵ヲ置キ居ルノミ未明「カ」將軍ノ縱隊ハ右ノ諸險隘ヲ占領シ日本ノ前進隊ヲ敗走セシム

十七日午五時三十分頃日本軍ハ著大ノ兵多數ノ砲ヲ以テ五峰觀ノ險並ニ「カ」縱隊ノ側面ニ於ケル南方ノ險涯ヲ占領シ此陣地並ニ寺ヲ頂上ニ有スル高地ノ東方ナル諸山ノ嶮ヨリ頗ル猛烈ナル銃砲火ヲ放テリ

「カ」將軍ハ右ノ險涯ヲ占領センカ爲メ初メハ一個大隊次ニハ三大隊ノ兵ヲ進メ山砲ノ掩護アリ

岩石皆歩砲兵

敵十七大隊トナル

嶺山砲兵

シト雖モ遂ニ失敗ニ了レリ是レ地勢上野砲ヲ使用スル能ハサリシカ爲メナリ午前八時塔灣附近ニアリテ指揮ニ任シタル「ケ」將軍ハ豫備隊ヨリ三個大隊ヲ頂上ニ寺アル高地ニ送り以テ「カ」將軍ヲ援クルノ必要ヲ認メタリ蓋シ敵ノ壓迫ニ連レ我ノ既ニ占領シタル地點ヲ維持センカ爲メニハ豫備隊ヨリ兵ヲ送りテ戰團隊ヲ援ケシムルノ必要アリシナリ然レトモ地形上ヨリシテ右ノ地點ハ凡テ之ヲ維持スルコトヲ得サリキ

茲ニ於テカ「ケ」將軍ハ敵ノ兵數非常ニ優勢ナルヲ認メ殊ニ若シ彼ニシテ遂ニ攻勢ヲ探ルコトトナラハ野砲ヲ使用セスシテ戰團セサルヘカラサルニ至ルヘキヲ思ヒ戰團ヲ中止シ且特別及一般豫備隊共之ヲ送ラサルニ決セリ

故ニ「ケ」將軍ハ午前十時三十分豫メ占領セル様子嶺ニ引揚クルニ決シ軍隊ハ既ニ携行セラレタル野砲ノ掩護ヲ受ケ整然歩ヲ正シテ退却シタリ

砲兵ヲ以テ退却ヲ裝フ

正午頃様子嶺ノ右側方面ニ於テ敵ノ攻勢運動始マリ一個ノ日本山砲隊「チジャブーザ」村ニ來リ陣セリ同村ハ塔灣ノ南方二里半ナリ様子嶺ノ南方鞍部ヲ守備シタル我第三旅團第三砲兵中隊ハ發砲三十四發ニシテ件ノ砲兵ヲ沈黙セシメタリ

敵ノ砲兵由退却ヲ裝フ

戰團ハ午後三時ニ了リ兵ハ塔灣ニ歸レリ

日本軍ノ前進ハ「ランヘ」河原野ノ上方即チ我軍ノ占領維持セル地點ニ於テ抗止セラレタリ夜中睡眠セス加フルニ日中炎熱甚タシカリシカ爲メ我軍ノ疲勞甚タシ

敵ノ公報ニ依レハ此日ノ損害ハ戰死百五十七負傷九百四十五生死不明百二名ナリ而シテ此戰團ニ依リ敵ハ何ヲ得タルカ公報素ヨリ詳細ニ亘ルモノニアラサルヘキモ徒ラニ誇張ノ文字ニ依リ其失敗ヲ飾ラントシ各方面共單ニ非常ニ優勢ナル兵力著大ナル歩砲兵ト對戦セリト云フノミニシテ毫モ其目的トセル兵力ノ判斷ニ及ハス此ノ如キ報告ノ不可ナルハ我カ一兵卒ト雖モ之ヲ知ル何ソ其迂ナル斯ノ如クナルヤ

露軍ノ狀況

參謀大佐「マトコフスキ」氏ノ講話ニ依レハ當時露軍ノ集中地ニ集合セルモノハ歩兵百十五大隊砲三百二十門騎兵及胡薩克騎兵九十中隊ニシテ軍隊ノ編制ハ概シテ山地ノ行動ニ適セス多クノ聯隊ハ近時新ニ編制セラレタル一部ノ大隊ヲ有シ又東部西比利亞狙擊步兵旅團ハ師團ニ擴張セラレ其性能及人員ノ數ニ於テモ從來ニ比較シテ行動ノ敏捷ト熱心ノ度ヲ減セリ又我軍ハ殆ント山砲ヲ有セス輜重ハ平時ノ行動ニ適スル普通ノ制式ニシテ山地ノ進退自由ナラス軍團ハ戰爭前ニ其編制ヲ改メ種々ノ理由ニ依リ甲ノ軍團ヨリ乙ノ軍團ニ師團ヲ轉屬シタリ斯ル狀態ニアリテ山地ニ行動スルハ頗ル難事ニ屬ス加フルニ一方ニハ歐寇ヨリ遼陽ニ軍隊ノ到着ヲ待ツ爲メ時日ノ猶豫ヲ必要

第一師ト七軍團ノ到着ヲ待ツ

トシ一面ニハ極東大守ノ要求ヲ實行セサルヘカラス實ニ大守ハ此時ヲ以テ旅順救援ノ爲メ攻勢動
作ニ轉スルノ時機ナリト主張セリ又曰ク我軍ノ配置ハ遼陽ニ於テ決戦セントスルノ意圖ヲ現ハセ
リ果シテ然ラハ之カ爲メ成効ノ第一要件ハ此方面ニ全力ヲ集中スルニアリシナリト蓋シ氏ノ意圖
ニ兵力ヲ諸方面ニ分散セルノ不可ナルヲ非難スルモノ、如シ

十九日我右翼師團ハ細河沿附近ノ敵ヲ攻撃シテ夕遂ニ敵ヲ撃退シ敵ハ混亂シテ安平方向ニ退却セ
リ地形峻峻ニ加フルニ敵ノ防戦頗ル頑強ナリシヲ以テ突撃ニ次クニ逆襲ヲ以テシ戦闘慘烈ヲ極メ
敵ハ多大ノ損害ヲ受ケテ終ニ敗走ス

我砲兵ハ前衛砲兵ヲ交代シ主力ヲ摩天嶺ニ進メテ五峰觀西方ヨリ北方ニ亘ル間ニ陣地ヲ占領シ遂
次前進ノ準備ニ着手セリ即チ前進路ノ開設前方地區ノ偵察等ニ從事シ聯隊本部ハ連山關ト五峰觀
トノ中間ニアル「チトヘ」ニ移リ砲兵ノ一部ハ尙ホ舊宿營地ニアリ

勅語ヲ賜フ

「ケルレル」中將ノ部隊ハ様子嶺附近ノ陣地ヲ益々堅固ニスル爲メ銳意日々工事ニ從事スルヲ見ル
師團ハ摩天嶺ノ戦闘ニ對シ特ニ優渥ナル勅語ヲ賜フ

餘談

餘談

一、摩天嶺ニ一氣象アリ嶺ノ東西晴曇ヲ異ニスル是ナリ隨テ西方晴レ東方曇リ東方濃霧ニシテ

砲火ノ威力

西方是レナキカ如キハ珍シカラス十七日未明前衛砲兵ハ陣地ニ就キ射撃準備ヲ了シテ天明ヲ
待ツ天明ケタルモ嶺ノ西方霧ノ爲メ展望ヲ遮キリ微カニ關帝廟高地ニ部隊ヲ認ムルモ彼我ヲ
識別スル能ハスシテ之ヲ射撃スルニ躊躇シ隣接部隊ニ問ヘハ即チ今尙ホ之ヲ確メ中ニシテ明
カナラス或ハ我前哨部隊ニハアラサルカ特ニ關帝廟北側斜面ニ集團シアルモノ、如キハ敵方
ニ對シ遮蔽セラル、モノ、如ク疑益々増加シ未タ射撃ヲ開クニ至ラス然ルニ霧漸次消散スル
ニ從ヒ砲隊鏡ニ依リ之ヲ望メハ敵ノ歩兵露露シテ我眼下ノ稜線上ニアリ其左翼後ニアルモノ
ハ即チ密集セル約二中隊ノ第一線豫備ナリ是ニ於テ我砲兵ハ雀躍千八百米ノ距離ヲ以テ曳火
彈ヲ發射シ内二門ヲ以テ特ニ敵ノ豫備隊ヲ射撃セシム敵ハ此時ニ至リ初メテ其頭上砲兵ノ現
在スルヲ知り倉皇其前方ニアル掩堡内ニ入り盛シニ我ヲ射撃ス此掩堡ハ敵此附近ニアリタル
時構設セルモノトス我放列線ノ右翼ニ約一小隊ノ掩堡アリ今ヤ敵ハ明カニ之ヲ認ムルニ至リ
タルヲ以テ此ニ射撃ヲ集中ス中隊ハ地形寧ろ着發彈ヲ併用スルノ有利ナルヲ悟リ一小隊ニ之
ヲ命ス着發彈ノ掩堡ニ命中スルヤ敵ノ散兵ハ壕ヲ出テ混亂逃走セントス我曳火彈ハ此機ニ乘
シテ猛射セラレ敵ノ死傷甚ク殊ニ密集セル二中隊ノ如キハ突然曳火東葉ニ浴シテ潰亂シ
我砲彈之ヲ追躡シテ多大ノ損害ヲ與ヘ敵ハ累々タル死屍ヲ殘シテ敗退ス

當日予ハ砲兵陣地ニ至リテ親シク戰場ヲ目撃セリ一小隊長語テ曰ク此ノ如キ明瞭ナル目標ニ對シテ如キ愉快ナル射撃ヲナシタルコトナシ敵ノ小銃彈ハ素ヨリ放列線ニ蟬集スト雖モ敵ノ位置低キ爲メ多クハ頭上ヲ超飛ス然カモ我一彈ハ能ク十數人ヲ斃シ一瞬毎ニ敵ノ死屍地ヲ掩フノ狀ヲ見雀躍禁スル能ハサリシト

伏兵ノ奮戦

二、關帝廟高地ノ稜線ハ五峯觀西方高地ノ稜線ト相並ヒテ南方ニ走リ遂ニ合シテ最高地ニ連ル而シテ關帝廟西南ハ傾斜緩ニシテ西方李家堡子方向ニ突出ス此部ハ一面森林ヲ以テ掩ハレ守ルニ難ク攻ムルニ便ナリ故ニ我前哨ハ一中隊ヲ潜伏セシメ敵ノ直ニ退路ニ迫ルニ備フ然ルニ敵ハ本道及其以北ノ地區ヨリ前進シ關帝廟ノ高地ヲ占領シ我小哨ハ逸早く退却シテ空ヲ衝カシメ此中隊ハ毫モ之ヲ知ル能ハス俄然銃聲起ルヤ依然友軍ノ射撃スルモノト推定シタルニ何ソ計ラン敵ハ已ニ中隊ノ右側ニ展開シテ我陣地ヲ攻撃スルヲ認ムルニ至ラントハ恰モ此時敵ノ林内ニ圓入シ來ルニ會シ搭闘一番奮戦之ヲ撃退ス然ルニ關帝廟附近ノ敵ハ我歩砲兵ノ射撃ニ堪フル能ハスシテ潰亂シ其大部ハ林内ニ遁逃シ來ルニ至レルヲ以テ中隊ハ騎虎ノ勢ヲ以テ銃劍ヲ揮ヒ敵ノ死傷算ナシ即チ進退谷マレル中隊ハ壯快ノ機運ニ遭遇シ偉大ノ奏功ヲナセリ戰場ニ於ケル浮沈夫レ斯ノ如シ

敵ノ失策

人力摩天帶ヲ懸ス

遼陽ノ蟬想保スル能ハス

蟬ニ懸ル

- 三、捕虜ノ言ニ依レバ敵ハ我陣地ヲ關帝廟ノ高地ニアルモノト判斷シ計畫シタルヲ以テ其砲兵ノ如キモ距離遠大ニ過キ射撃スル能ハサリシト是レ敵ノ砲兵ノ僅カニ我追擊部隊ニ對シテ發射セル所以ナリトス
- 四、五峯觀以北ノ砲兵陣地ハ本道ヨリ約二千米ニシテ傾斜急峻予屢々往來シテ實驗セルニ徒歩ナルト乗馬ナルトヲ問ハス登ルニ約四十分ヲ要ス砲車ハ實ニ此坂路ヲ引キ上ケラレタルナリ其狀況ニ關シテハ後ニ詳述スル所アランモ要スルニ我野砲ハ摩天嶺上ニ陣地ヲ占領セリ爾後山地ノ險難ヲ意トセサリシハ乃チ實驗ノ結果特ニ自信ヲ強固ナラシメタルモノアルニ依ラスンハアラス
- 五、連山關附近ハ蟬殊ニ多ク我ヲ惱殺スルモノハ此小虫ナリトハ異口同音ニ唱ヒタル所ニシテ予ハ戰役中再ヒ斯ノ如キ狀況ニ遭遇シタルコトナシ摩天嶺ノ戰圖後試ミニ捕虜ニ問フニ遼陽附近ニ比セハ蟬ノ多少果シテ如何ヲ以テス捕虜即チ眼ヲ丸クシ答テ言フ遼陽ニ比スレハ語ルニ足ラス若シ遼陽ニ至レハ眞ニ惱殺セラルヘシト是ニ於テ警惕措ク能ハス衆常ニ之ヲ談柄トナスニ至レリ
- 六、聯隊本部ノ「チトヘ」ニ移ルヤ炊事場ヲ山腹ニ設ケタリ是レ可成家屋ニ離レ蟬ノ食物ヲ汚ス

ヲ避ケンカ爲メナリ又輪卒ヲシテ其傍ニ納涼臺ヲ造ラシム雨多キヲ以テ頂蓋ヲ有ス一日夕炎熱甚タシク屋内ニ居ル能ハサルヲ以テ聯隊長ト共ニ納涼臺ニ上リ夕食ヲナス此時俄カニ雨降リ蠅群雨ヲ避ケテ襲來シ其勢ノ猛烈ナル眞ニ押シ壓サル、カ如キ心持シ遁ケテ室ニ歸リ爾後再ヒ食ヲ納涼臺ニ攝ラス

十一、様子嶺ノ攻撃（七月三十一日及八月一日）

摩天嶺ノ戰團後左翼軍ノ方面ニ於テハ七月二十四日ヨリ大石橋附近ノ敵ヲ攻撃シ二十五日午前敵ヲ驅逐シテ遂ニ大石橋附近ヲ占領セリ而シテ七月三十一日中央軍ハ我軍ノ様子嶺ヲ攻撃スルト同時ニ橋木城附近ノ敵ヲ攻撃シテ遼陽ニ迫ルニ至レリ
二十七日師團ハ甜水站（塔灣北方）東北方高地及其西麓ニアル廣溝附近ニ至ル道路ヲ偵察センカ爲メ砲工兵ノ將校斥候ニ步兵一中隊ノ掩護ヲ附シテ派遣シ掩護隊ハ敵ノ監視兵ヲ驅逐シテ前進シ我斥候ハ廣溝東南方高地ニ辛フシテ聯隊ヲ使用シ得ヘキ砲兵陣地アルヲ確メテ歸還セリ然リ陣地ハ辛フシテ聯隊ヲ容ル、ニ足ルモ此偵察ニ於テハ最モ緊要ナル注意ヲ脱シ五峰觀ノ陣地ヨリ之ニ到ルヘキ道路行進ノ難易及特ニ陣地進入路ノ工事及進入ノ難易ニ關シ充分ナル研究ヲ缺キタルヲ以テ其報告ニ依レハ單ニ工事ヲナセハ容易ニ進入シ得ラル、如クナリシヲ以テ何人モ疑ヲ抱クモノ

偵察者ノ組

ナク地形險難ニシテ砲兵使用ニ窮シタル當時此報告ハ實ニ千金ノ價ヲ有シ三十日其途中陳家嶺子ニ至ル間ノ道路ヲ修理セリ即チ我砲兵陣地ヨリ已ニ開設シアル道路ニ依リ小高嶺附近ヲ經テ廣溝東南高地ノ東麓ニ通スル道路此レナリ而シテ此附近ハ地圖ナク隨テ實査セルモノニアラサレハ其景況ヲ詳ニスル能ハサルヲ以テ何人モ報告ヲ信シ修理セハ容易ニ前進シ得ルモノトナシ寧ロ砲兵陣地ヲ發見セルヲ喜フニ過キサリシモ偵察ノ注意足ラサリシ爲メ砲兵ハ非常ノ困難ニ遭遇スルニ至レリ

右ノ道路修理ノ命令ハ三十日午前二時四十五分ニ發セラレ步兵ノ一部隊之ヲ掩護スヘク同時三十一日拂曉ヨリ攻撃ヲ企圖スルニアルヲ知ル

前進ノ準備

是ニ於テ聯隊ハ直ニ命令ヲ下シ舊宿營地ニアリシ一中隊ハ五峰觀ニ向ヒ前進シ陣地ニアル諸車輛ハ前進ヲ準備スル爲メ近ク放列線ニ引上ケ一中隊到着セハ直ニ五峰觀西方坂頂ニ引上クヘキヲ命シ舊宿營地ニアリシ他ノ一中隊及聯隊段列一小隊ハ師團ノ命ニ依リ直ニ出發シ連山關ヨリ下馬塘ヲ經テ迂回セシメラル即チ主力ハ現陣地ヨリ廣溝東南高地ニ向ヒ一部ハ本道ヲ經テ塔灣ニ向ヒ前進スヘク夕刻迄ニ五峰觀西方高地及現陣地ヲ出發シ得ル如ク準備ヲナス爲メ三十日早朝ヨリ準備ノ實施ニ着手セリ

進入路ノ最

中隊段列ハ陣地ニ近ク位置セシメアルヲ以テ其工程ハ甚大ナラサルモ聯隊段列ハ全部本道側ニアリ故ニ特ニ他中隊ノ援助ニ依リ其車輛ヲ曳キ上ケシム進入路ニ關シテハ先キニ其困難ノ狀況ヲ略說シタルモ今ヤ之ヲ詳說セサルヲ得ス

五峰觀本道附近ノ部落ヨリ北方ニ稍々大ナル凹地アリ是レ即チ右翼砲兵陣地ニ進入スヘキ唯一ノ經路ニシテ陣地ニ至ル距離本道ヨリ約二千米此進入路ノ開設ニ當リテハ有エル方法ヲ用ヒタルモ右曲左折傾斜時トシテ三分ノ一甚タシキハ二分ノ一ニ及フ所アリ乘馬ヲ以テスルモ徒歩ヲ以テスルモ登ルニ約四十分ヲ要シ砲車ノ前進ニ當リテハ附近歩兵ノ援助ニ加フルニ他中隊ノ輓馬ヲ以テシ多大ノ時間ト勞力トヲ以テ辛フシテ頂ニ達シ其放列線ニ入ルニハ輓馬ヲ解キ全ク臂力ニ依ラサルヘカラス斯ノ如キ狀況ナルヲ以テ放列線ニ近ク位置スル中隊段列ノ車輛ト雖モ之ヲ曳キ上ケンカ爲メニハ多クノ時間ト勞力トヲ要ス況ンヤ本道附近ニアル聯隊段列ヲヤ

又下馬塘ヲ迂回シテ陣地ノ北麓ニ至ル道路ハ殆ント全部石碌々タル河床ヲ通過セサルヘサラサルヲ以テ偵察ノ結果辛フシテ野砲ノ通過ヲ許スト云フニ過キスシテ路程増加ニ加フルニ人馬勞働ノ激甚ナルハ言ヲ待タス

此日炎熱堪フヘカラサル天候ナリシハ宜シク記憶セサヘカラス是レ大ナル影響ヲ及シタレハナリ

攻撃ニ關スル命令

予ハ様子嶺攻撃ヲ述フルニ先チ爲シ得ル限リ前進ノ困難ナリシ景況ヲ明カニセンコトヲ希望ス故ニ先ツ筆ヲ其狀況ニ進メ然ル後一般戰況ニ及ハントス

前述ノ如ク砲兵ハ三十日未明ヨリ或ハ前進ニ或ハ車輛ノ曳キ上ケニ從事シテ毫モ休止ノ暇ヲ得ス午後三時攻撃ニ關スル命令ハ下サレタリ聯隊ハ午後五時更ニ命ヲ發シ午後六時十分主力ハ現在ノ陣地ヲ出發シテ「シンジャブーザ」ヨリ高嶺勾(小高嶺ノ北方)南方ヲ經テ陳家堡子附近ニ至リ進入路ノ完成ヲ待テ唐溝東南力高地ニ陣地ヲ占領シ又一部ハ午後八時三十分摩天嶺ノ鞍部ヲ出發シ金家堡子(塔灣東方)附近ニ陣地ヲ撰定スヘキヲ規定ス而シテ本道方面ハ五峯觀西方坂路(摩天嶺ノ坂)ヲ曳キ上ケル爲メ非常ノ困難ヲナシ其一中隊ハ鞍部附近ノ陣地ニアリタルヲ以テ中腹ニアル其段列ノ車輛曳キ上ケノ爲メ他ノ援助ヲ要シタルニ過キサルモ宿營地ヨリ前進セル一中隊ハ夕ニ及フ迄全力ヲ盡クシテ漸ク鞍部ニ全車輛ヲ進メ豫定ノ如ク準備シ得タルノミナラス爾後ノ前進ハ之ヲ主力方面ニ比スレハ語ルニ足ラス(困難ハ困難ナリシモ)故ニ先ツ主トシテ砲兵主力ノ前進ニ關シテ狀況ヲ記述セン

敵ノ様子嶺附近ニアルハ少クモ一師團ヲ下ラサルモノ、如ク明拂曉軍ハ此敵ヲ攻撃セントス三十日ノ夕ハ來レリ是ニ於テ聯隊ハ朝來ノ勞働激甚ナルニモ不拘更ニ摩天嶺ノ險ヲ超ヘ高嶺勾南方ノ

主力砲兵ノ前進

峻坂ヲ經約二里半ノ行程ヲ前進シ然カモ工兵ノ進入路開設ヲ待テ然ル後陣地ニ進入シ此戰團ニ參與セサルヘカラス抑モ右翼砲兵陣地ヨリノ前進路ハ小高嶺ニ通スル道路ニ合スル間僅カニ二千米ニ過キサルモ其傾斜ノ急峻ナル等口進入路ヨリモ甚ダシク到底繫馬ノ儘輓曳セシムル能ハスシテ臂力ヲ以テ之ヲ曳キ下サ、ルヘカラス爲メニ各中隊及其段列並ニ大行李(大行李ハ明朝五時現在地ヲ出發シ後方「チト」へ「附近ニ集合スル豫定」)ノ下士卒ハ悉ク其前進ニ助力ヲ與ヘ午後八時三十分ヨリ漸次其車輛ヲ前進セシム會テ某機動演習ニ於テ山中坂路ニ會シ砲車ヲ曳キ上クル爲メ綱ヲ結着シテ臂力前進ヲ行ヒタル例アルヲ聞キタルコトアルモ上陸以來難路通過ニ際シテハ輓馬ヲ増シ一車輛ニ繫馬索二條ヲ兩側ニ結着シ砲手及他兵十五乃至二十人ヲシテ之ヲ曳カシムルヲ通例トシ甚シキハ一車四五十人ノ助力ヲ要シタルコトアルモ未タ悉ク輓馬ヲ脱駕シ單ニ臂力ノミヲ以テ車輛ヲ動かシタルコト殆ント稀ナリ(近衛砲兵ハ難路ニ遭遇セハ脱駕スルヲ例トセシカ如キモ)然ルニ此日ノ前進ニ當リテハ事少シク意外ニシテ終ニ馬力ニ據ル能ハス又臂力ヲ以テ前進スルニアラスシテ結着シタル綱ヲ以テ反對ニ降下スルニ在リ爲メニ車輛其方向ヲ失シ谷中ニ陥落スルモノアルニ至レリ

下馬塘ヲ迂回セル一中隊及聯隊段列ノ一小隊ハ此間非常ノ勞力ヲ費ヤシテ先ツ小高嶺東方附近ニ

各中隊段列
就テ前進ニ

到着セルカ故ニ之ヲシテ陳家嶺子ニ向ヒ前進セシム其陳家嶺子ニ到着セルハ三十一日午前四時頃ニシテ陣地ノ進入路ハ此時未タ完成スルニ至ラス而シテ此中隊ノ人馬ハ氣息奄々疲勞ノ狀殊ニ著シキヲ認ム陣地ヨリ降下セル先頭中隊戰砲隊ノ小高嶺東方道路上ニ降下シタルハ三十日午後十時五分ニシテ第二ノ中隊以下ノ部隊ハ隨テ其行進遲滯セシノミナラス中隊ノ前進セルカ爲メ己ニ助勢ノ若干ヲ減殺セラレ又遲滯ト困難トヲ増加スルヲ見ルニ至レリ此ノ如クニシテ第二ノ中隊ノ戰砲隊ノ降下シ終リシハ三十一日午前九時トナリ此時已ニ唐溝方向ニ友軍ノ砲聲ヲ聞キ又様子嶺及近衛師團方面ノ砲聲漸次熾トナル此砲聲ヲ耳ニシツ、聯隊ノ二中隊及聯隊段列ハ尙ホ十吉米以上ヲ隔ツル摩天嶺附近ニアリテ前進ノ困難ト争ヒツ、アルナリ其間彼我兩軍ノ砲聲ハ益々熾トナリ幹部以下狂氣ノ如クナルモ意ノ如クナラス最後ノ中隊ハ三十一日午後一時漸ク「シンシャブーザ」ヨリ前進ヲ始ムルヲ得タルモ尙ホ是レヨリ更ニ中隊段列ノ降下ヲナサ、ルヘカラス是レヨリ先キ此方面ノ行進極メテ困難ナルヲ見ルヤ聯隊段列ハ再ヒ其一小隊ヲ五峰觀ニ降下セシメ摩天嶺ノ本道ヲ前進セシムル必要ヲ認ムルニ至レリ是レ元來ノ計畫ハ右翼陣地ヨリ小高嶺ヲ經テ金家堡子ニ前進セシムルノ便ナルヲ認メ朝來悉ク其車輛ヲ右翼砲兵陣地ノ後方ニ曳キ上ケタルモ今ヤ本道方向ニハ一部ノ砲兵前進シテ聯隊段列一部ノ續行スルナクハ爾後ニ於ケル彈藥ノ補

給ハ適時之ヲ行フヲ得サルニ至ルヘキヲ察シ段列長ハ獨斷其一小隊ヲ更ニ五峰觀ニ降シ本道ヨリ摩天嶺ヲ超ヘ之レニ追及スヘキヲ命ス是レ三十日々没以後ノコト、ス小隊長即チ更ニ今朝來ノ困難ヲ再ヒシテ一旦本道ニ降り又摩天嶺ノ嶮ヲ登リ三十一日午前二時四十分先頭ヲ以テ其鞍部ヲ通過シ始メ午前十時三十分ヨリ午後三時ノ間ニ金家堡子砲兵陣地ノ後方ニ到着セリ
翻テ人馬ノ景況ヲ見ルニ戰砲隊ノ前進ニ際シテハ各幹部及砲手共ニ多ク馬匹モ亦未タ甚シク疲勞スルニ至ラサリシモ中隊段列並ニ聯隊段列主部ノ前進ニ當リテハ次第ニ人馬ノ不足ヲ感シ特ニ炎天鐵ヲ燥スカ如キモノアリ馬匹ノ如キハ單ニ停止スルノミナルニ係ラス氣息奄々トシテ殆ント斃レントスルモノアルニ至ル之ニ水飼セントスルモ約二千米ノ坂路ヲ下ラサルヘカラサルヲ如何セン而カモ中隊段列ノ前進ニ際シテハ聯隊段列ノ砲手ヲ擧ケテ之レニ助力セシメタルモ聯隊段列ニ至リテハ全ク他ノ力ヲ藉ルニ由ナク少數ノ人員ヲ以テ獨力其前進ヲ行ハサルヘカラス困難是ニ至テ極レリト謂フヘシ

道路開設ノ困難ト進入ノ困難トハ天明ニ至ルモ先頭中隊ノ陣地進入ヲ終ルコト能ハサラシメ午前九時頃本道方面金家堡子附近ノ砲兵ハ射撃ヲ開始スルニ至ルモ砲兵ノ主力ハ歩兵一大隊及工兵ノ援助ニ依リ午前十一時頃漸ク二中隊其陣地ニ就キ砲戰俄カニ盛ントナリ急射ニ依リ射撃ノ優勢ヲ

求メサルヘカラサルカ爲メ彈藥ノ補給最モ繁忙ヲ極ムルニ至レリ此時各中隊ノ放列陣地ニ於ケル彈藥補給ノ爲メ到底戰砲隊ノ彈藥車ヲ放列線後ニ前進セシムル能ハサルヲ以テ臂力砲側ニ運搬シ殊ニ榴彈ハ聯隊段列(下馬塘ヨリ迂回セル一小隊)ノ位置ヨリ各中隊ノ砲手ヲシテ段列ノ人員ニ助力セシメ山腹ヲ往復シテ補給ヲナサシムルヲ要セリ特ニ榴彈ノ運搬ニ際シテハ狀況ノ必要上ヨリ他ノ二中隊ノ陣地進入ヲ中止シ全力ヲ擧ケテ彈藥運搬ニ從事セシメ其間多クノ時間ヲ費ヤシ午後四時頃初メテ兩中隊ノ一小隊ツ、其陣地ニ就キ射撃準備ヲ完了シ歩兵ノ攻撃前進ニ際シ漸ク戰闘ニ參與スルヲ得タリ而シテ聯隊段列ノ位置ヨリ砲手ノ彈藥ヲ運搬シテ往復ニ要スル時間ハ傾斜急峻ナル爲メ少クモ二十分ヲ要シ其距離僅カニ約五百米ニ過キス之レ一ハ昨夜來ノ勞働劇シキ爲メ砲手ノ疲勞セルニ據ルモノアリト雖モ主トシテ坂路ノ急峻運搬ノ困難ナルニヨルモノニシテ中隊ノ砲手ハ彈藥ヲ運搬シタルノ後再ヒ激烈ナル砲戰ニ從事スルヲ要セリ其慘憺ノ狀以テ想見スルニ足ラン

願ミレハ舊陣地ニハ尙ホ中隊段列及聯隊段列ノ前進ニ汲々タルアリ而シテ中隊段列ノ前進ヲ終ハリシハ三十一日午後六時ニシテ同時聯隊段列ハ先ツ車輛ヲ頂上ニ搬致シテ駕馬ヲ脱シ悉ク之ヲ坂下ノ路傍ニ誘導シテ野繫シ若干ノ厩番ヲ附シタル後殘餘ノ人員悉皆ヲ擧ケテ以テ車輛ノ前

進ヲ行フコト、セリ然レトモ使用シ得ル人員僅カニ二十五名ニ過キサレノミナラス加フルニ此ノ人員ハ皆終日各中隊ノ前進ニ際シテ助力セシメタルモノナルカ故ニ疲勞其極ニ達シ慘狀見ルヘカラサル状態ニアリシモ彼等ノ忠烈熱誠ナル能ク相共ニ鼓勵シテ倦怠ノ色ナク一輛ツ、其前後車ヲ雜脱シ繫馬索ヲ附シ或ハ之ヲ後方ヨリ引キ以テ砲車ノ滑走ヲ防キ或ハ協力車輪ヲ繰ル此ノ如クシテ全ク車輪ノ降下ヲ終ハリシハ八月一日午前二時三十分ナリキ而シテ各兵ノ動作ハ眞ニ嘆稱スヘキモノアリ其終日炎天下ニ立テ中隊ノ前進ヲ助ケ次ニ段列ノ前進ニ際シテハ疲勞饑餓交々至ルノ身ヲ以テ暗黒ノ間急峻殆ント二千米ノ坂路ヲ降下シ而モ一輛ノ故障ヲ生スルコトナカラシメタリ殊ニ上等兵某ノ如キハ卒先事ニ當テ毫モ倦怠ノ狀ナク部下兵卒中偶々休憩ヲ試ムルモノアレハ上等兵ハ論スニ對敵ノ二字ヲ以テシ語句眞ニ肺腑ヨリ出テ之ヲ聞クモノ奮起セサルナク僅少ナル人員ヲ以テ能ク比較的其降下ヲ速カナラシメタルハ上等兵ノ言助與テ大ニ力アリシヲ認ム

段列ノ降下シ終ハルヤ坂下ニ於テ天明迄露營シ休憩約二時間餘午前五時出發六時小高嶺ニ至ル此時中隊段列ハ故障ノ爲メ未タ坂路超越中ナルヲ見ル依テ暫時嶺下ニ休ス

小高嶺ノ坂路ハ約四百米ニ過キスシテ傾斜屈曲共ニ甚クシカラス先頭三中隊ノ通過ニ際シテハ歩

兵ノ援助アリシカ爲メ通過容易ナリシモ第四ノ中隊以後ノモノニアリテハ此援助ナク加フル天候漸ク燒クカ如ク馬匹亦疲勞シ漸次困難ノ度ヲ増加スルニ至レリ
午後九時聯隊段列ハ再ヒ行進ヲ起シテ通過ヲ始ム之レカ爲メ一輛ニ五駢ト尙ホ之ニ繫馬索トヲ附シ人馬協力シテ輓曳シ八月一日午後一時全ク通過シ中隊段列ニ續行シテ陣地後ニ到着スルコトヲ得タリ

計畫攻撃ノ
異例

要スルニ此戦闘ハ防禦スル敵ヲ攻撃スルニモ不拘恰モ遭遇戰ニ於ケルカ如ク急進陣地ヲ占領シテ攻撃ニ參與セサルヘカラス而モ砲戰ノ結果ハ此攻撃ノ成果ニ多大ノ關係ヲ有スルヲ以テ人馬共ニ其全力ヲ盡クシテ前方ニアルモノハ敵ノ砲兵ト戰ヒ後方ニアルモノハ地形ノ困難及天候ト争ヒ上陸以來眞ニ江西以南ニ於ケル難路通過ノ際實踐シタル程度以上ノ困難ヲ冒シ其苦辛慘憺ノ状態ク之ヲ名狀スルコトヲ得ス蓋シ敵ハ様子嶺ノ峻ニ據リ約二個師團半ノ兵力ヲ有シ而カモ三十一日ノ攻戰ニ於テ我軍ノ威力ニ屈シ倉皇其陣地ヲ棄テ、退却スルニ至レルハ天祐ト謂フノ外ナカルヘク赤誠鬼神ヲ泣カシムルモノアリタル結果ト謂フノ外ナシ唯遺憾トスル所ハ此ノ如ク苦辛努力シタルニモ不拘三十一日ニ於テ終ニ全砲數ヲ陣地ニ配列シ以テ戰鬥ニ參與セシメ威力アル砲火ヲ實行スル能ハサヲシニアリ此戰鬥ニ參與セルモノハ恐ク終世ノ紀念トシテ七月三十一日ヲ記憶シ忘レ

天祐

戰團ノ概況

ントスルモ忘ル、能ハサル可シ

此戰團ニ於テ軍ノ左翼師團ノ戰團最モ激烈ニシテ予ノ最初ヨリ敵ノ主力ハ西南ニ陣地ヲ構成セルカ如ク判斷セルハ偶中シ我ト對戦セシ敵ノ砲兵ハ其一部ニ過キヌ之レカ爲メ砲兵ノ陣地進入前述ノ如ク遲延シタルニ係ラス敵ノ砲兵ハ我レノ射撃ヲ開始スル迄砲火ヲ向ケヌシテ本道方面ノ砲兵ト砲戦ヲ繼續シタルノミ又様子嶺鞍部附近ヨリ發射シタル砲彈ハ距離遠クシテ我陣地ニ達セス殊ニ塔灣西北高地ニ現出シタルモノ、如キハ我射撃開始後暫クシテ其陣地ニ進入シタルヲ以テ陣地進入(勿論ニ中隊ノミナルモ)ノ機ニ乘スル能ハス幸ニ大ナル損害ヲ免レタルハ天祐ト云フノ外ナク塔灣西南高地端又高地上ニアリシ敵ノ砲兵ハ我窟溝東南ノ陣地ヨリ側射セラレ高地上ニアリシ砲臺ノ二門ハ榴彈ノ爲メ後方斷崖下ニ轉覆シ又高地端ニアシモノハ全ク威力ヲ失ヒ辛フシテ敗走スルニ至リ加フルニ左翼師團ノ迂回隊ハ様子嶺鞍部ノ南方ニアル高地ヲ占領スルニ至リタルヲ以テ我カ步兵ハ午後四時過キ塔灣附近ニ向テ攻撃前進シ敵ニ肉迫シテ夜ヲ徹シ八月一日拂曉様子嶺ハ師團ノ左翼旅團遂ニ之ヲ占領セリ而シテ轉覆セハ野砲一門ハ敵之ヲ現場ニ遺棄シテ我手ニ落ツ然レトモ此戰團ニ當リ我聯隊長及一中隊長負傷シ又一將校戦死シ下士以下並ニ馬匹ノ損害少ナカラス此等ハ塔灣西北方高地ニ進入セル砲兵ノ散布射撃ニ依リ一時ニ生シタルモノナリト雖モ我砲

兵ハ確カニ一時沈黙スルノ止ムヲ得サル狀況トナリ爾後ノ成果ハ苦戦ノ結果之ヲ得タルモノニシテ戰團ノ狀況決シテ初メヨリ有利ナリシニアラス

以上述フル所ニ依レハ地形ト天候トハ我動作ニ至大ノ影響ヲ及ホシタルモノアルハ勿論ナルモ若シ偵察者ニシテ注意一層周密報告尙ホ一層丁寧ナラシメハ其困難ハ此ノ如ク甚タシキモノアルニ至ラシメサリシナラン豈ニ慎マサルヘケンヤ

此戰團ニ關シ軍司令官ハ左ノ如ク報告セリ

戰團ノ永ク終結セサリシハ左ノ諸件ニ基因セリ

一、地形險峻ニシテ攻撃動作ニ不便ナリシコト

二、良好ノ砲兵陣地ナク爲メニ我砲兵ノ威力ヲ發揚シ得サリシコト

三、百度以上ノ炎熱ニシテ軍隊ノ勞苦著シカリシコト

予ノ已ニ記述セル所ノモノハ蓋シ能ク右ノ三個條ヲ説明シテ餘リアリト信スルヲ以テ一般ニ關シ茲ニ筆ヲ止メ餘談中ニ諸種ノ事項ヲ記載セン

餘談

一、予ハ七月三十日夕ノ前進ニ當リ先ツ本道方面ニ向フ砲兵ニ隨ヒ其狀況ヲ觀察スルノ命ヲ受

ケ午後八時半其摩天嶺鞍部ヲ出發スルト同時ニ關帝廟ノ高地ヲ經テ金家堡子ニ向フ道路ハ雨ノ爲メニ洗ハレ岩片礫石碌々トシテ行進困難ナルモ傾斜甚シカラスシテ砲兵ノ行進ハ甚タシク困難ヲ感セサルモ時恰モ暗黒行進頗ル遅々タリ

此方面ニ向フ歩兵ハ約一聯隊ニシテ前方ニ若干ノ斥候ヲ出シ第一線大隊ハ密集縱隊ノ儘之ニ跟隨シ西麓李家堡子附近ニ到リ可成横廣ノ隊形ニ變シ第二線近ク之ニ續行ス

予ハ砲兵大隊長ト共ニ途中ヨリ先行シテ歩兵ニ追及シ其第一線部隊ニ續行セントス行クコト暫時ニシテ一將校ノ第一線ノ先頭ニ達シタルヲ注意スルモノアリ一時停止シテ其前進ヲ待ツ此時我歩兵ハ少許停止シ又直ニ前進ニ就ク敵ノ前哨部隊アル金家堡子ハ目前ニアリ我第一線ハ今ヤ可成横廣ノ隊形ヲ取リテ一步一步ニ前進シ李家堡子金家堡子ノ中間ニ達シ俄然銃聲起レリ是レ敵ノ我斥候ヲ射撃シタルナリ銃數約百四五十我第一線ハ之ニ向ヒ猛烈ナル射撃ヲ加ヘ敵ハ須臾ニシテ退却シ第一線ノ追撃シテ前進スルヤ北方斷崖上ヨリ敵兵五六名我ヲ側射ス我一部隊即チ之ニ向ヒ主力ハ直進セリ此一部隊ハ果敢敵ニ向テ前進シ斷崖ヲ攀登シ敵ノ岩石ヲ投下スルニ係ラス遂ニ之ヲ驅逐シテ本道北側ノ高地ヲ占領ス此高地ハ唐溝東南高地ノ南端ニシテ之ニ向フヘキ我カ歩兵ハ末々來ラサリシナリ後之ヲ見レハ此斷崖ハ本道ニ沿フ河床ヨ

リ屹立スルコト殆ント百米ニ近ク所謂眞ノ絕壁ニシテ到底攀登シ得ル所ニアラサルモ騎虎ノ勢ハ能ク敵ノ眼下ニ於テ直進攀登セシメタリ攻撃ニ際シテハ斯ノ如キ例多ク後之ヲ問フモ實行者モ殆ント其意外ニ驚キ如何ニシテ遂行セルモノナルヤヲ判知セサルコト多ク唯夢中ニ進ミタリト云フニ過キス「クラウゼウイツ」ノ大戰學理ニ勇ハ情ノ發動ナリト云フ宜ナル哉
第一線部隊ハ金家堡子方向ニ前進シ後續部隊ハ南側高地ニ登レリ予ハ大隊長ト共ニ陣地ヲ偵察スル考ナリシモ下馬ノ際離レテ遂ニ其所在ヲ明カニセス依テ圖上ニ研究シ置キタル金家堡子北方附近ヲ偵察センカ爲メ單獨徒步ニテ前進ス是レ此際予ハ乘馬ノ監視ヲ命シタル聯隊書記一名ノ外傳令ヲ有セサレハナリ即チ本道ヲ直進シテ金家堡子ニ入ル以爲ラク歩兵ハ尙ホ前方ニアラナラント然レトモ寂トシテ音ナシ金家堡子ノ西端ヲ出テントスルトキ歩哨走り來リ其中隊ハ此部落ノ南端ニアリ前方未タ斥候ヲ出シアラサルヲ報ス予ノ豫想セル所ハ河床ニシテ畑地ハ狭少陣地ニ適セス乃チ尙ホ西方南側ヲ偵察セント欲シ旨ヲ歩哨ニ告ケテ進ム予ハ此時初メテ拳銃ニ裝填セリ蓋シ護身ノ爲メ拳銃ヲ手ニ提ケタルハ戰役中此時一回ニシテ再ヒ其必要ヲ認メサリシ

道路ノ南側ハ高地麓ニシテ一中隊ヲ入ル、ニ足ルノ餘地アルニ過キス殊ニ丈餘ノ高粱繁茂シ

居ルノミナラス塔灣北方高地端(敵ノ陣地)ハ曠朝トシテ眼前ニアリ其塔ハ確カニ之ヲ認ムル
 コトヲ得故ニ予ハ位置ノ不利ナルヲ察シ歸還シテ乘馬ノ所ニ到リ大隊長ニ會シ共ニ金家堡子
 西南高地斜面ヲ實査シ陣地乃チ決定ス大隊長ハ砲兵ニ前進ヲ命シ逐次進入シテ工事ヲ施コサ
 シメントス車輛ハ轟々タル響ト共ニ進入路ニ近接セリ此時俄然西南方高地頂ヨリ急射撃ヲ受
 ク然リ其地點ニ敵ノ前哨アルハ何人モ之ヲ知り我歩兵ハ此頭上ノ高地ヲ未タ占領セス敵ハ我
 車輛ノ前進ヲ知り之ニ對シテ射撃ヲ開始セルナリ然レトモ距離尙ホ遠シ敵彈ハ予等ノ附近ニ
 雨注シ大部ハ後方ニ落達ス是ニ至テ我歩兵ハ後方ヨリ(實ニ後方ヨリ)前進シ我工事援助ノ爲
 メ陣地附近コアリシ工兵之ニ協力シテ敵ヲ擊退シ漸ク陣地進入ヲナシ工事ニ着手セリ故ニ夜
 間歩兵ノ働作ハ意想外ニ遅々タルモノナルコトヲ忘レサルヲ要ス實際眞重ノ行動ヲ貴フヲ以
 テ遅々タラサラントスルモ得ヘカラサルナリ

陣地已ニ決定シ狀況ヲ詳カニセルヲ以テ予ハ進入半ニシテ出發シ李家堡子ヲ經テ廟溝東南高
 地線ノ東方谷間ニ入り三十一日午前四時陳家嶺子ニ達ス此時恰モ最先中隊ノ到着シタル時ナ
 リ此ヨリ至難ナル陣地進入ハ開始セラレントシ工兵ハ今ヤ全力ヲ注テ進入路ノ開設ニ從事
 ス

高等司令部
ヲ射撃ス

二、本道方面ノ砲兵陣地ハ塔灣ヨリ様子嶺ニ通スル本道ノアル谷ヲ正面ヨリ縱射シ得其左翼ニ
 アル觀測所ハ殊ニ良好ノ展望ヲ有シ様子嶺鞍部迄約六千米アリ三十一日午後三時稍々前大隊
 長ハ様子嶺鞍部附近ニ旗ヲ有スル騎馬群ノ現出スルヲ見ルヤ必然敵ノ高等司令部ト判斷シ右
 翼中隊ニ榴彈射ヲ行ハシム榴彈ヲ用ヒタルハ距離ノ關係ト效力ヲ希望セルトニ依ル中隊長乃
 チ小隊齊發ヲ行ヒ其離散スルニ及ンテ止ム(近衛砲兵モ射撃シタリト云フ)然ルニ敵ノ公報出
 ツルニ及ヒ(ケルレル)中將ノ戰死セルヲ詳ニシ其射撃ノ無効ナラサリシヲ知ル黑鳩公ノ公報
 ニ曰ク

様子嶺ニ於ケル東方軍司令官「ケルレル」將軍ハ八月一日砲臺ニ於テ戰鬪監視中最モ猛烈ナ
 ル砲火ノ下ニ立チ同日午後三時重傷ヲ受ケ間モナク死亡セリ

蓋シ八月一日ハ拂曉ヲ以テ我軍様子嶺ヲ占領シ殆ント戰鬪ナク此公報ノ月日ハ誤リニシテ七
 月三十一日ノ出來事ナリトス又將軍子息ノ證言ニ依レハ將軍ハ猛烈ナル彈丸ノ爲メ致命傷ヲ
 負ヒ即死セリト云フ

三、滿洲ノ山岩石多ク摩天嶺様子嶺附近又彼九連城附近皆ナ然ラサルハナシ故ニ敵ハ陣地工事
 ノ爲メ爆破ヲ行ヘリ様子嶺附近ニ於テハ道路開設ノ爲メ多ク爆破作業ヲナシタルモ最初ハ

敵ノ爆破工

陣地ノ構成
及敷隔

敵ノ他ノ方面ニ對シ射撃ヲナスモノナラント推定シタルモ後之ヲ確ムルヲ得タリ然レトモ此頃ニ至リテハ我目前ニ於テ此ノ如キ作業ヲナスヲ避ケタルヲ以テ我軍ノ前進セル爲メ陣地ヲ完成スルニ至ラスシテ中止セルモノアリ即チ塔灣西北方高地上ニアル東方ノ砲兵陣地ノ如キ此レナリ後之ヲ檢スルニ岩石ヲ碎キ四門ノ砲座ヲ設ケタルモ進入路ハ半途ニシテ全ク此陣地ニ砲兵ヲ進入セシムルヲ得ス之ニ支那車輛ヲ以テ造レル擬砲ヲ備ヘタリ今回戰役ノ結果ニ依レハ陣地ヲ擬成スルハ場合ニ依リ頗ル有効ナルヲ認ム

四、敵ノ其陣地ヲ擬成シタルコトハ決シテ少シトセス又敵ノ第十軍團長「スルチエフスキ」中將ノ如キハ七月ニ於テ軍團ノ實行スヘキ諸件ヲ命令シ就中左ノ如ク教示スルヲ見ル

我砲兵陣地ヲ敵ニ迷ハシムル爲メ情況之ヲ許セハ他ノ假偽ナル砲兵陣地ヨリ射撃ヲ開始スヘシ之カ爲メ一時砲兵中隊若クハ大隊ノ翼方ノ小隊ヲ分遣スヘシ此等ノ虚偽的陣地ハ敵ノ砲火ヲ導キタル後ハ該砲火ヲ止メ其小隊ヲ本隊ニ復歸セシメ然後虚偽的陣地ニ依テ得タル結果ニ基キ本陣地ヨリ砲撃ヲ始ムヘシ

此ノ如キ偽作ハ今ヤ佛國新砲兵操典ニ於テ前衛砲兵ニ關シ規定セルモノ、内ニ之ヲ見ルニ至リ狀況ニ依リテハ之ヲ必要トシ又決シテ無効ニアラサルヲ知ルモ此等ハ戰役中遂ニ實施スル

夜間山中ノ
命令受領

ノ機會ニ遭遇セス唯タ沙河對陣中攻撃陣地構成ノ際多少其旨義ヲ應用セルニ止マル要スルニ攻撃ニアリテハ大ナル必要ヲ感セサルモ之ヲ防禦ニ應用セハ有利ナルヘシト信ス時間ノ餘裕ヲ得ントスルカ如キ場合ニ在テハ殊ニ然ラン

五、三十一日ノ夜砲兵ハ陣地ニ露營セリ予ハ命令受領ノ爲メ師團司令部ニ到ラントス時巳ニ午後九時ナルモ距離近キヲ以テ歸還ノ後食事ヲナサントシ一喇叭手ヲ隨ヒ徒歩ニテ出發ス師團司令部ハ夕迄廣溝東方高地上ニアリ後其東側ノ谷ニ降りタルニ過キサルヲ以テ陣地ヨリ稜線ニ沿フテ進ム時ハ其西側高地頂ニ達スヘク距離ハ僅カニ二千米ナリ月出テタルヲ以テ行進ニ便ナリシモ稜線ヨリ谷ニ降ル爲メハ急峻ナル斜面アリ殆ント滑走轉下スルニ等シク又何レノ方向ニ進メハ可ナルヤ之ヲ判知スルニ由ナク唯タ谷ノ方向ニ從ヒ漸次北方ニ倚リ漸クニシテ孤立ノ部落ニ達シ師團司令部ヲ發見セリ予ハ此時疲勞シ空腹ヲ覺ユルコト甚タシカリシモ忍ビ忍ンテ命令ヲ受領シ歸途ニ就ク再ヒ急峻ナル斜面ヲ攀登セサルヘカラサルノ困難アリ予是ニ至テ窮ス草ヲ引キ岩ニ倚リ十歩ニシテ一止シ又十歩ニシテ休息シ多クノ時間ヲ費ヤシテ稜線ニ達シ夜半過キ辛フシテ陣地ニ歸還ス喇叭手曰ク斯ノ如キ困難ハ末タ嘗テ經驗セサル所ナリト大息之ヲ久ウス況ンヤ空腹ノ予ニ於テヲヤ

一杯ノ感杯

用恤兵扇ノ効

然レトモ戰闘ハ不利ナルニアラス様子嶺ノ占領ハ目前ニ迫リツ、アリ偶々摩天嶺鞍部附近大行李ノ位置ニアリシ主計麥酒ヲ携テ來リ聯隊長ニ呈スルニ會ス予即チ珍重保存セル乾葡萄酒(留守宅ノ追送品)ヲ出サシメ聯隊長ニ相對シ月ヲ仰テ僅カニ一酌以テ聯隊長ノ輕傷ヲ祝シ言フヘカラサル愉快ヲ感セリ

六、軍司令官ノ報告ノ如ク此日炎熱百度以上ニ達ス隨テ恤兵ノ扇ハ戰闘間モ大ナル効用ヲ呈シ高地斜面ニ倚ル散兵豫備隊ハ或ハ休止間或ハ死角内ニ於テ之ヲ以テ風ヲ迎ヒ予ノ如キハ砲兵陣地ノ獨立高地頂ニ在リ之ニ依テ日ヲ避ケ又風ヲ迎ヒツ、敵狀ノ視察本道方向ノ砲兵動作ノ監視等ニ從事セリ又豫備隊ノ我カ陣地ノ右翼後ニ前進シ來ルヤ隊長ハ又銃休止ヲ命ス是ニ於テ千扇一時ニ開キ頗ル奇觀ヲ呈ス

七、嘗テ佛國「アブエール、ミリテール」ハ現今歐洲諸軍ニ於ケル武士氣質ヲ掲ク是レ其現況ニ鑑ミ自國軍ノ爲メニセルモノニシテ悉ク適切ナリト言フ能ハサルモ他山ノ石之ヲ捨ツルニ忍ヒス若シ夫レ之ヲ吾人ノ參考ニ供セハ利益少シトセサルヲ以テ其全文ヲ掲ケ一般ノ傾向ヲ知ルニ便セン

現今歐洲諸軍ニ於ケル武士氣質

皆兵主義ヲ以テ兵制ノ基礎トセル今日ノ兵士ハ專門ノ軍人ト謂ハンヨリハ寧ロ民兵ト謂フヲ至當トス故ニ昔日ノ武士氣質ハ今日唯タ人ノ話說ニ存スルニ過キサナルノミナラス此話說トテモ漸々忘却セラレツ、アリ更ニ一步ヲ進メテ之ヲ謂ヘハ現今ノ人士ハ愛國心ヨリシテ表面上ハ此氣質ヲ敬重スルニ似タントモ二三親友相會シテ互ニ胸襟ヲ打明ケ談話スル席上ニ在ラハ私カニ之ヲ嘲笑セサルハナシ

今日武士氣質ヲ排斥スルノ傾向ハ何レノ國民中ニ於テモ殆ント之ヲ見サルハナク唯タ國家ノ制度カ自由主義ニ化セル度合ノ如何ニ依テ多少ノ差アルニ過キサナルナリ故ニ最モ專制主義ニ偏セハ國民中ニ於テモ矢張り多少此傾向ヲ呈シ以テ兵役勤務ヲ免レントスルノ徵アリ
從來我國カ軍事上ノ諸名譽ヲ博シタル所以ノモノハ實ニ其武士氣質ナルモノ、存スルニ依ラナリ夫ノ革命時代及帝國時代ニ於ケル我諸軍カ世人ニ羨望セラレシモ全ク此氣質ヲ備ヘタルカ爲メナリ又我第二帝國ノ諸軍カ赫々タル光輝ヲ放ツテ屢々勝利ヲ得タルノ秘訣モ全ク此氣質ヲ保存シタル爲メナリ論者或ハ謂ハン今日ノ軍人ハ滿腔ノ愛國心ヲ有スルヲ以テ戰時ニ至レハ此心ヲ以テ能ク昔日ノ武士氣質ニ代ハラシムルヲ得ヘシト然レトモ昔日ノ武士氣質ハ第一本人ノ稟性、第二軍紀心、第三忠義心即チ一言ニ謂ヒハ軍事上ノ美德ヲ以テ合成シタルモ

ノナレトモ今日此心ハ漸次消失シテ僅カニ其片影ヲ止ムルニ過キサルヲ以テ吾人ハ更ニ之ヲ養成スルノ方法ヲ講ヒサルヘカラス

今日世人カ私利私欲ヲ求メテ成ルヘク己レカ自由ヲ束縛セラレサランコトヲ欲スルカ爲メ大ニ武士氣質ヲ減少スルニ至リタルコトハ已ニ述ヘタル如ク我佛國ノミニ限ルコトナク他ノ諸國ニ於テモ亦然リ故ニ其兵士ノ精神内ニ此氣質ヲ再燃セシメンカ爲メ目下諸國ニ於テ夫々研究シ且ツ其方法ヲ設ケツ、アリ

之ニ依テ之ヲ見レハ武士氣質ノ減少ハ之ヲ皆兵主義ヨリ生シタル心理上ノ結果ナリト謂フヲ得ヘシ

抑々愛國心ト武士氣質トハ全く同一物ニラアス故ニ彼ヲ以テ此ヲ補フヲ得ス何トナレハ各政黨ハ各々其信スル所ヲ以テ國益ト考ルカ故ニ若シ各派ノ見ル所口相異ナルトキハ折角ノ愛國心モ之ヲ共同ノ目的ニ利用スルコトナキニ至ルヘケレハナリ

軍ノ團結心及ヒ志氣ヲ堅固ナラシメントスルニハ之ニ武士氣質ヲ附與スルニ如クハナシ而シテ軍ノ現員益々大ニシテ之ヲ指揮スルコト益々困難ナルトキハ此二者(團結心及ヒ志氣)ヲ要スルコトモ亦一層大ナリトス

武士氣質ハ其國ノ社會ノ有益及ヒ政體ト大ナル關係ヲ有ス故ニ露人及ヒ獨人ハ佛人ニ比スレハ其社會ノ狀態上ヨリシテ此氣質ヲ養生スルコト大ニ容易ナリ

武士氣質ト戰爭ヲ事トスル精神トヲ以テ同一物ト見做スモノ世間甚ク多シト雖モ是レ至大ナル誤謬ニシテ兩者ノ間ニハ判然タル區別ナカル可カラス

戰爭ヲ事トスル人種ト平和ヲ好ム人種トノ區別ハ古ヨリ常ニ之レアリ今後ト雖モ此區別ハ必ス免レザラン然レトモ近世ノ開化ハ各人民ヘ習慣及ヒ生活ヲシテ殆ント同一ナラシメテ彼此著ルシキ差異ナカラシムルコト恰モ漸積土カ土地ヲ平均セシムルカ如シ

獨人ハ「獨逸ノ統一ヲ終了スル」テウ詐欺的口實ヲ以テ他國ヲ侵略スルヲ事トスト雖モ文明人ノ戰爭ニ在テハ實際人種ト人種ト相争フコト甚ク稀レニシテ通常國民ト國民ト相争フモノナリ更ニ一步ヲ進メテ之ヲ謂ヘハ政府ト相争フヲ常トス

兩軍カ相争フモ畢竟其各自ノ政府ノ欲望ヲ遂ケシメントスルニ外ナラス故ニ單ニ歷史上ノ事實ヲ見テ此人民ハ彼ノ人民ニ比シ果シテ尙武心ニ富ムモノト考定スルハ誤リナリ何トナレハ政府カ戰ヒテ欲スル場合ニ於テモ其人民ハ之ヲ欲セサルコトアレハナリ

自ラ進ンテ兵役ヲ志願スルモノ、多寡ニ依テ其國民ノ尙武心ノ程度ヲ觀察スルハ單ニ歷史上

ノ事實ヲ見テ考察スルニ比シ遙ニ優ルモノトス然レトモ是トテモ充分其人民ノ性質及ヒ傾向ヲ證明スルニ足ルモノト思考スルヲ得ス何トナレハ志願兵ノ多寡ハ其國ノ兵制並ニ其社會的及經濟的ノ有様ニ關スルコト多クハナリ

故ニ志願兵ノ多寡ニ基キテ一ノ推定ヲ下サントスルトキハ同一ノ法律ニ依テ支配セラル、一國中ニ於テ其各州ノ志願兵ノ數ヲ取テ之ヲ彼此互ニ相比較スルヲ當然トス即チ國ト國トノ比較ハ爲シ易カラサレトモ州ト州トハ爲スヲ得ルナリ

歐洲ノ各政府ハ其國內ノ諸州ニ於ケル志願兵ノ數ヲ計算シテ一種ノ志願兵地圖ヲ調製セリ特ニ獨逸ノ如キハ其軍事獎勵法ノ成績如何ヲ見シカ爲メ第一ニ之ヲ調製セリ實ニ獨逸政府ハ其人民カ種々ノ分子ヨリ成レルニ拘ラス之ヲシテ等ク兵役ニ就カシメンカ爲メ百方手段ヲ盡シ賞與金、退隱料、滿期後授職、名譽的報酬特典授與等ノ如キ方法ニ依テ之ヲ誘ハンコトヲ勉メタリ

伊太利モ亦タ志願兵地圖ヲ調製セリ吾人ハ同國「リホルマ、ソシアル」新聞ニ就イテ該地圖ヲ閱スルニ頗ル吾人ノ注意ヲ引クニ足ルモノアリ即チ該地圖ハ既往八ヶ年伊國壯丁名簿中ニ載スル男子ニシテ將校、兵學校生徒若シクハ志願兵トシテ兵役ニ從事スルモノ即チ約言セハ自

己ノ志願ニ依テ兵役ニ從事スルモノ、數ヲ示シタルモノナリ但シ一年志願兵ハ眞ニ兵役ヲ志願スルニアラス却テ早ク之ヲ終ランコトヲ欲スルモノトシテ之ヲ表中ヨリ省ケリ

佛國ノ志願兵地圖ニ依レハ同國北地ノ住民ハ南地ノ住民ヨリモ又タ其西方ノ住民ハ東方ノ住民ヨリモ一層尙武ノ氣象ニ富ムモノ、如シ又タ羅馬市ヨリ出テタル將校ノ數ハ最も多大ナリ是レ同市ノ人口カ他市ニ冠絶スルノ結果ナラン故ニ管ニ其將校ノ數ノミナラス志願兵ノ數ノ如キモ伊國ノ諸市ハ田舎ヨリモ又タ其大市ハ小市ヨリモ一層多ク之レヲ出タセルナリ

又タ埃地利、匈牙利帝國ノ軍事統計表ヲ案スルニ同帝國ニ於テモ伊國ト全ク同一ノ願象ヲ生スルヲ見ルナリ即チ人口稠密ナル埃地利ニ於テハ千人ノ志願兵中十人ハ兵學校生徒ナレトモ匈牙利ニ於テハ千人中僅カニ四人ノ兵學校生徒ヲ見ルニ過キヌ之ニ反シ首府「ウインナ」ヲ含ム所ノ下部埃地利ニ於テハ該生徒ノ數ハ千人中三十人ノ多キニ上レリ

大都府ヨリ斯クモ比較的多數ノ軍人ヲ出スノ理由トシテ伊國新聞ノ唱フル説ハ下ノ如シ第一大都府ニハ兵營ノ設ケアルヲ以テ住民ハ自然軍人ノ生活ニ慣レテ之ヲ欽慕スルコト第二己カ住スル市内ニ在ル兵營ニ入ルノ便アルコト第三退役軍人ノ最大數ハ一般ニ大都府ニ其居宅ヲ有スルコト第四少壯子弟カ兵學校ニ入ルニハ最も便利ナルコト是レナリ

伊國新聞カ斯克ノ如キ説ヲ唱フル趣意ハ大都府ハ到底之ヲ比較表中ニ加フヘカラサルヲ以テ結局伊國ニ在テハ各州特ニ其尙武心ヲ異ニスルコトナシト云フニ在リ成ル程少年カ將校タラシムルモナルヲ以テ將校志願者ノ多寡ニ依リテ直チニ其土地ノ尙武心如何ヲ斷定スルハ稍々不可ナルカ如シ

然レトモ武士氣質ナルモノハ一ハ本人ノ天性ヨリ一ハ父祖ノ遺傳ヨリ來ルモノニシテ佛國ト其他ノ諸國トヲ問ハス其國內ノ甲乙地方ニ在テハ此氣質上互ニ多少ノ差異ヲ呈シ而シテ軍人ヲ尊敬スルコト最モ多キ地方ノ住民ハ從ツテ比較的大ナル尙武心ヲ有スルヤ必セリ

武士氣質ヲ鼓舞スルコトハ今日ニ在テハ昔日ニ比シ一層容易ナルモノアリ何トナレハ現今諸國ノ軍ハ其全國ヨリ之ヲ召募シ各人民ハ皆ナ兵士ト爲ルノ義務ヲ有スルヲ以テ昔日ノ如ク之ヲ鼓舞スルカ爲メ一部ノ人民ノミヲ利シ却テ他ノ一部ノ人民ノ怨ミヲ買フカ如キ憂ヒアラサレハナリ

軍ハ其兵ノ多キヲ貴シトセス其志氣ノ凜烈ナルヲ以テ貴シトス故ニ先ツ其國人ノ氣質ヲ基礎トシテ軍ノ志氣ヲ確定シ次ニ兵士ノ教育ニ及ホサ、ルヘカラス

然レトモ今日歐州諸大國カ其諸州ヨリ召集スル兵士ハ軍旗ノ下ニ止ムル時日ノ極メテ短少ナルヲ以テ到底昔日ノ兵士ノ如ク之ヲ同一ノ模型ニ鑄造シテ之レカ性質ヲ全ク一樣ナラシムル能ハスシテ勢ヒ之レカ教育ヲ或ル程度ニ止メサルヘカラス今日ノ兵士カ各々其生シタル儘ノ氣質ヲ保存スルハ蓋シ之レカ爲メナリ故ニ今日ノ將校ハ昔日ノ將校ニ比スレハ一層能ク其部下ノ兵士ノ氣質ヲ研究スルヲ要ス是レ管ニ之ヲ教育スルカ爲メニ必要ナルノミナラス之ヲ使用上ニ於テモ亦甚タ緊要トス

佛兵ト獨兵ハ大體ニ就テ之ヲ觀察スルトキハ互ニ相異ナル氣質ヲ有ス尤モ此比較ハ單ニ兩國ノ兵士ニ就テ之ヲ爲シタルモノニシテ幹部就中將校ハ兵士ニ比シ極メテ完全ナル教育ヲ受クルヲ以テ其天性ハ此教育ノ力ニ依リテ多少減殺セラレ、ナリ

普國ノ兵ハ一般ニ冷淡ニシテ全ク屈從的ノ性質ヲ有シ軍紀ヲ以テ天然ノ法則ノ如クニ思考スルモノ、如シ故ニ之ニ服スルコト恰モ木偶人ニ異ナラサルノ觀アリ之ニ反シ佛兵ハ身ヲ國家ニ供スルノ必要ヨリ自ラ軍紀ニ服ス彼ハ長官ヲ恐ル、カ爲メ之ニ服從シ此ハ長官ヲ尊フカ爲メニ之ニ服從ス彼ハ壓服セラレ此ハ自ラ好ミテ服從ス彼ハ天性惰性ナルヲ以テ隊長ノ誘導ヲ受ケサレハ動クコトナク此ハ天性活潑ナレトモ服從ノ必要ヨリ自ラ節制ス彼ハ厭ヤ々々ナカ

ラ勤務ニ服シ此ハ自ラ進ンテ之ニ服ス彼ハ愛國心ヲ以テ已ムヲ得サル義務心ニ過キストスレトモ此ハ之ヲ以テ最モ高尚ナル義務心トス彼ハ萬事扣ヘ目ニ施行スレトモ此ハ勇壯決行ス彼ハ疑惑心ニ富ミ此ハ感激心ニ富ム彼ハ千八百七十年泣ク々々出發シ此ハ歌ビナカラ出發セリ而シテ彼ハ勝チ此ハ敗レタリ其故ハ普國ノ兵ハ敗軍ノ際ニ於テモ又タ勝利ノ際ニ於テモ毫モ軍紀ヲ失ハス能ク秩序ト結合力ヲ保チ兵其忍耐ノ力ニ依テ我感激心ニ打勝チ且ツ數理ニ長セル其將官等ハ靜カニ數理的計畫ヲ施コシ器械ノ如ク盲從スル兵士ヲ操縦シテ遂ニ非常ナル優勢ヲ以テ我急造軍隊ノ膽力ヲ破碎シタルニ依ル

獨逸人カ該役ニ於テ我ヲ擊破スルカ爲メニ用ヒタル兵士ト當時ニ於ケル我兵士トヲ個人的ニ相比較スルトキハ彼ノ我ニ劣リシコト萬々ナリ然レトモ獨逸兵士ノ軍紀心ハ遙ニ我兵士ニ優リシナリ

軍紀心ハ兵士ノ當サニ有スヘキ主ナル性能ニシテ若シ此心ナキトキハ最良ノ籌策モ爲メニ其功ナカルヘク之ニ反シ此心アルトキハ最モ拙劣ナル計畫モ能ク其功ヲ奏スルコトアリ我兵士ハ獨逸兵士ノ如ク盲從ヲ好マス先ツ己カ長官ヲ信シタル後チニアラサレハ之ニ服從スルヲ欲セス是レ大ニ誤マレリ故ニ之レカ教育ニ任スル將校等ハ宜シク速ニ此ノ如キ一大弊害ヲ除去

スルヲ要ス凡ヘテ佛人ハ本國ノ名ヲ以テ之ヲ教育スルトキハ容易ニ斯ノ如キ迷信ヲ棄ルニ至ルヤ必セリ

埃地利ノ兵士ハ普國ノ兵士ト類似スルヤ疑ヒナシ然レトモ該兵士ハ寧ロ獨逸南部ノ兵士ニ若シク類似スル所アリ從テ普國ノ兵士ニ比スレハ稍々獨立ノ氣象ニ富ミ且ツ一層伶俐ナリ故ニ普露西人ハ埃兵ヲ稱シテ操縦シ難シト爲ス

又タ埃地利帝國ハ種々ノ人種ヨリ成レルヲ以テ其兵士ノ如キモ埃地利兵匈牙利兵「ポーランド」兵「チロール」兵ノ別アリ而シテ其氣質ハ互ニ著ルシク相違スル所アリ是レ普國ノ兵士カ皆ナ同一ノ模型ニ依テ鑄造セラルトハ大ニ趣キヲ異ニシ而シテ埃軍ノ大缺點ハ全ク此ニ在ルナリ埃國カ千八百六十六年普國ト戰フテ敗ヲ取リシモ其原因全ク之ニ基ケリ爾後ニ在テモ各州ノ獨立心ハ愈々増長シ「ボヘーム」州ノ如キハ當時已ニ普人ノ勝利ヲ賀シタルノミナラス今日ハ普國諸新聞ノ煽動ヲ受ケテ全ク普國ト心ヲ一ニスルニ至レリ

伊國ノ兵ハ銳敏ニシテ物ニ感シ易シ故ニ驚クヘキ感激心ヲ現ハスカト思ヘハ又忽チ非常ニ落膽ス此ノ如キ兵ヲ以テ組織シタル軍ハ決シテ之ヲ堅固ナル軍ト謂フヲ得サルナリ伊國ノ兵ハ生レナカラ滑稽的ノ性質ヲ備フルヲ以テ平生演習ヲ施行スル際ニハ甚々器用ニ其任務ヲ充ス

ト雖モ一朝戦争ニ際スルトキハ其戰運ニ由テ著シク其態度ヲ變化スルヲ常トス曾テ千八百五十九年佛國ト同盟シテ埃國ト戰ヒタルトキニ在テハ大ニ其勇氣ヲ顯ハシタリト雖モ是レ佛軍ノ強大ナル應援アリテ萬々敗ヲ取ルコトナキヲ承認シタレハナリ之ニ反シ伊國ノ兵力獨力以テ動作シタルトキハ戰鬪前ニハ優柔ヲ極メ戰鬪中ニハ決斷ニ乏シク戰鬪後ニハ極メテ落膽セリ要スルニ伊國ノ兵カ一旦敗ヲ取ルトキハ之ヲ恢復スルノ見込ナキモノトス

伊國ノ兵ハ一般ニ敏捷且ツ伶俐ナリト雖モ怠惰ニシテ軍紀ニ從ハス且ツ軍服ヲ美麗ニシ其他凡ヘテ裝飾ニ屬スル部分ニノミ專心意ヲ用ヒ觀兵式ノ如キハ見事之ヲ施行スレトモ實戰ニ臨ミ缺乏ト疲勞トニ遭遇スレハ忽チ其志氣ヲ挫クヲ常トス然レトモ又一方ニ於テ伊國ノ兵ハ傲慢虚誇ノ心ニ富ムヲ以テ指揮官ニシテ善ク之ヲ鼓舞スルノ術ヲ施コストキハ之ヲシテ大ニ奮發セシムルヲ得ルナラン

英國ノ兵ハ平時ヨリ非常ノ美食ニ慣レ居ルヲ以テ一朝之ヲシテ勇猛ナル戰鬪者タラシメンニハ是非共之ニ良食ヲ給セサルヘカラス

英國ハ總ヘテ志願兵ナレトモ此等志願兵ハ概シテ單ニ名譽ヲ得ンカ爲メニ入營セルモノニアラスシテ寧可有形的ノ種々ノ恩典就中聯隊内ニ於ケル豐カナル食事ヲ見込ンテ入營セルモノ

多シ

然レトモ英兵ハ極メテ温順忠實ニシテ且ツ驚クヘキ武勇ヲ現ハスコトアリ故ニ其口ハ至ツテ贅澤ナリト雖トモ若シ斯ル贅澤ノ弊ナケレハ天晴兵士ノ模範ト爲メニ足ルヘシ

英國陸軍制度ノ中ニ於テ英人ノ最モ感服スルハ吾人カ世界中執レノ場所ニ於テモ土人ヲ征服スルニ方リ必ス巧ミニ其土地ノ土民ヲ利用シテ己カ補助兵ト爲スコト是レナリ故ニ本國ニ於テ召募スル志願兵ハ極メテ少數ニシテ且ツ此兵ハ之ヲ第二線ノ兵トシテ土着兵ノ後方ヲ行進セシムルヲ常トス

一例ヲ示セハ印度ノ土着兵ノ編成ノ如キハ英國陸軍ノ一大偉業ナリ

露西亞兵ノ特質ハ服從及献身約精神ニ富ミ就中忍耐且ツ剛毅ナルニ在リ露軍ハ如何ナル難事ニモ打勝ツヘキ氣力ト堅忍力トヲ有ス露帝ハ國長ノ資格ト宗教長ノ資格トヲ兼有スルヲ以テ國民ハ忠義心ニ於テハ國長ニ服從シ信仰心ニ於テハ宗教長ニ服從ス故ニ露國ノ人民ハ今日ニ於テモ尙ホ往時ニ於ケルカ如ク皆ナ同一性情ヲ有ス夫レ國人ノ性情同一ナルハ是レ敵ニ取テハ侮ルヘカラサル一大勢力ナリ此點ヨリ論スルトキハ露國ニ於ケル無形上ノ勢力ハ却ツテ有形上ノ勢力ニ凌駕スルト謂フヲ得ヘシ

千八百七十七年及七十八年ノ露土戦争及ヒ近クハ「トルキスタン」ノ遠征ニ於テ露兵力能ク困難ニ堪ヘタルノ一事ハ其價値ヲ證シテ餘リアリ

露國ノ領土ハ極メテ廣キヲ以テ其諸州ヨリ出ル所ノ兵士ハ彼此互ニ幾分ノ差違ヲ呈スルヤ疑ヒナシ然レトモ佛國ヲ除ケハ露國ノ軍隊ハ最モ多ク等質ノ分子ヲ含ムルモノト謂フテ可ナリ是レ前ニモ述ヘタル如ク露國ノ臣民ハ皆ナ同一ノ性情ヲ有スル所以ナリ

露國ノ「コサツク」騎兵ハ今日コソ正式兵ナレトモ往時ハ不規則兵ノ模範トシテ殊ニ有名ナリキ然ルニ若シ此騎兵カ一種特別ナル服装ヲ着スルコトナケレハ之ヲ他兵ト區別スルコト殆ント難シ是レ全ク軍紀ノ致ス處ナリ然レトモ露國ノ諸兵力彼此互ニ類似スルハ寧ロ國民ノ性情ノ齊一ナルヨリ生スル結果ナルヲ以テ之ヲ天然ノ類似ト謂フテ可ナリ之ニ反シ獨逸諸兵ノ相類似スルハ同國政府力壓制的ニ其國民ヲ武化セシメタル結果ナルヲ以テ之ヲ人為的ノ類似トモ謂フヲ得ヘシ

露國ノ版土ニ屬スル諸州ノ臣民カ皆ナ殆ント同一ナル性情ヲ有スルハ是レ露人ノ大度ナルコトヲ證明スルモノナリ何トナレハ近頃露ノ屬國ト爲リタル「トルキスタン」ノ住民スラ已ニ露國ニ忠誠ノ意ヲ表スルコト毫モ最モ古キ露國ノ臣民ト異ナルコトナケレハナリ

露人ノ慣手段ハ全ク英人ノ手段ト相反セリ即チ英人ハ自ラ戦勝者ノ位置ニ立チテ屬國民ヲ遇ススレトモ露人ハ文化ノ誘道者トシテ之ニ接ス露人ハ各人民ノ文明ノ程度ニ應シテ巧ミニ其風俗習慣ニ適スルノ制度ヲ設ケ以テ土着民ヲ速ニ己カ手裡ニ歸シ之ヲシテ露國化セシムルノ術ニ長ス故ニ其遠國ニ於テ組織シタル軍隊ノ如キモ全ク本國ニ在ル軍隊ト異ナルコトナシ露軍ハ其亞細亞ニ在ルモノト雖モ皆ナ等質ノ分子ヨリ成レリ是レ實ニ驚クノ外ナシ吾人カ前ニ露國ニ於ケル無形上ノ勢力ハ其有形上ノ勢力ニ凌駕スルモノナリト謂ヒシハ全ク之レ爲メナリ

土耳其ハ千八百七十七年及七十八年其準備ノ整ハサルト其編成ノ不完全ナルトニ拘ラス大敵(露國)ヲ敵手トシテ奮戦シテ以テ其武力ノ未タ衰ヘサルコトヲ世ニ明示セリ此戦争ニ於テ土耳其人ノ敗レタルハ全ク其ノ指揮ノ充分ナラザリシカ爲メニシテ其志氣ノ脆弱ナリシニハアラサルナリ

武力ヲ以テ國ヲ與コシタル人民ハ何レニアリトスレハ吾人ハ第一ニ土耳其人ヲ以テ之ニ推スナラン土耳其帝國カ曾テ恐ルヘキ盛大ニ達シタリシハ全ク其人民カ武人的性情ヲ備ヘタルニ依レリ

土耳其兵ハ柔順ニシテ如何ナル困難ニモ堪ユルヲ得ヘク其兵役ニ服スルハ單ニ己レカ信スル
回々教ノ經典ノ命ニ從ハンカ爲メナリ同經典ノ命スル處ハ彼ニ取リテハ恰モ規典及軍紀カ我
兵士ニ於ケルト同一ノ効力ヲ有ヌ又土耳其兵ニ取リテハ其將校ハ一種特別ノ威嚴ヲ有ス是
レ將校ヲ任命スル土耳其帝ハ兵士ノ平生信スル回々教ノ首長ナレハナリ其職ヒニ臨ンテ毫モ
屈セサルハ實ニ之レカ爲メナリ土耳其兵カ能ク軍紀ヲ保ツノ原因ハ毫モ其死ヲ恐レサルニ在
リ實ニ土耳其兵ハ泰然トシテ死ヲ待ツノ風アリ是レ死スルトキハ速カニ成神シテ早く此世界
ヲ脱スルヲ得ヘキモノト信スレハナリ其戰團中自若トシテ動カサルハ全ク此信仰心ノ然ラシ
ムル處ナリ

軍ノ性質ハ其國ニ依リテ大差アルコトハ以上述フルカ如シ又此大差中ニ於テ更ニ無數ノ小差
ヲ生ス是レ他ナシ壯丁ヲ出ス所ノ各州ノ住民ハ各其性質ヲ異ニスルヲ以テナリ蓋シ此小差ハ
小ハ則チ小ナリト雖トモ決シテ之ヲ輕スヘカラス各地方ニ於テ徵兵ヲ施行スル國ニ於テハ特
ニ然リ

佛國ハ地方毎ニ徵兵ヲ施行スルコトナシ然レトモ縱シヤ各地方ニ於テ之ヲ施行スルコトアル
モ獨逸ト異リ何等ノ危險アルコトナシ佛國ニ於テハ本國ナル文字ハ獨逸人ノ唱フル「本國」ノ

如キ漠然タル意味ヲ有スルコトナクシテ眞ニ佛國全土ヲ意味ス故ニ佛人ハ國旗ヲ見ルトキハ
忽チ地方的感情ヲ去リ且ツ政治上ノ争鬭ノ如キモ即坐ニ跡ヲ絶ツニ至ルヲ常トス
然レトモ我各地方ヨリ出タル兵士ハ盡ク齊一ナル性質ヲ備ヘテ寸毫モ相異ナルコトナシト謂
フ可カラス我國ノ兵士モ各々種々ノ長所ト短所トヲ有スルニハ相違ナシ畢竟軍中ニ種々ノ性
能ヲ備フル兵士カ相雜居スレハコソ是マテ我學校ハ夫々各兵士ノ長所ヲ利用シテ偉功ヲ奏ス
ルヲ得タリシナリ故ニ今後ノ將校モ亦長所ヲ利用シツ、諸兵ヲ相競争セシメ以テ軍事教育ヲ
施行センコトヲ要ス

同一ノ軍服ヲ着シタルトキ兵士ヲ一見スルトキハ北方ノ兵士モ南方ノ兵士ニ將タ西方ノ兵士
モ東方ノ兵士モ敢テ相異ナルコトナキカ如シ又タ軍紀ノ力ヲ以テスレハ略ホ其軍事的性質ヲ
同シカラシムルヲ得ヘシ然レトモ各地ノ兵士ハ皆ナ夫々其天賦ノ長所ヲ備フルニ相違ナシ教
育ニ任スル將校ハ宜シク意ヲ用ヒテ一兵ノ長所ヲ模範トシテ之ヲ他兵ニ示スコトヲ勉ムヘ
シ

凡庸ナル人ヲ獎勵スルニハ其自負心ニ訴フルニ若シクハナシ而シテ此自負心ヲ指導スルコト
宜キヲ得ハ之ヲシテ功名心ニ化セシムルヲ得ルナリ我軍カ是マテ功名心ヲ驅ツテ能ク大事ヲ

遂ケタルモ全ク此理ニ基ケリ

千八百七十年役佛國ハ其兵器上ノ準備ヲ缺キタレトモ其精神的準備ニ於テハ之ヲ缺クコトナカリキ是レ何人モ知ル所ナリ而シテ此精神的準備ニ依テ能ク國難ヲ挽回スルヲ得サリシト雖モ我軍ノ名譽丈ケハ之ヲ全フスルヲ得タリ

佛國軍ハ戦ヒニコソ敗レタレトモ毫モ耻辱ヲ受ケタルゴトナシ然レトモ佛人ハ此敗北ノ爲メ痛ク憂憤シテ寸時モ之ヲ忘ル、能ハス苟モ佛國ニ生レタル以上ハ其孰レノ州ニ在ルモノヲ問ハス此點ニ關シテハ皆ナ同一ノ記憶ヲ有ス故ニ佛兵ハ其笑ヒ且ツ歌ヒツ、在ル間ニ在テモ若シ「名譽及本國」ト書シタル國旗カ己カ前面ヲ過クルヲ見ルトキハ忽チ容色ヲ改メテ感動ノ意ヲ表セサルハナシ

佛兵ハ爽快ニシテ華美ナル性質ヲ有スルニ拘ハラズ其衷心ハ極メテ剛愎ニシテ一步モ他人ニ讓ルヲ欲セス

兵士ノ聯隊ニ在ルヤ軍事教育ト精神教育トヲ兩ナカラ之ニ授ケ以テ長官ノ命令ニ服従スルノ習慣ト勝利ヲ得ルカ爲メ必要ナル諸手段トニ熟セシムルヲ要ス而シテ苟モ軍隊ニ在ルモノハ下兵卒ヨリ上將官ニ至ル迄皆夫々特別ノ任務ヲ有ス故ニ夜間野營ノ周圍ヲ警戒スル歩哨ノ職

責ト其翌日數萬ノ兵員ヲ操縦スヘキ將官ノ職責トハ其間敢テ輕重ナキナリ故ニ單ニ一兵士ト爲ツテ兵役義務ヲ果タス所ノ男子モ其任務ノ斯クノ如ク重大ナルヲ思ヘハ自ラ慰ムルニ足ルモノアリ

世ニ兵士トナルヲ耻ツルモノアレトモ是レ絶大ナル誤謬トス苟モ軍隊ニ屬スル勤務ナレハ一モ無益ナル勤務ナク又耻ツヘキ勤務ナシ故ニ教育ヲ受ケ國益ノ何物ナルヤヲ辨知セル少年ハ衆ニ先ンシテ兵士ト爲リ以テ模範ヲ示スヘシ

凡ソ兵士ノ義務中最モ必要ナルモノハ服従ニ在リ尤モ服従ヲ爲スニモ熱心知能且ツ誠意ヲ以テ之ヲ爲サルヘカラス凡ヘテ服従ノ利益ヲ承知シタル上ニテ服従スルカ又ハ軍紀心ニ依テ服従スルカ又ハ己カ義務トシテ服従スルカハ是レ皆ナ武人的精神ノ存在スルコトヲ證明スルモノナリ而シテ此精神ハ萬人ノ力ヲ一途ニ出テシムルニハ極メテ必要ニシテ軍ノ勢力ハ全ク茲ニ存スルナリ

右ノ理ニ依リ我規典ノ冒頭ニハ服務ノ利益ヲ約言シテ曰ク「軍ノ主力ハ軍紀ニ存ス凡ソ上級者ハ下級者ヲシテ始終服従ノ道ヲ履行セシムヘシ」ト

就中今日ハ國民ト國民ト相對シテ爭フニ至リシヲ以テ其國民ハ昔日ニ比シ一層堅ク團結シテ

本國ノ名譽ハ勿論其生存ヲモ防禦セサルヘカラス軍紀及ヒ服從ノ要ハ是ニ於テ愈々其重キヲ加フルニ至レリ

聯隊内ニ於テ共同的生活ヲ爲スコトニ就テハ之ヲ非難スルモノニ乏シカラスト雖モ實際兵士ノ集合體ヲ練磨セシムルノ大効アリ

又各兵士ノ肉體近ク相接スルノ害ヲ唱ヒ並ニ食物不良ノ非ヲ説クモノアリト雖モ是レ等ノ害ハ極メテ小事ニシテ論スルニ足ラサルナリ

近時世間一般ニ奢侈贅澤ノ風ニ流レテ大ニ後進者ノ精神ヲ薄弱ナラシムルノ傾キアリ聯隊ノ共同的生活ハ此ノ如キ傾向ヲ矯正スルニ極メテ適當ナリトス

國士タルノ精神及武士タルノ精神ヲ練磨セシムルニハ缺乏ト不自由トニ堪エシムルニ如クハナシ我祖先ハ強壯ナル體格ト豪邁ナル精神トヲ有シタルハ全ク聯隊生活ヲ爲シタルニ依ルナリ故ニ我子孫ヲシテ祖先ノ武士氣質ヲ繼續セシメントスルニハ之ヲシテ聯隊生活ヲ爲サシムルニアリ

十二、唐溝ノ滯陣（八月一日ヨリ二十四日ニ至ル）

一般ノ狀況

八月一日聯隊ハ甜水站北方甜水站河ノ北岸ニアル唐溝ニ進入シ二十四日ニ至ル迄滯陣スルニ至レ

リ此間師團ノ一部ハ北進シテ楊家房附近ニ陣地ヲ占領シ防禦工事ヲ施シ其ノ前哨ハ遠ク黃泥溝（弓張嶺ヲ經テ安平ニ至ル道路ノ岐分點）附近ノ高地ニアリテ警戒ニ任シ附屬セル砲兵ハ楊家房南方二道嶺ノ高地ニ陣地ヲ占領シテ之レヲ守備セリ而シテ弓張嶺東方地區及浪子山ニ通スル道路上ニ在テハ彼我ノ騎兵及偵察部隊不絶衝突シ浪子山方面ニハ時々爆發ヲ聞ク是レ陣地工事ノ爲メ爆發作業ヲナスモノナラン而シテ左翼師團ハ様子嶺附近ニアリ

我砲兵展望哨ハ一ハ青石嶺（唐溝西北方浪子山ニ通スル道路）附近一ハ楊家房西方高地附近ニアリテ浪子山及弓張嶺ノ敵情ヲ監視シ敵軍隊ノ運動及防禦工事ノ進捗ヲ報告ス就中楊家房西方高地附近ハ弓張嶺西方ニアル「ツエゴウ」ノ谷ヲ通視シ遠ク大安平附近ヲ展望シ得隨テ此附近ニ於ケル敵ノ情況モ日々之レヲ知ルコトヲ得タリ

此ノ滯陣間所謂滿洲ノ雨期ニ入り其ノ實況ヲ經驗スルヲ得タリ即八月七日頃ヨリ雨天勝トナリ十四日曇天ヨリ大雨ニ變シ十五日甜水站河ハ着シク増水シ流勢強ク騎兵徒涉シテ溺ル、ニ至レリ此河ハ平素甜水站ニ通スル道路ノ附近ニテ深サ四五十珊知ヲ有スルニ過キサルモ今ヤ甜水站ニアル師團司令部及糧秣倉庫トノ交通社絶シ且ツ天候回復ノ豫定ヲナス能ハサルヲ以テ給養ハ定量ヲ半減シ且ツ附近ノ物資ヲ集收シ爾後ノ用ニ備ヘタリ十六日河水益々増加シ午前十一時支那馬車四臺

雨期

來テ渡河ヲ強行シタルモ其ノ三疊ハ流サレ土人六、馬三頭溺死ス此ノ如キ景况ナルヲ以テ山間ヲ經テ金家堡子ノ西方ニアアル河沿兵站司令部ニ至ル道路及徒涉場ヲ搜索セシメ辛クシテ駄馬ヲ通スルモノヲ發見セリ然レトモ河沿ニ架設シタル露軍ノ橋梁ハ此時既ニ流失シテ甜水站トノ交通ハ全然杜絶セリ

十七日河沿兵站司令部ニ協議シ糧秣ヲ受領ス

十八日胡水站トノ交通辛シク爲シ得ルニ至レルモ流勢強ク減水尙ホ充分ナラス爲ニ危險少カラス而シテ二十一日ニ至ル迄少雨曇天連續シ二十二日初メテ晴天ヲ見ルニ至リ之ヨリ漸次水流平常ニ復ス當時遼陽ノ大會戰ヲ目前ニ控フルヲ以テ吾人ノ注意ハ主トシテ旅順方面ノ攻撃ニ移リ日夜情報ノ到ルヲ待テツ、アリ而シテ以爲ラク旅順容易ニ之レヲ陥ルヲ得ン然ルトキハ來ルヘキ大會戰ニ至大ノ影響ヲ及ホシ野戰軍ハ依テ以テ有利ナル戰鬪ヲナスコトヲ得ヘシト

二十三日左ノ通報ニ接ス

第三軍ハ勇ヲ鼓シテ昨夜迄ニ盤龍山西砲臺同東砲臺ヲ占領シ尙ホ奮戰其ノ左右ニアル堡壘ノ攻略ニ努メツ、アリ敵ハ昨夜來屢々逆襲ヲ試ミタルモ我之ヲ擊退セリ

此ノ報傳ハルヤ歡聲沸クカ如ク士卒モ亦陷落ノ報直ニ來ルナラント推測セリ吾人モ亦恐ラクハ然

ラント私カニ豫期スル所ナキニアラス是ニ於テカ遙カニ攻圍軍ノ爲メニ祝杯ヲ舉ケ其ノ成功ノ速カナランヲ祈レリ是レ即チ遼陽攻撃ノ爲メ前進ヲ始ムル前日ニシテ軍隊ハ悉ク此ノ愉快ナル勝報ヲ聞キテ發進スルヲ以テ志氣揚ルコト一段ナルヲ覺ヘタリ

餘談

一、唐溝ニ進入スルノ日ヨリ南京虫ノ迫害猛烈ニシテ堪ル能ハス依テ「ハンモック」ヲ釣リ其ノ迫害ヲ避ケ又床上ニハ新聞紙ヲ敷キテ來襲ヲ豫防セリ故ニ苟モ身體ニ着クルモノハ腕時計ニ至ル迄悉ク「ハンモック」ノ網ニ結着シテ之レヲ床上ニ置カス然レトモ小虫敢テ迂回ノ勞ヲ辭セス壁ヲ攀チ梁ヲ傳ハリ續々來襲シ須臾モ靜息スル能ハサラシム其ノ最モ狡猾ナルモノハ腕時計ノ革ノ縫目ニ潜ミ容易ニ發見スル能ハサラシメ安意之レヲ腕ニ著クルヤ隙ヲ窺ヒ巧ミニ腕首ヲ傷害シ其ノ苦痛譬フヘカラス蓋シ其ノ猛烈ナル上陸以來未タ經驗セサル所ナリトス聯隊本部ノ下士翌夜私カニ避ケテ樹下ニ露營ス曰ク露營寧ロ虫害ヲ忍フニ優ルト而シテ小虫ノ迫害ハ之レヲ免レタルモ忽チ麻刺利亞熱ニ罹リ數日間臥床スルニ至リ衆警メテ又露營ヲ試ミルモノナシ

二、予ハ先キニ敵ノ野砲一門ヲ遺棄セルコトヲ記セリ此ノ砲ハ唐溝進入後之ヲ甜水站ニ輓キ來

ラシム其ノ車輛ハ破損甚シク又輾桿ノ如キハ生木ヲ以テ修理シ其ノ原因ハ砲彈ノ爲メニアラサルモノト認メラレ其ノ他ノ破損ハ彈丸ノ効力ニ基クテ明カニス思フニ敵ハ地形道路ノ險惡ナルカ爲メ斯クノ如ク材料ノ大破ヲ來セルナルヘク我行進ノ困難ヲ想起シテ聊カ同情ヲ禁スル能ハサリシ

三、塔灣西北方陣地ニアリシ擬砲ヲ取寄セ參考ニ供セリ其ノ構造ハ支那馬車ノ車軸ニ兩輪ヲ箱メ中央ニ燒キタル丸太ヲ托シ以テ砲身ニ擬ス故ニ之ヲ遠見セハ殆ント放列砲車ト同様ニシテ殊ニ肩牆内ニ置クトキハ敵ヲ欺クヲ得ヘク偵察等ニ際シテハ特ニ注意スヘキヲ戒シメタリ

十二、遼陽ノ會戰（八月下旬ヨリ九月上旬ニ至ル）

第一期（太子河左岸ノ戰鬪）

八月二十四日左翼師團先ツ前進ニ就キ様子嶺ヲ經テ浪子山方面ニ向フ而シテ地形ノ關係上ヨリ聯隊ノ半部ハ左翼師團長ノ指揮下ニ入り廣溝ヲ出發セリ
左翼師團ハ此日夕迄ニ浪子山東南高地ヨリ同地南方高地ヲ經テ邊江灣西方鞍部ニ亘ル間ヲ占領シ明拂曉運動ヲ起シ先ツ浪子山東北方高地ヨリ大相屯南方高地ヲ經テ其ノ西南方高地附近ニ亘ル線ヲ占領スルヲ企圖ス

弓張嶺ノ攻

知り得タル處ニヨレハ師團ノ正面弓張嶺ニハ歩兵六百及砲八門又其附近ニ歩兵千五百砲四門大安平及其ノ附近ニ步騎兵各一千及砲十二門アルモノノ如ク敵ハ弓張嶺附近ヨリ其ノ西南標高三百ノ高地ニ亘リ防禦工事ヲ施ス師團ハ明日夕ヨリ運動ヲ起シテ此敵ヲ攻撃セントス
二十五日朝來左翼師團ハ砲戰ヲ開始セリ此日師團ハ左翼旅團ヲ吳家嶺附近ニ右翼旅團ヲ西黃泥岡附近ニ集合シ夕刻ヨリ運動ヲ始メ標高三百ノ高地及弓張嶺附近ヲ攻撃シ明拂曉迄ニ弓張嶺一帶ノ高地ヲ占領スルヲ企圖シ砲兵ハ右翼旅團ニ續行シテ西溝（黃泥岡ヨリ西方ニ安平道ヲ入りタル處）附近ニ陣地ヲ占領シテ天明ヲ待ツヘキヲ命セラル而シテ右翼師團ハ同時寒坡嶺附近ノ敵ヲ攻撃スル豫定ナリ
日没後各隊ハ前進ニ就キ右翼旅團ハ敵ノ警戒部隊ヲ驅逐シツ、弓張嶺ニ向フ聯隊ハ即チ豫定ノ地ニ陣地ヲ占領シ工事ヲ施シタルモ兩側ノ高地ノ爲メ著シク展望ヲ妨ケラレ射界狹少而カモ地形上止ムヲ得ス隨テ弓張嶺ニ達セサレハ有利ニ射撃ヲ行フ能ハサルヲ以テ大行李ノ駄馬ニ土囊ヲ積載シ一將校ニ弓張嶺附近ニ於ケル陣地偵察ノ任務ヲ授ケ若干ノ作業手及駄馬ヲ率テ豫備隊ニ續行セシメ歩兵該鞍部附近ヲ占領セハ直チニ工事ニ着手シ且ツ之ヲ急報セシメ努メテ前進ヲ速カナラシムルノ方法ヲ施シタリ但シ附屬ノ工兵ヲ同行セシム

二十六日朝ニ至ルモ弓張嶺ノ占領確實ナラス砲兵ハ七盤嶺南方高地ノ敵ヲ射撃シタルモ右翼師團正面ノ七盤嶺標高二百六十六附近ハ敵頑強ニ防禦シ容易ニ退却セス其ノ間時ハ次第ニ經過シ午後四時頃漸ク弓張嶺鞍部ニ前進シ其ノ南方高地ニ陣地ヲ撰定シテ直ニ進入スヘキヲ命セリ然レトモ砲兵ハ尙ホ何家堡子附近ヨリ前進シ來ラサルヘカラサルノミナラス新ニ進入路ヲ開設セサルヘカラス而シテ其ノ工事ハ決シテ容易ニアラス此ノ高地ニハ東方ニ對シ一連ノ散兵壕ヲ構築シ其断面強硬加フルニ後方斜面ニ廠舎ヲ作ル又散兵壕ヨリ稍々後方稜線ニ八門ノ肩牆ヲ築キ木材ヲ横ヘ砲ニ擬シ工事頗ル粗ナリ察スルニ敵ハ進退共ニ困難ナルヨリ此所ニ砲兵ヲ使用スルヲ斷念シ此ノ如キ擬工事ヲ施スニ至リタルナルヘク從テ進入路ノ如キハ僅ニ徒歩兵ノ爲メニ少徑ヲ開設シアルノミニシテ他ニ何等ノ設備ナシ

午後五時砲兵ノ陣地麓ニ達スルヤ天俄カニ暗ク急雨頗ル烈シク通路ハ忽チ泥濘トナリ砲車ハ道路上スラ通過困難ナルニ至レリ工兵ハ此ヨリ進入路ヲ開設シ砲兵ハ雨ヲ昌シテ險峻ナル高地ニ其ノ砲車ヲ引上サルヘカラス而シテ掘開スルニ從ヒ泥濘ニ化シ到底明拂曉迄ニ進入シ得ル見込ナキヲ以テ寧ロ西麓「ツエゴウ」附近ニ前進スルノ可ナルヲ具申シタルモ他方面ノ關係之ヲ許サ、ルヲ以テ斷行スヘキ命ヲ受ク然リ標高三百ノ高地ハ尙ホ未タ我占領ニ歸セス敵ハ死力ヲ盡シテ之レヲ守

リ高地頂ニ近キ所赤色ノ燈火ヲ掲ケテ其守備ノ確實ナルヲ示ス是ニ於テ止ムコトヲ得ス極力臂力ヲ以テ進入ヲナサシメ同時陣地ニ工事ヲ施ス又工兵ノ一部ヲシテ前進路ヲ修理セシム是レ雨ノ爲メ坂路洗ハレ路面岩片礫石累々トシテ砲兵ヲ進ムルニ困難ナルヲ以テ今ニ於テ修理ヲナスニアラサレハ前進ニ際シ運動澁滞スルニ至ルヘケレハナリ

二十七日天ハ明ケタリ幸カ不幸カ時恰モ濃霧ニシテ咫尺ヲ辨セス砲兵ハ此時機ヲ利用シ歩兵一中隊及工兵大隊ノ援助ニヨリ銳意進入ヲ續行シ降坂約一千五百米間ノ修理ハ拂曉漸ク終レリ

午前九時進入全ク終ルモ濃霧ハ依然消散セス唯近距離ヲ見得ルノミ午前十時標高三百ノ高地ハ尙ホ未タ奪取スルニ至ラサル通報ニ接シタルモ濃霧ノ爲メ全ク之レヲ認ムルヲ得ザルヲ以テ射撃ヲ開始スル能ハス正午「ツエゴウ」南方若シクハ東南方ニ陣地ヲ撰定スヘキ命ヲ受ケ偵察將校ヲ派遣ス

午後三時霧晴ル此時聯隊ハ正ニ前進セントシツ、アリシモ偶々大安平南方高地(「ツエゴウ」ノ西方)ニ敵歩兵ノ現在スルヲ認メ俄然猛烈ナル射撃ヲ開キ我カ歩兵ノ前進ヲ援助シ右翼旅團ハ同時運動ヲ起セリ此ノ敵ハ即チ左翼旅團方面ヨリ退却セルモノニシテ一時此ノ高地ニ停止シ友軍ノ收容ヲナサントシタルモノ、如クナルモ我射撃ノ爲メ多大ノ損害ヲ蒙リ湯河左岸ニ潰走シ師團ハ遂

陣地ノ占領

ニ敵ヲ左岸ノ地區ニ壓迫セリ即チ前進シテ「ツエゴウ」ニ到リ陣地ヲ占領シタルモ日没トナリ射撃スルニ至ラス次テ同地ニ露營ス

二十八日拂曉聯隊ハ大安平南方ニ陣地ヲ占領セントシ各中隊ニ右翼旅團主力ノ位置ニ前進スヘキヲ命シ聯隊長ハ砲兵斥候及大隊長ヲ隨ヒテ前進シ陣地占領掩護ヲ步兵ニ倚囑ス然ルニ一部ノ歩兵ハ前方ニアリト云フヲ以テ大安平南方高地ニ向ヒ前進セルモ我歩兵ヲ見ルコトナク却テ敵ノ騎兵斥候ニ遭遇セリ後歩兵ノ所在ヲ問ヘハ此ノ歩兵ハ尙南方(乃チ後方)ノ高地上ニアリシナリ而シテ拂曉ニ近キ當時大安平ニ向ケ一斥候モ派遣セラレス本道上ハ實ニ宿營地ニ接シタル位置ニアル哨兵ニ依テ警戒セラレタルノミ實戰ニアリテハ此ノ如キコト多キニ注意セラルヘカラス

聯隊ハ大安平南方及其ノ附近ニ陣地ヲ占領シテ漸ク射撃準備ヲ終リ目標ヲ探求ス此時恰モ大安平西南左岸ノ高地上ニアリシ敵ハ工具ヲ携テ現レ正ニ工事ヲナサントセルヲ以テ之レニ向テ射撃ヲ開始シ敵ハ散亂草家峪西方ヲ經テ耿家屯(太子河左岸)方向ニ退却ス乃チ榴彈ヲ以テ草家峪ノ谷間ヲ掃射シ之レヲ追撃セシム之カ爲メ我右翼旅團ハ一彈ヲ蒙ルコトナク湯河々谷ヲ前進シテ左岸ノ高地ヲ占領セリ

夕刻ニ至リ聯隊ハ大安平北方高地ニ陣地ヲ變換シ左岸最高地ノ敵ニ對シ午後七時四十分迄榴彈射

左岸高地ノ占領

ヲ行ヒタルモ我正面ノ歩兵ハ更ニ前進セズ現位置ニ停止シアリ(榴彈ヲ用ヒタルハ射程ノ關係上トス)

右翼旅團ハ明拂曉迄ニ極力最高地ノ占領ヲ努ムヘキ命ヲ受ケタルモ他方面ノ情況旅團ノ急進ヲ要スルニ至ラヌ殊ニ一ノ死傷ナク半ハ成功シタルヲ以テ明拂曉ヨリ更ニ砲兵ノ援助ヲ以テ堂々攻撃スヘキ意見ヲ具申シ砲兵ハ可成有効ノ陣地ニ就キ射撃スヘキ旨ヲ受ケ夜半ヨリ運動ヲ起シ其中隊ヲ河岸ニ前進セシメ午前四時準備ヲ完フシテ天明ヲ待ツ

最高地ノ占領

二十九日午能五時五十一分漸ク最高地ヲ認メ得ルニ至ルヲ以テ射撃ヲ開始ス奇ナル哉突如トシテ最高地ニ旭旗ノ翻ルヲ見驚テ射撃ヲ中止シ師團長ニ其ノ占領ヲ報告ス後聞ク所ニ依レハ我斥候ハ夜半ヨリ前進シ敵ナキニ乘シテ之レヲ占領スルニ至レルナリ

是ニ於テ我右翼旅團ハ漸次翼ヲ北方ニ延伸シテ石咀子(太子河左岸)西方高地ニ亘ル線ヲ占領シ聯隊ハ耿家屯東端ニ到リ開進スヘキ命ヲ受ケテ工兵大隊ト共ニ指命ノ地ニ前進セシメ聯隊長ハ大隊長ヲ隨ヒ工兵大隊長ト共ニ旅團長ノ許ニ赴キ石咀子南方高地ニ至テ相會ス此時我歩兵ノ右翼ハ石咀子西方高地ニ取り付キタルモ高城子附近ニ位置スル敵ノ砲兵ヨリ射撃ヲ受ケ其ノ稜線ニ進ムコトヲ得ス而シテ此ノ附近ノ地形又敵ノ砲兵ニ對シ野砲ノ使用ヲ許サス如何共スル能ハサル狀況下

我野砲ヲ用
フル能ス

ナレリ

高城子附近ニアル敵ノ砲兵ハ收容ニ任スルモノノ如ク歩兵ノ報告ニヨレハ石咀子西方高地ノ北端
ニアル小屯子附近ヨリ西方ニ向テ退却スル敵ノ大縱隊ハ混亂シツ、アリト而シテ敵ノ砲兵ハ間斷
ナク射撃シ我部隊ハ茫然處置ノ施スヘキモノナク現位置ニ停止シアルノミ此時ニ當リ異口同音ニ
響キタルハ一門ニテモ如何ナル努力ヲ以テシテモ之レヲ高地上ニ曳キ上クル能ハサルヤノ歎聲ナ
リトス

軍太子河ヲ
渡ラントス

午前十一時十分聯隊及ヒ工兵大隊長ハ師團長ノ許ニ到ルヘキノ命アリ正午草家峪西北方約千米ノ
地點ニ達シ傳令將校ヨリ左ノ要旨ノ命令ヲ受ク

軍ハ北方ニ移リ太子河ヲ渡リ師團ハ英守堡ヨリ下流双磨子附近ニ至ル間ニ於テ渡河セントス砲
兵ハ可成速ニ姑嫂城ヨリ黑峪ヲ經テ坎沙ニ至ル道路及英守堡附近ニ至ル道路ヲ偵察シ工兵ハ坎
沙附近ヨリ下流双磨子附近ニ至ル間ニ於ケル架橋點並ニ徒涉點ノ偵察ニナシ且ツ可成速ニ道路
修理ニ着手シ姑嫂城ヨリ黑峪ニ至ル間ハ今ヨリ直ニ修理スヘシ

是ニ於テ諸般ノ關係上耿家屯ニ止マルハ不利ナルヲ以テ直ニ姑嫂城南方畑地ニ到リ開進スヘキヲ
命シ旅團長ニ命令ノ主旨ヲ通報シ同地ニ移ル(師團長ノ意圖ハ直ニ右翼旅團ヨリ砲工兵ヲ取リ上

クル積リニアラサリシモ前記命令ノ通りナルヲ以テ時旅團長ノ指揮ヲ脱シテ動作シ後意圖ノ然ラ
サリシコト判然セリ)

聯隊長ハ耿家屯ニ於テ道路偵察ノ爲メニ將校斥候ニ命令シテ發進セシメ又一展望哨ヲ派遣シ姑嫂
城北方五吉米ニアル標高百八十六ノ高地ニ到リ敵情ヲ視察シ渡河ノ準備間ニ於テ右岸ノ情狀ヲ詳
ニシ軍ノ行動ヲ容易ナラシメンコトヲ期シ次テ姑嫂城ニ移ル

聯隊ノ耿家屯ニ到ルヤ太子河右岸ノ敵ヲ顧慮シ不安ノ念禁スル能ハサリシカタ刻我歩兵ノ石咀子
東南方南梅紅ニアルモノ各個自炊ヲ始ムルヤ右岸ノ敵ノ砲兵ハ之ニ向テ砲撃ヲ加フルニ至リ歩兵
ハ其ノ位置ヲ轉シテ無事之ヲ避クルコトヲ得タリ

此夜道路ノ偵察終リ工兵ハ夕ヨリ道路ノ修理ニ著手セリ而シテ我展望哨ノ認知セル狀況左ノ如シ
(午後三時ヨリ展望セリ)

右岸

展望哨ノ報
告

一、吊水樓ノ對岸「ハンジャラツイ」東端突角ニハ掩堡ヲシキモノアリ右翼師團ノ砲兵ハ之レヲ
肩墻ナリト云フモ掩堡ノ斷續セルモノニシテ恐ラクハ肩墻ニアラサルヘシ

二、黑英臺(右岸)西南方ニ肩墻アリ又其北方閉塞セル曲線ノ高地ニ掩堡アリ共ニ敵兵ヲ見ス

三、黑英臺西南水官屯西南高地ニハ掩堡アリテ又其西南高地上ニ砲三門露面シテ放列ヲ布置シ